クラウド連携によるスマートライフサービス提供に関する JEITA標準モデル Ver.1.0

2020年5月

一般社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）
スマートホーム部会

〒100-004 東京都千代田区大手町1-1-3　大手センタービル

クラウド連携によるスマートライフサービス提供に関するJEITA標準モデルVer.1.0 策定にあたって

スマートライフ市場とは、IoT家電等により、宅内外の機器の利用情報や環境情報を収集し、生活上のあらゆる情報をつなげ、消費者のニーズを踏まえこれらの情報(複数の情報を組み合わせ分析した情報を含む)の利活用を推進し、生活の不便を解消するなどの多様なサービスを提供する新たな市場である。

宅内で利用される様々な家電／住宅設備機器等が収集する住まい手の生活データを連携・活用することで、個人のニーズに応えるだけでなく、社会課題の解決にも寄与する様々なサービス等が創出され、我が国が目指すSociety5.0社会の実現にもおおいに貢献が期待されている。

2019年10月には、IoT家電・機器や情報プラットフォームと連携したサービスを生み出す「LIFE UPプロモーション」政策が開始しており、本市場の拡大の一助となっている。

一般社団法人 電子情報技術産業協会（以下、JEITAという）では、スマートライフ市場の更なる拡大に向け、特に消費者にとって分かりやすくサービスを提供できるよう、標準的な消費者へ提示するUI及び事業者間のクラウド連携手法について、本市場に参入を希望する事業者が共通で目標とするべき仕様を明らかにするため、「クラウド連携によるスマートライフサービス提供に関するJEITA標準モデルVer.1.0」を定めた。本標準モデルを機器・サービス・アプリ等の開発時に参照してもらうことで、以下のメリットが期待できる。

機器メーカ／サービス提供事業者：標準モデルに沿ったUIを整備することで、機器のネットワーク接続率やサービス加入者が向上する。
ユーザ：機器のネットワーク接続手順やサービス加入の手順を理解しやすくなり、複数機器の接続意欲が向上する。
販売者：複数メーカ機器の説明が共通化され、商品やサービスを消費者に訴求しやすくなる。

JEITA標準モデルにより、企業間連携が促進され、スマートライフ市場の拡大が円滑化する一助となれば幸いです。

クラウド連携によるスマートライフサービス提供に関するJEITA標準モデルVer.1.0構成

「クラウド連携によるスマートライフサービス提供に関するJEITA標準モデルVer.1.0」の構成は以下の通り。
本標準モデルを参照することで、ユーザにとって分かりやすく、販売事業者にとっても説明がしやすく、機器メーカにとっても実際の機器接続率が向上する効果が期待できる。

【JEITA版 スマートホーム標準モデル】

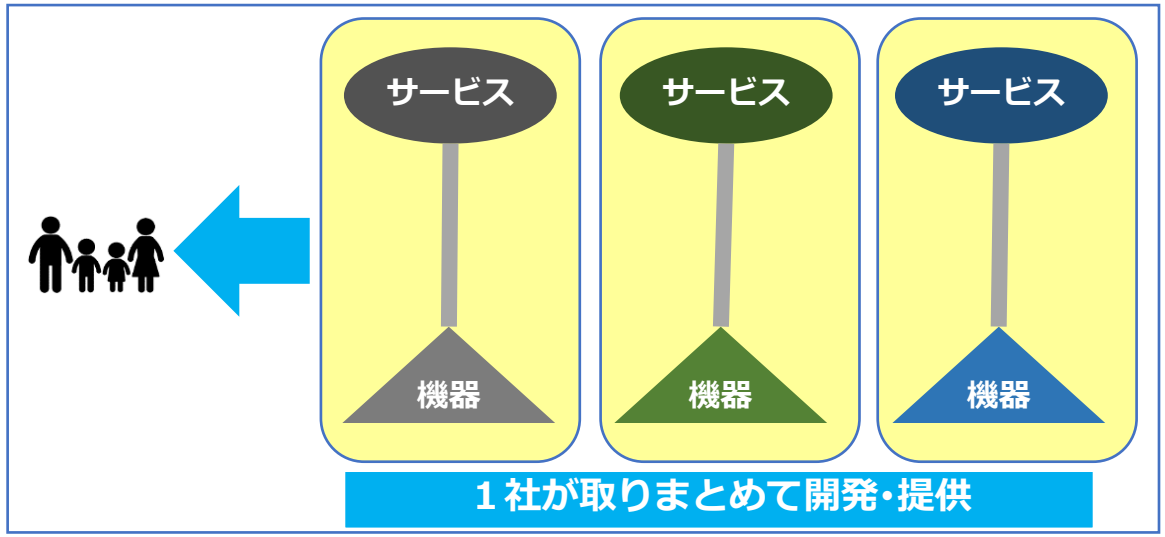
- **ユーザに提示するＵＩ構成（機器メーカ編）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P. 6**
  - **機器接続・機器登録・サービス申し込み手順**
- **ユーザに提示するＵＩ構成（サービサ編）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.60**
  - **機器接続・機器登録・サービス申し込み手順**
- **プラットフォーム間の接合方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.114**

【注意点】
本標準モデルはユーザに提示するUIの質を高め、プラットフォーム間連携を促進するための、目標とするべき仕様を定めたものであり、標準モデル中に示す画面構成やアイコン等はあくまで例示の位置付けとなります。
また、標準モデル通りの実装を義務付けるものではありませんので、各社の実装や設計手順を考慮していただきながら、本標準モデルを実装が可能な範囲内でご採用下さい。

クラウド連携によるスマートライフサービス提供モデル

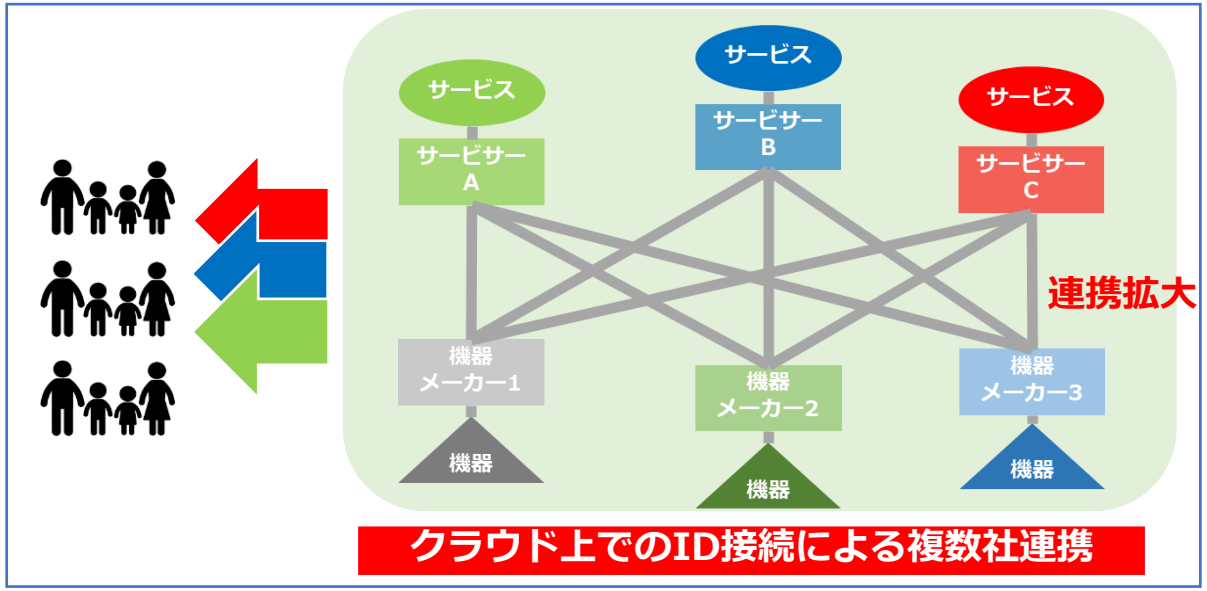
これまでのスマートホームサービスは、１社が自社の方針で機器とサービスを繋ぎ込むことで実現してきたが、今後はクラウド上でID連携を行い低コストで柔軟性の高いサービスを実現する形になる。従い実現性の高い連携方法の標準的なモデルが求められる。

従来のスマートライフサービス提供モデル



- １社のIDでプラットフォームを垂直統合
- １社で意思決定ができ、投資判断がしやすく比較的立ち上がりやすい
- サービス向けにプラットフォームを作るので、サービスが立ち上げりやすいが、サービスを増やすにはカスタマイズによる投資が必要で、サービスの種類も増えにくい。

これからのスマートライフサービス提供モデル

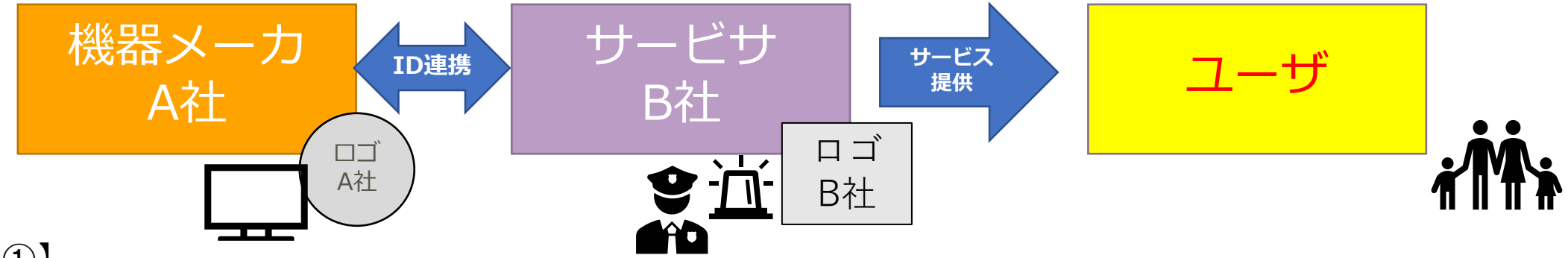


- 複数社でID連携をして相互にプラットフォームを接続
- プラットフォーム同士でIDを連携する仕組みが、簡単かつオープン化し、低コストで接続できる
- 機器とサービスが、クラウド上で接続・連携することで柔軟性の高いサービスを実現

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会 Japan Electronics and Information Technology Industries Association

クラウド連携によるスマートライフサービス提供に関するJEITA標準モデルVer.1.0 活用ユースケース

本標準モデルでは、機器メーカA社が製造・販売する機器を活用し、サービサB社（サービス提供事業者）がユーザにサービスを提供するモデルを想定。それぞれのシーンに応じて、ユーザに提示するＵＩ構成モデル (機器メーカ編／サービサ編）をご参照ください。



【活用シーン①】

機器メーカA社が製造・販売する機器をユーザが購入し、機器メーカアプリでサービサーB社と連携する場合

ユーザに提示するＵＩ構成モデル
機器メーカ編

P.６以降をご参照ください。

【活用シーン②】

サービサB社が提供しているサービスを加入（今後加入含む）しているユーザが、新たに機器メーカA社が製造・販売する機器をサービサアプリで追加する場合。

ユーザに提示するＵＩ構成モデル
サービサ編

P.６０以降をご参照ください。

【注意点】
本標準モデル中の「サービス」とは、、サービサが機器メーカとID連携を行い、機器メーカの情報を使って、提供する「サービス」を意味します。尚、機器メーカが自社の機器でサービスを提供する場合はID連携を伴いません。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

ユーザに提示するＵＩ構成モデル
機器メーカ編

はじめに　機器・サービスの申込みや登録で、ユーザに提示するUIパートについて

消費者に提示するUIとしては、下記7つのパートに分解できる。
本モデルでは、各パートで留意するべき注意点等を示していく。

0.全体パート

- 機器購入⇒登録⇒サービス加入等、消費者にUIとして提示する全体像を示す。

1.機器登録パート

- 機器を購入して登録する。（サービスは未加入で、まだ加入予定は無い）
- 機器を購入して登録する。（サービスには加入しているが、まだ連携を行わない）

2.機器解除パート

・サービス加入済みで連携済みの機器を登録抹消するとき
・サービス加入済みで連携済みの機器を連携解除するとき

3.サービス加入パート

- サービスに申し込む。（とりあえず機器連携は、おこなわない）
- サービスに申し込む。（機器をもっていない）

4.サービス解除パート

- サービスをやめる

5.ID接合パート

- サービス加入済み、機器登録済みで、後からデータ連携を開始する

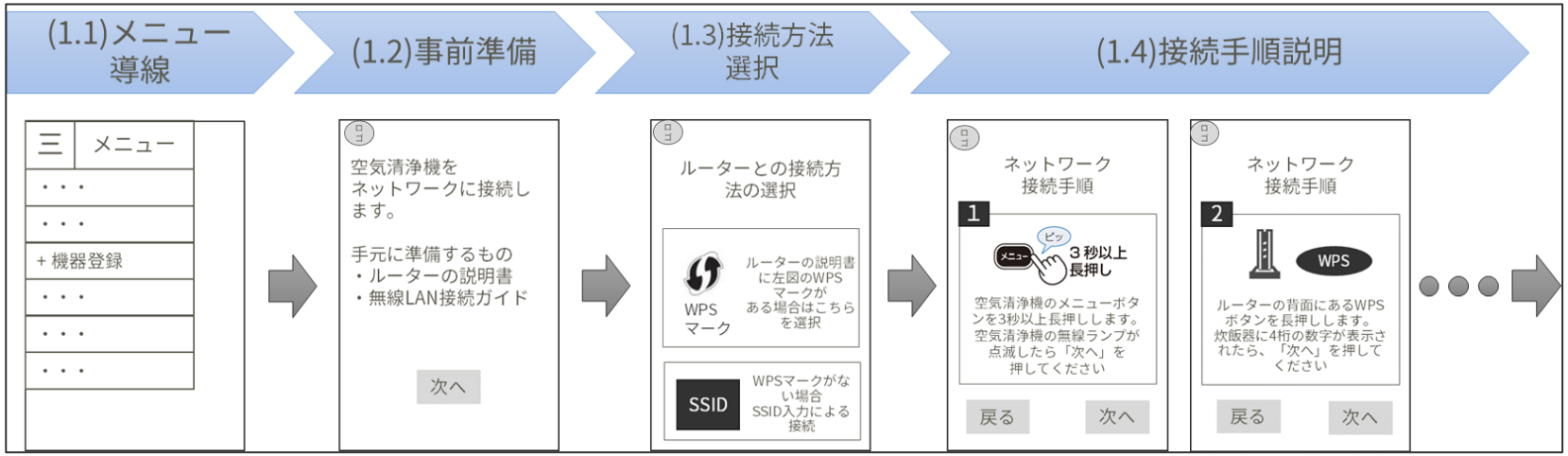
6.データ連携許可/解除パート

・サービス加入済みで連携済みの機器を連携解除するとき
・サービス加入済みで連携解除済みの機器を連携許可するとき

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会 Japan Electronics and Information Technology Industries Association

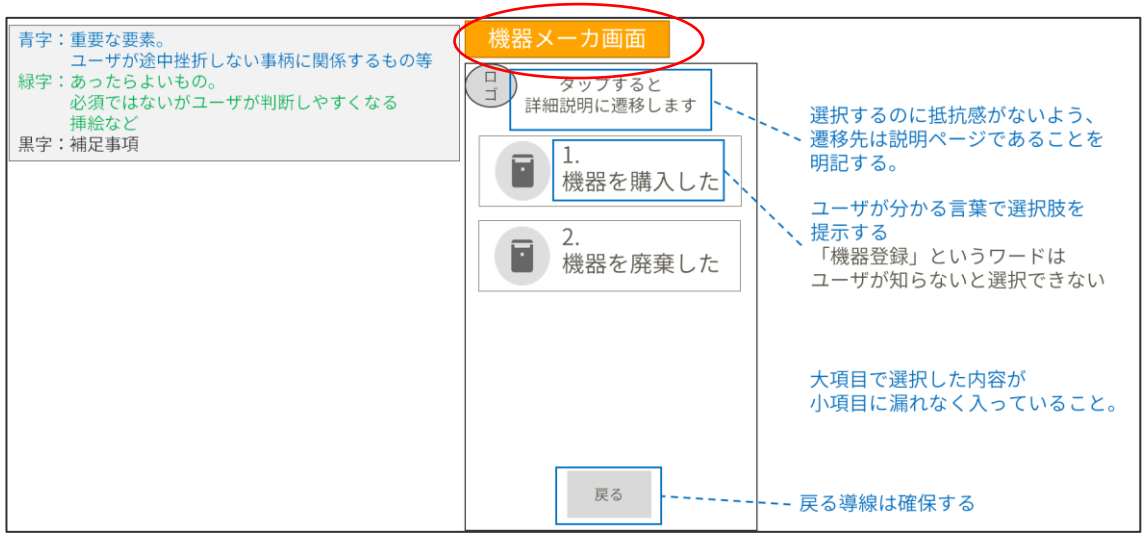
各パートの記載内容について

①標準的な画面フローを記載



②各画面の目標仕様を記載

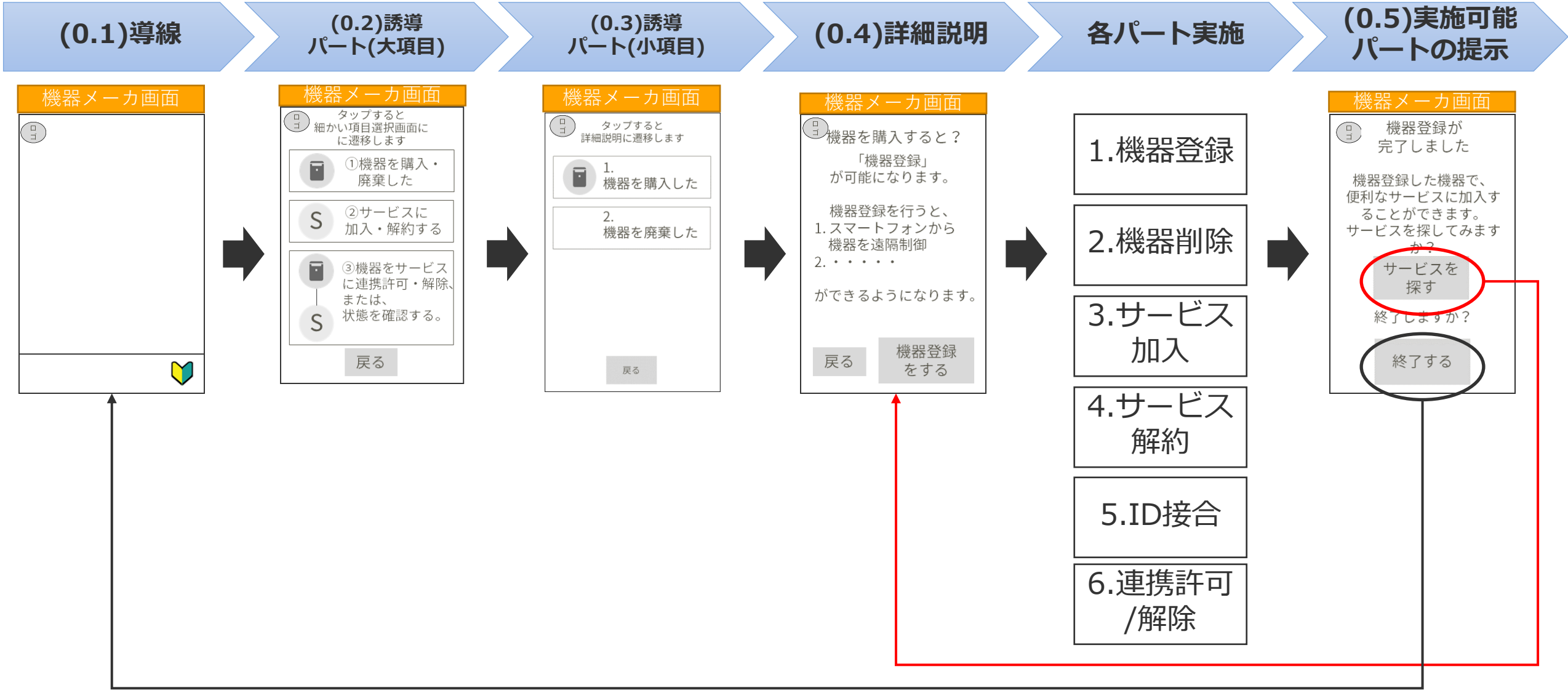
- 各画面を誰が表示しているのかを表記
- 青字で記載されている事項は、
  UIの精度を高めるために有用と思われる
  内容を記載。
- 緑字で記載されている事項は、
  必須ではないがユーザが判断しやすくなると
  思われる内容を記載。



JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

0. 全体パート

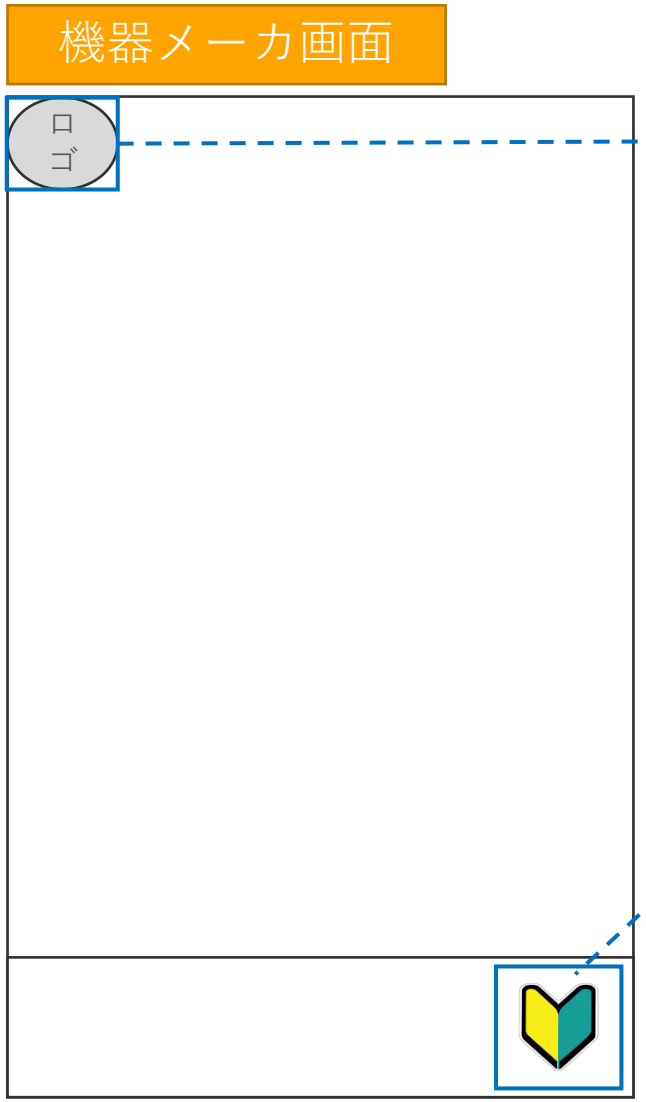
0. 全体パートのフロー



JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

0.1. 導線画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



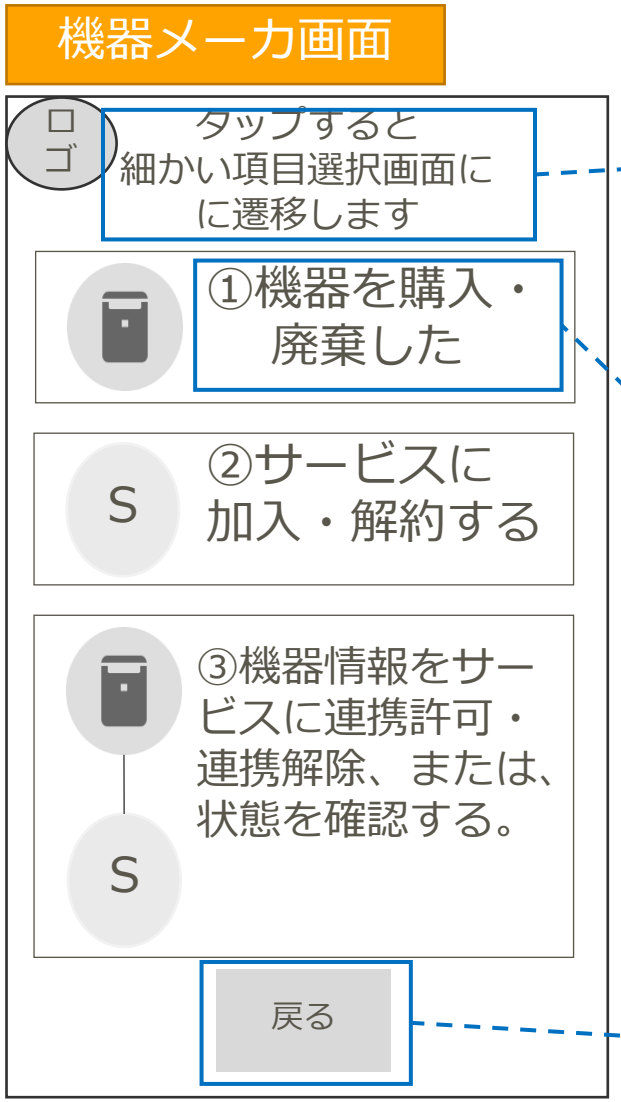
ロゴや登録商標や社名等を入れて
誰が画面を表示しているのか明確にする

ホーム画面や、常時表示のタブに、
アイコン等で、機器登録・サービス登録等の
導線にすぐに誘導できるルートを確保する。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

0.2. 誘導パート(大項目)画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



選択するのに抵抗感がないよう、
遷移先は説明ページであることを明記する。

ユーザが分かる言葉で選択肢を
提示する
「機器登録」というワードは
ユーザが知らないと選択できない

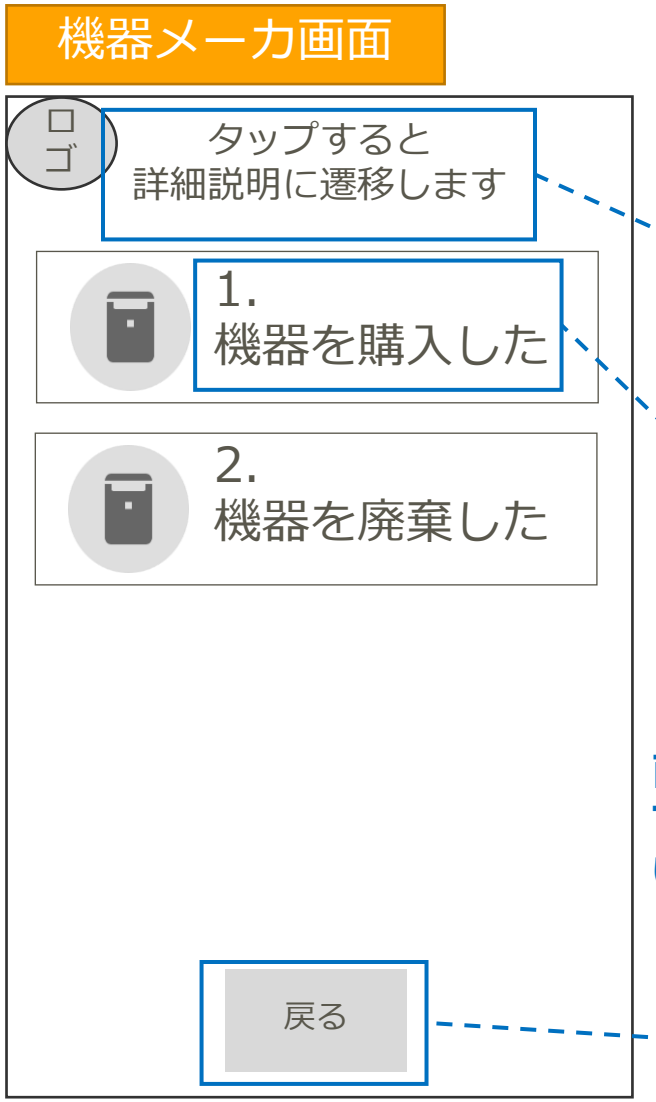
戻る導線は確保する

ボタン(戻る、進む、同意、メニュー、等)
に関しても「色」「形状」の統一を行う。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

0.3. 誘導パート(小項目)画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



選択するのに抵抗感がないよう、遷移先は説明ページであることを明記する。

ユーザが分かる言葉で選択肢を提示する
「機器登録」というワードは
ユーザが知らないと選択できない

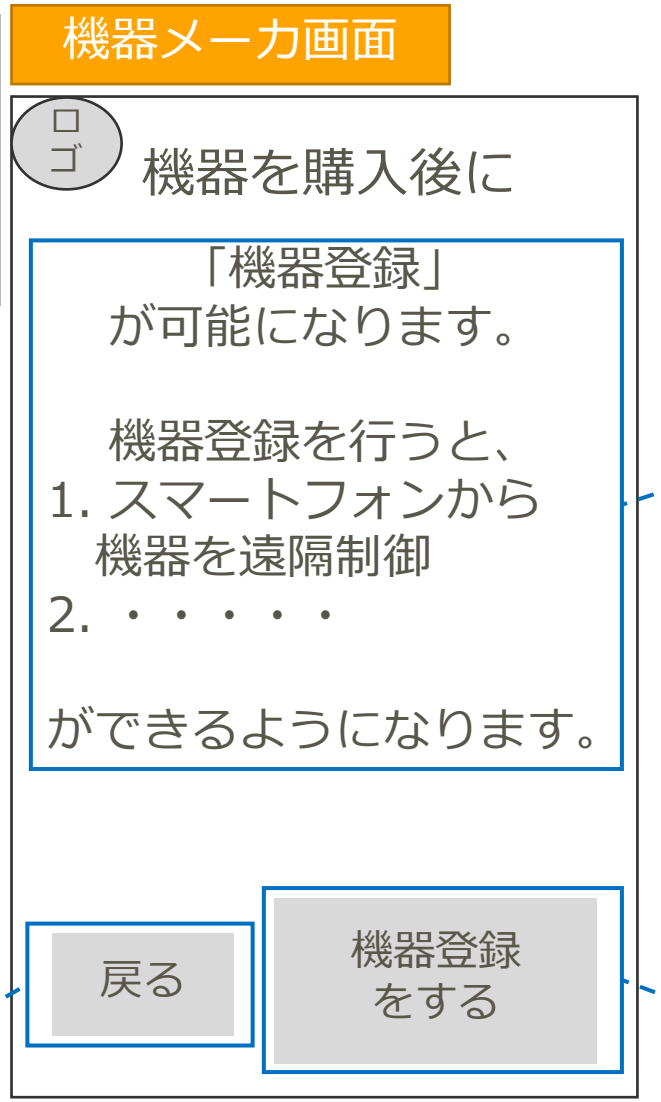
前頁「誘導パート(大項目)画面の標準モデル」で選択した内容が本小項目にも漏れなく入っていること。

戻る導線は確保する

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

0.4. 詳細説明画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



そのシーンで、
「①何をすれば」「②何ができるか」を
明示する。
「①何をすれば」に関しては、初心者ユーザ以外が通常メニューから選択して実行するようなこと。
「機器登録」「機器削除」「データ連携設定」等。

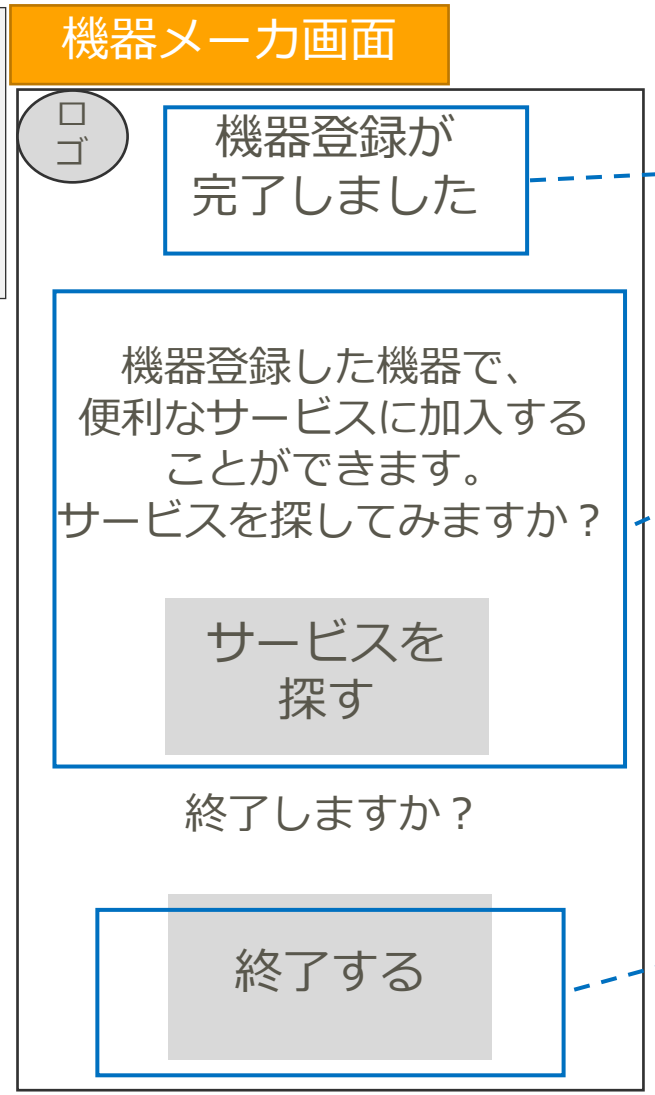
戻る導線は確保する

通常メニューで表示される
文言で実行導線をつなぐ

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

0.5. 実施可能パートの提示画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



何の画面かを最上部に記載し、ユーザに明示する。

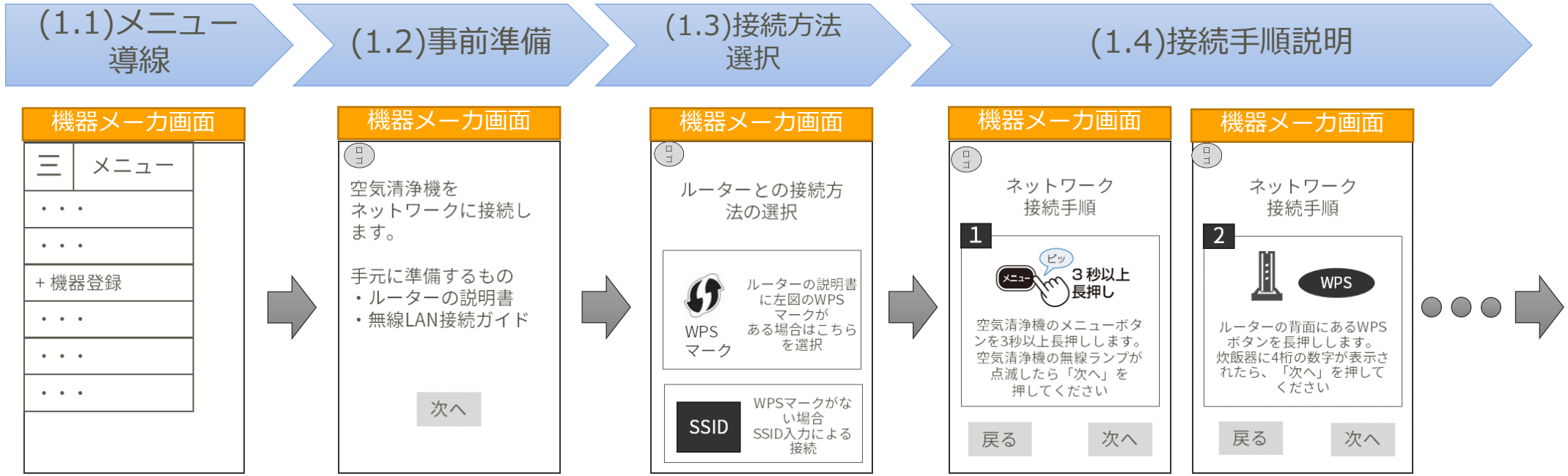
ユーザが次に何をできるかを提示する。(P10の選択肢)
この例ではサービスに未加入なので、
サービス加入へ誘導。

次への導線を提示する。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

1.機器登録パート
(機器接続及び機器登録)

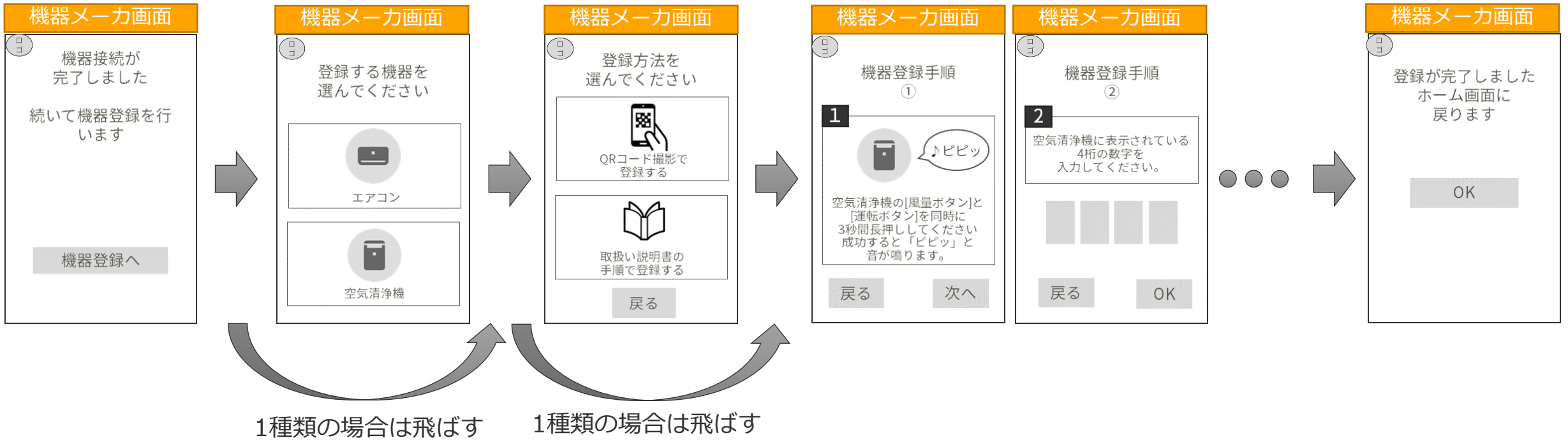
1. 機器登録フロー Part ①



JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

1. 機器登録フロー Part ②

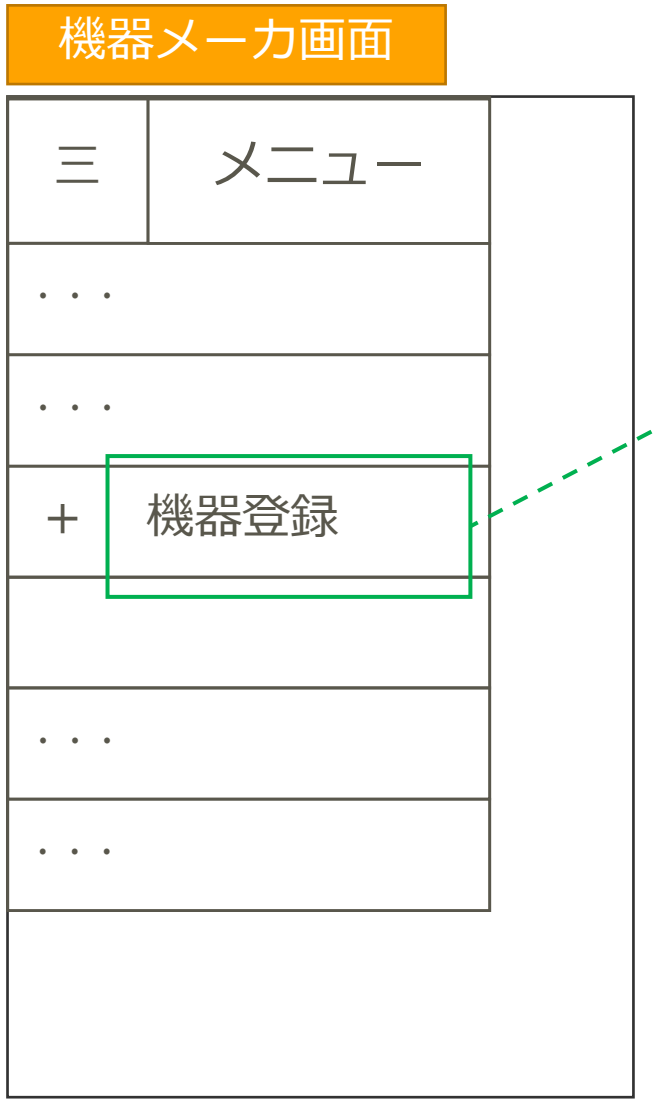
(1.5)機器接続完了 → (1.6)登録機種選択 → (1.7)登録方法選択 → (1.8)登録手順説明 → (1.9)登録完了



JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

1.1. 機器接続への導線画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項

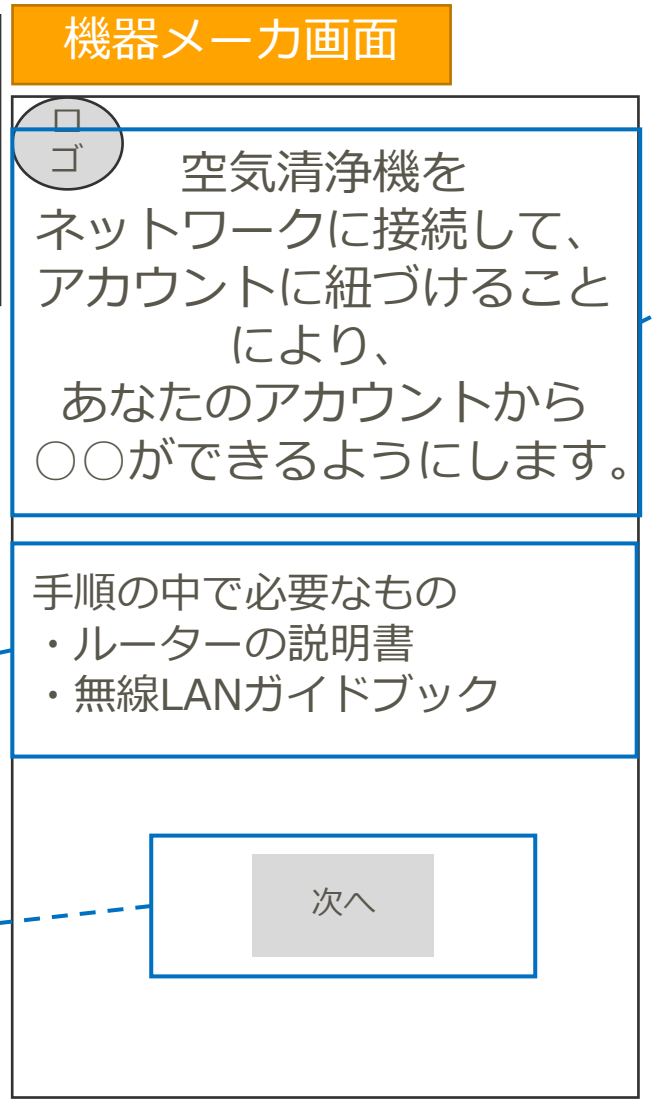


機器接続の入り口は「機器登録」というワードに統一。
ユーザに共通意識を持ってもらう。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

1.2. 事前準備画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



何の画面かを最上部に記載し、ユーザに明示する。
本例では、
ネットワーク接続のための導入誘導を想定。

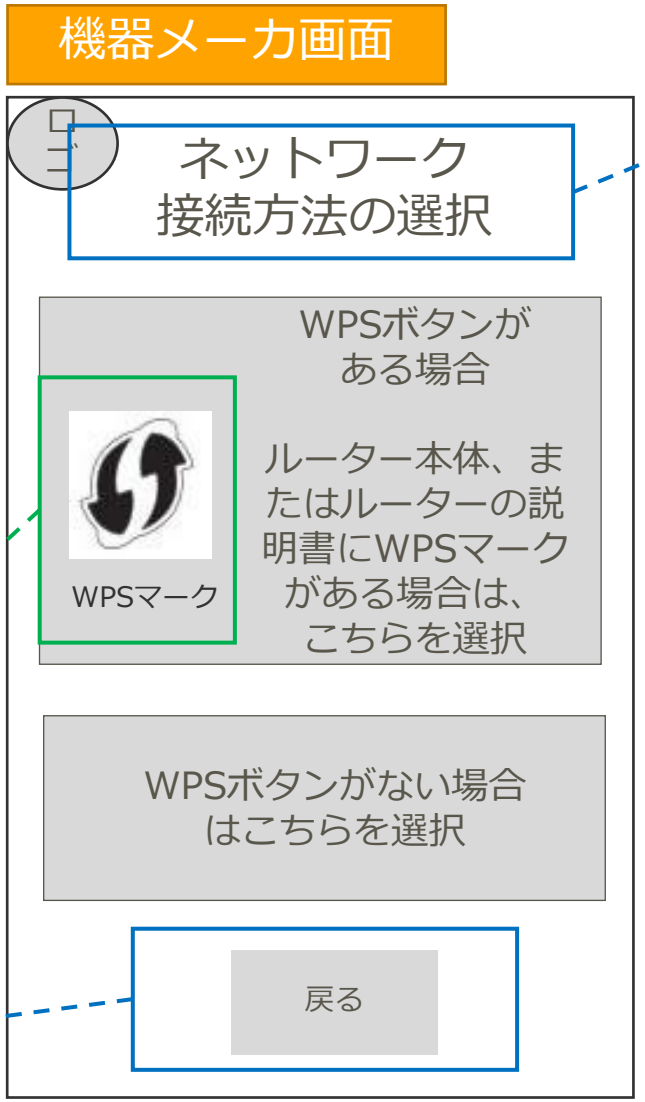
あらかじめ必要物を明示しておく。
機器接続作業中にユーザが脱落しないため。

次画面への遷移ボタンを配置。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

1.3. 接続方法選択画面の標準モデル

青字：重要な要素。
ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
必須ではないがユーザが判断しやすくなる
挿絵など
黒字：補足事項



何の画面かを最上部に記載し、ユーザに明示する。

機器に表示されているマークなどを表現するときは、挿絵を挿入して、わかりやすく表現する。
ユーザが短時間で選択肢を判断できるようにし、脱落を防ぐ。

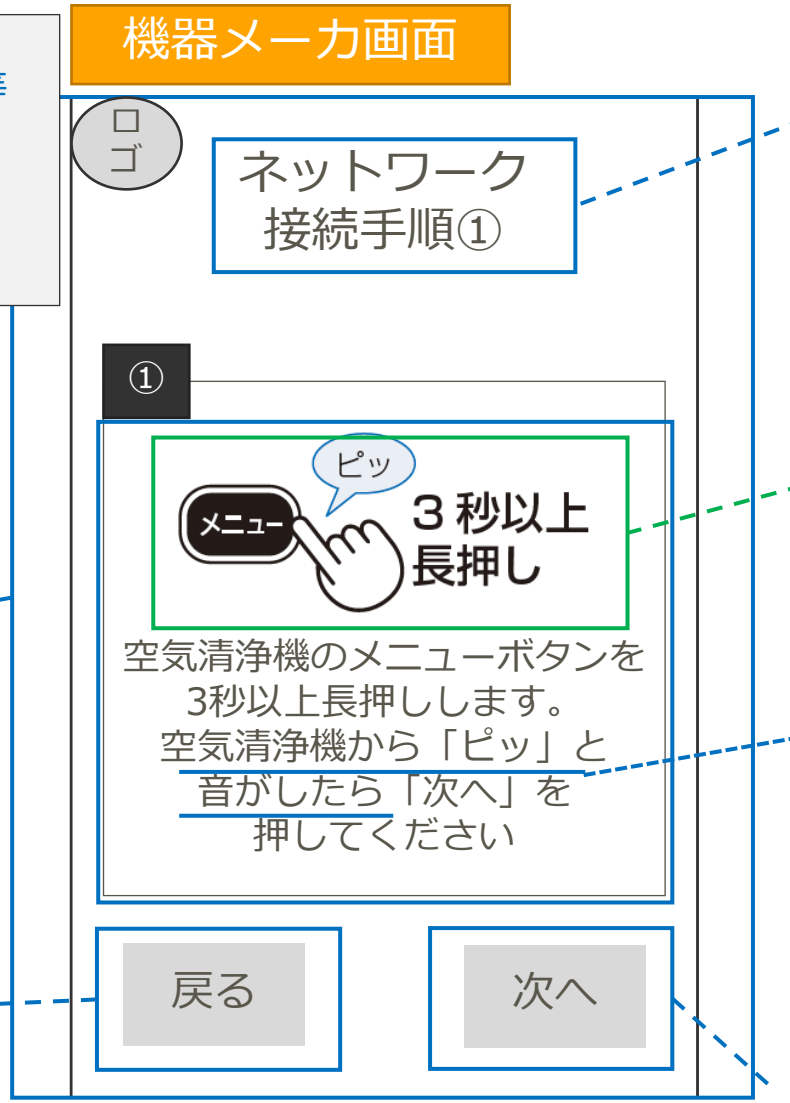
選択肢がある場合は、必ずどれかに当てはまるように選択肢を用意する。
ユーザが混乱するのを防ぐ為。

前画面に戻る導線を確保する。
最初のページからしかやり直しができないことを防いで、
ユーザの脱落を防ぐ

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

1.4. 接続手順説明画面の標準モデル　その１

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



何の画面かを最上部に記載し、ユーザに明示する。

必要に応じて、説明図を用いて手順を説明する

次の手順へ進める状態を明示する。

1画面内に1手順を表示する。
ユーザに易しい作業という印象を与え、脱落させにくくする。

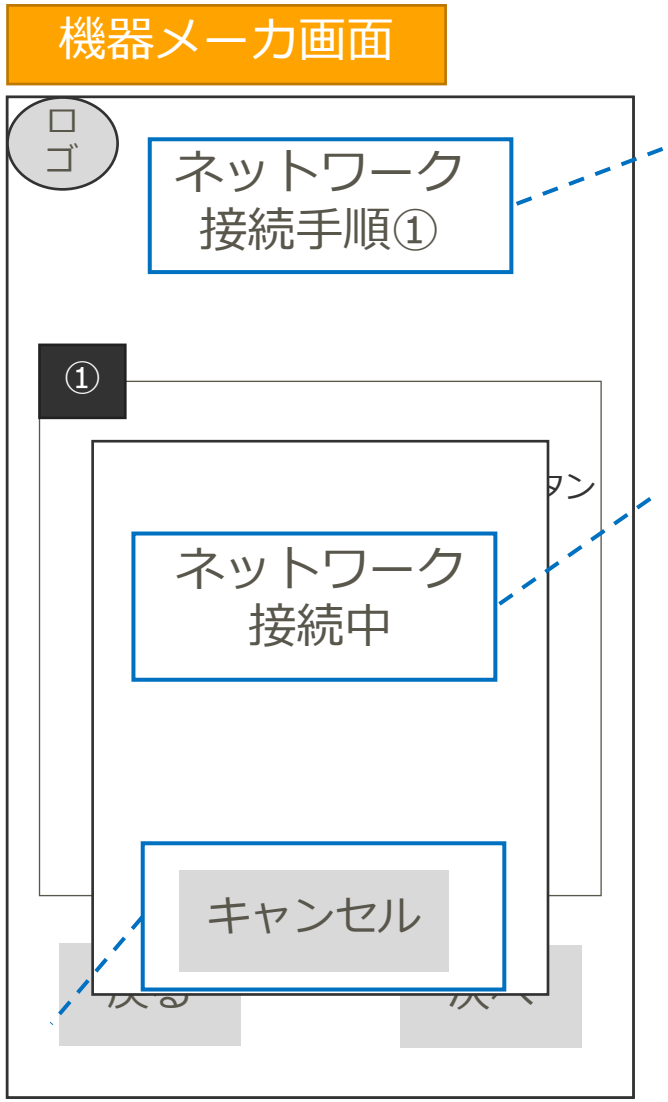
前画面に戻る導線を確保する。
最初のページからしかやり直しができないことを防いで、ユーザの脱落を防ぐ

次画面への遷移ボタンを最下部に配置。
画面は上部から下部を見てもらう流れを統一し、ユーザが次の手順に迷わないようにするため。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

1.4.接続手順説明画面の標準モデル　その２(ポップアップ仕様)

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



**何の画面かを最上部に記載し、
ユーザに明示する。**

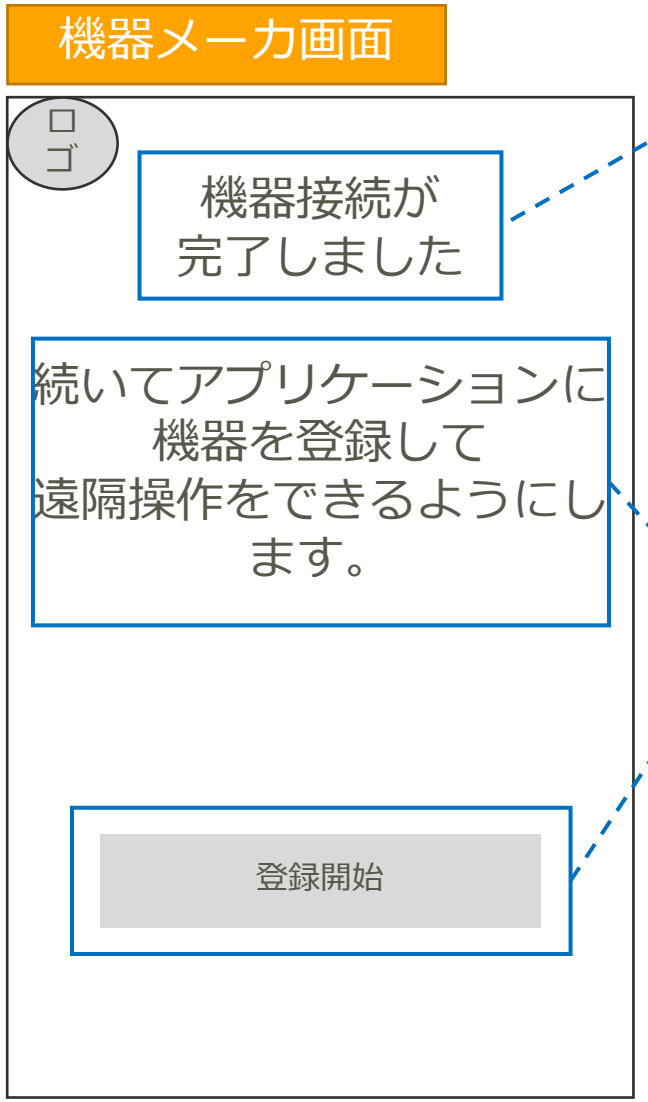
**自動で消えるポップアップの文言は、
次の画面でその事象の結果を伝えること**
例)「ネットワーク接続中」が
接続完了時に消えるポップアップの場合、
「ネットワーク接続完了」が
次の画面に表示されること。

**自動で消えるポップアップについては、
キャンセルボタンを配置すること。
ユーザの確認を意図するポップアップについては、
OKボタンを配置すること。**

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

1.5. 機器接続完了画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



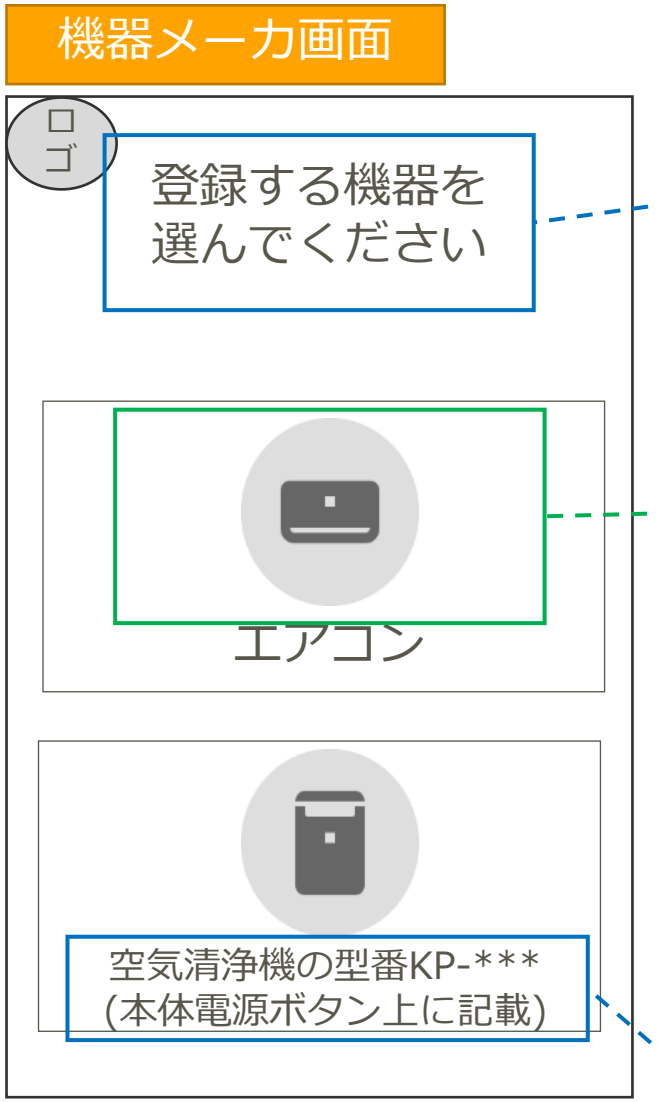
何の画面かを最上部に記載し、
ユーザに明示する。

機器登録(次のパート)へ
誘導することを明示する。
導線を確保することで、
ユーザが迷わないようにする。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

1.6. 登録機種選択画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



何の画面かを最上部に記載し、ユーザに明示する。

必要に応じて、説明図を用いる

型番等で選択させる場合には、機器の型番表示箇所をする
迷子になってしまう可能性がある。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

1.7. 登録方法選択画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項

機器メーカ画面

何の画面かを最上部に記載し、ユーザに明示する。

必要に応じて、説明図を用いる

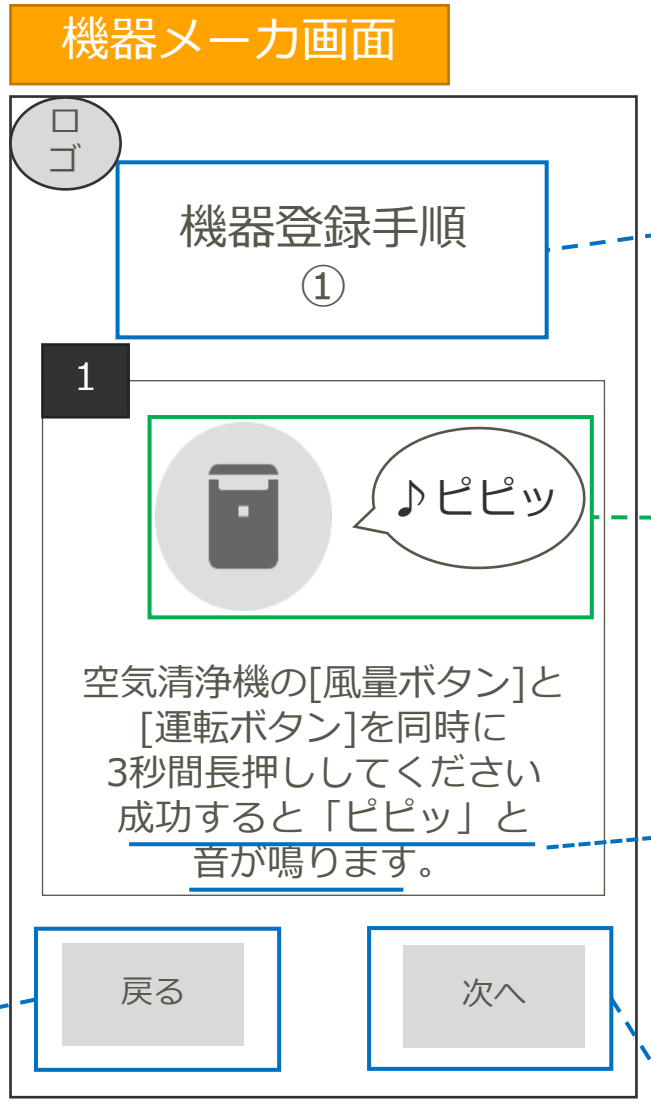
ユーザが迷わない文言を提示する
「機器PINコードで登録する」と登録手順を読めば理解できるかもしれないが、最初の選択画面では理解が及ばない場合がある

前画面に戻る導線を確保する。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

1.8. 登録手順説明画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



何の画面かを最上部に記載し、ユーザに明示する。

必要に応じて、説明図を用いる

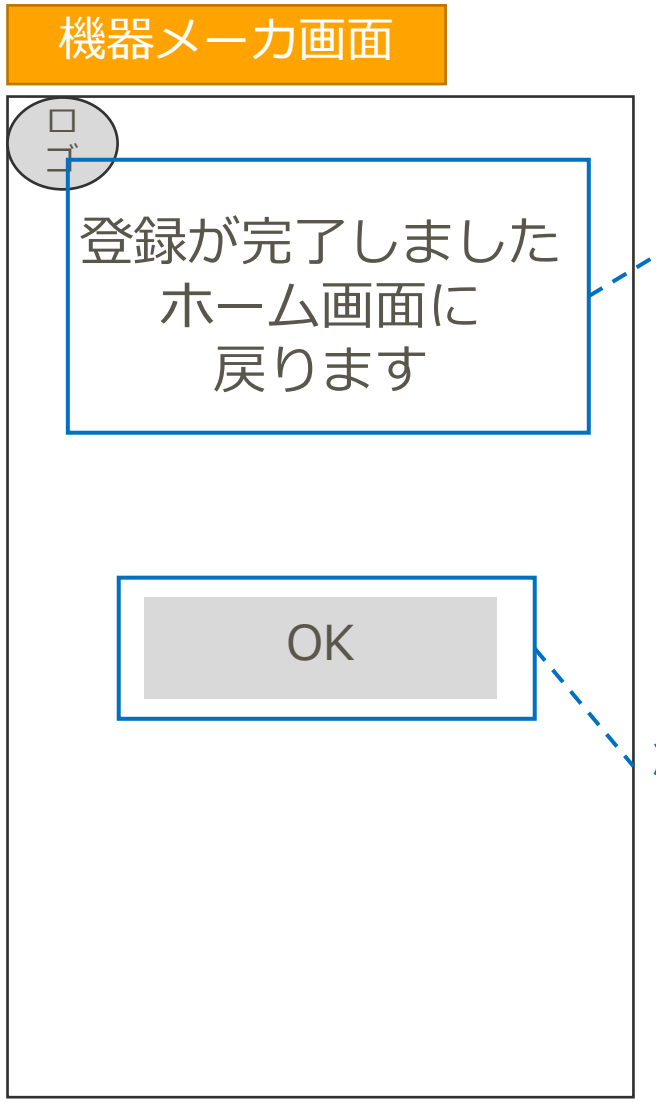
次の手順へ進める状態を明示する。

前画面に戻る導線を確保する。

次画面への遷移ボタンを最下部に配置。

1.9. 登録手順説明画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



何の画面かを最上部に記載し、ユーザに明示する。

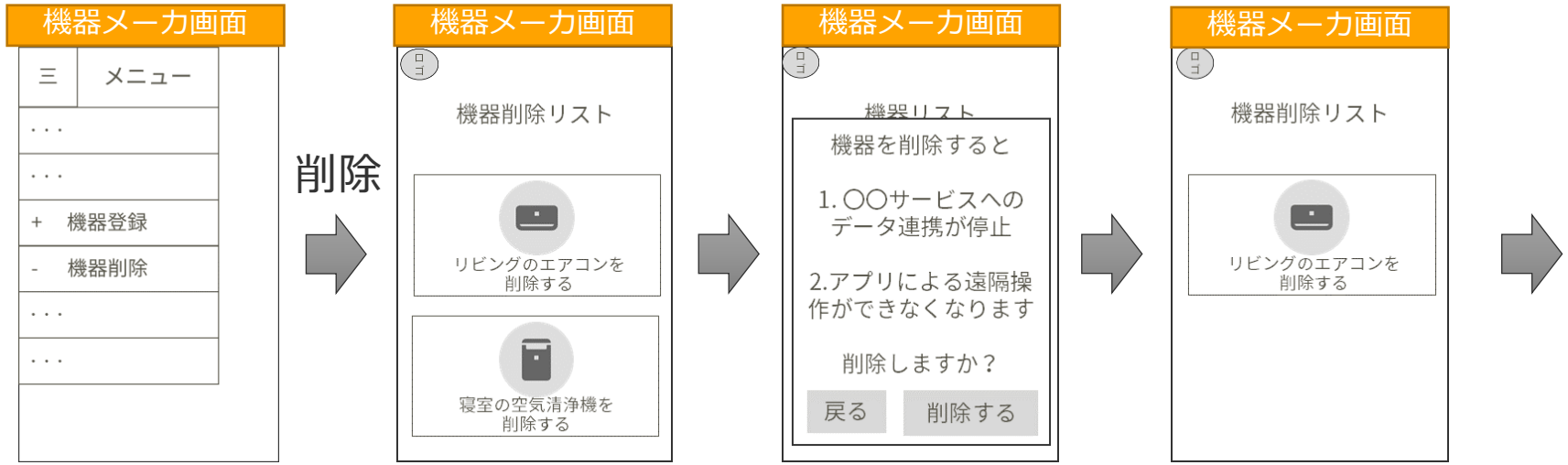
次画面への遷移ボタン等を配置する。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

2.機器削除パート

2. 機器削除の流れ

(2.1)メニュー導線 → (2.2)削除機器の選択 → (2.3)機器削除の実行 → (2.2)機器管理

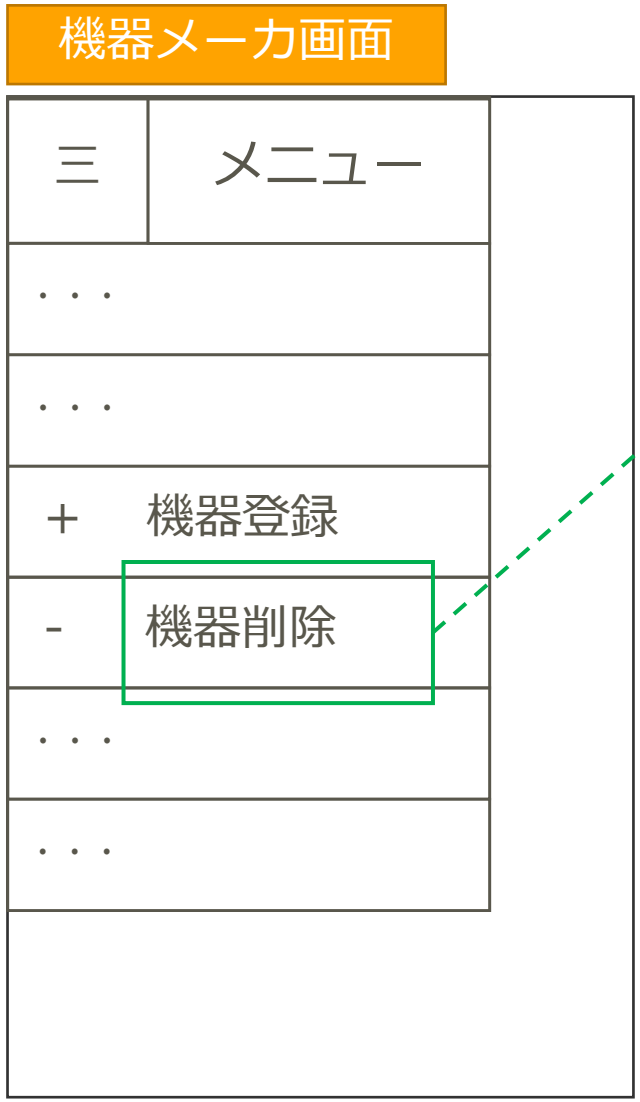


データ連携許可がされている場合は、解除される

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会 Japan Electronics and Information Technology Industries Association

2.1. 機器削除の導線画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



機器削除の入り口は「機器削除」というワードに統一。
ユーザに共通意識を持ってもらう。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

2.2.削除機器選択画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項

何の画面かを最上部に記載し、
ユーザに明示する。

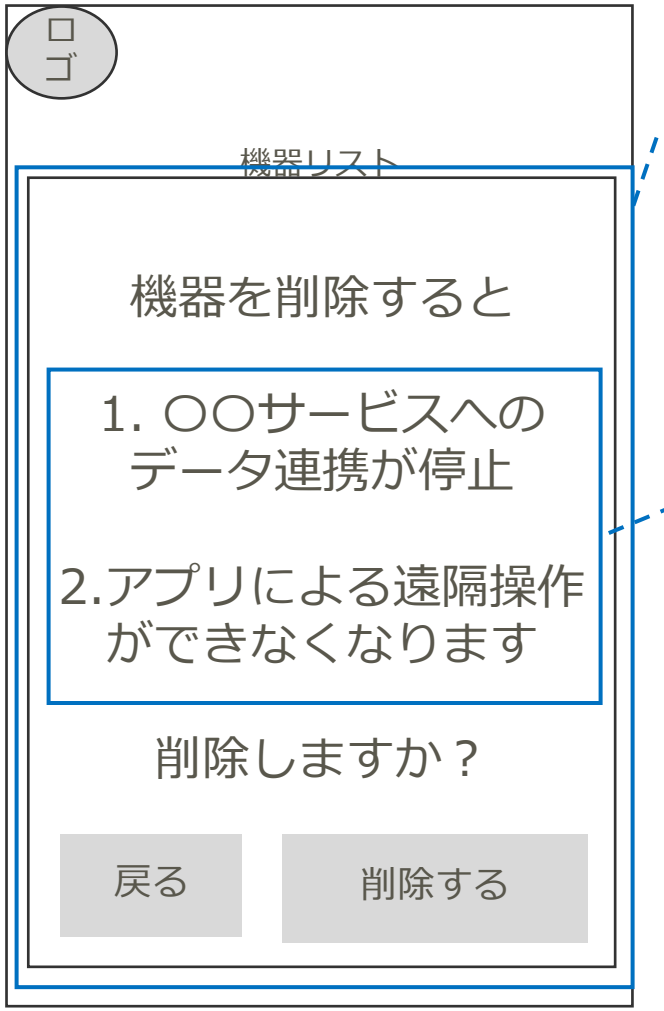
機器を簡単に特定できる表示とする
MACアドレス等、ユーザが
調べなければわからない表示はしない。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

2.3. 削除機器実行画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項

機器メーカ画面



機器削除時は確認をとる
再登録の手間が大きく、
誤って削除した場合は再登録を実行しない可能性がある為。

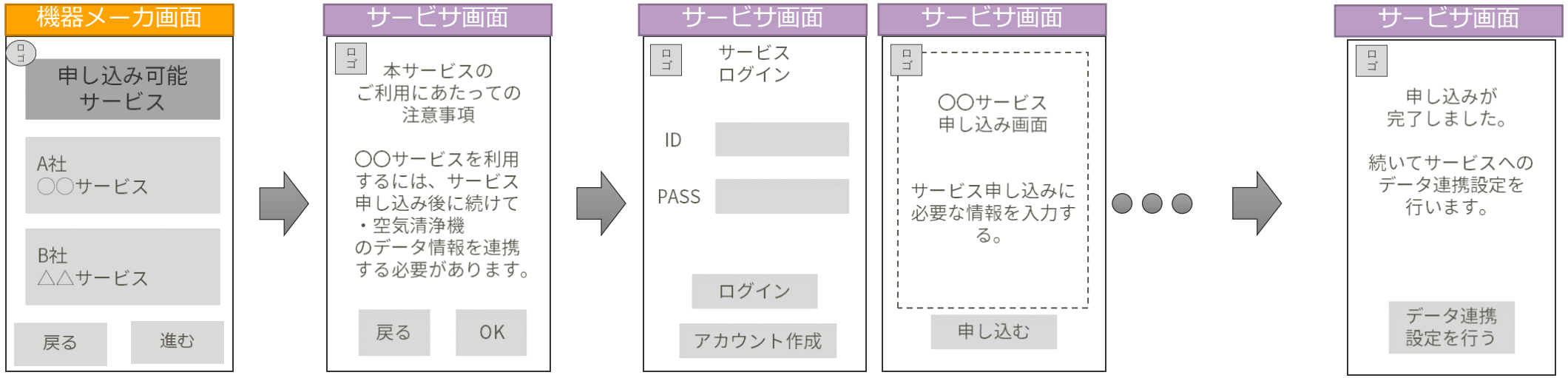
機器削除時の影響を明示する
ユーザが影響を知らなくて削除した場合、再登録を行わない可能性が高い

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

3.サービス加入パート

3. サービス加入のフロー

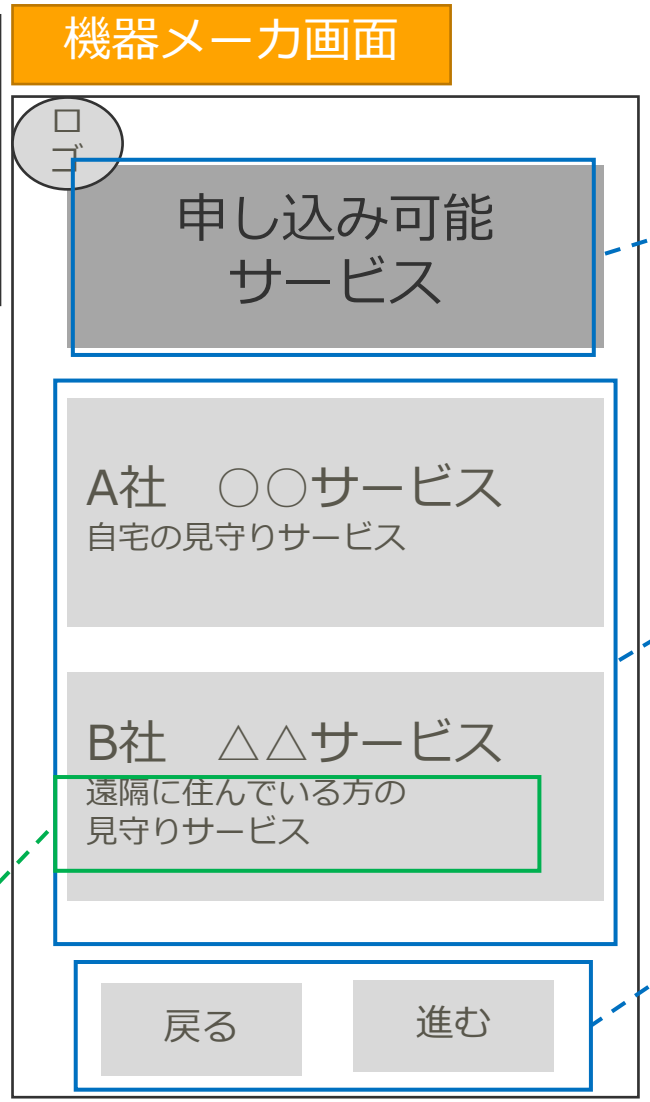
(3.1)サービス加入の導線 → (3.2)サービス概要・要件 → (3.3)サービス契約 → (3.4)サービス契約完了後のID接合導線



JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会 Japan Electronics and Information Technology Industries Association

3.1. サービス加入の導線画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



何の画面かを最上部に記載し、
ユーザに明示する。

登録している機器より、申し込み可能な
サービスリストを持つ。
同リストは、サービス申し込みの導線を
確保しているもの。
必要に応じてサービサ画面に遷移すると明記

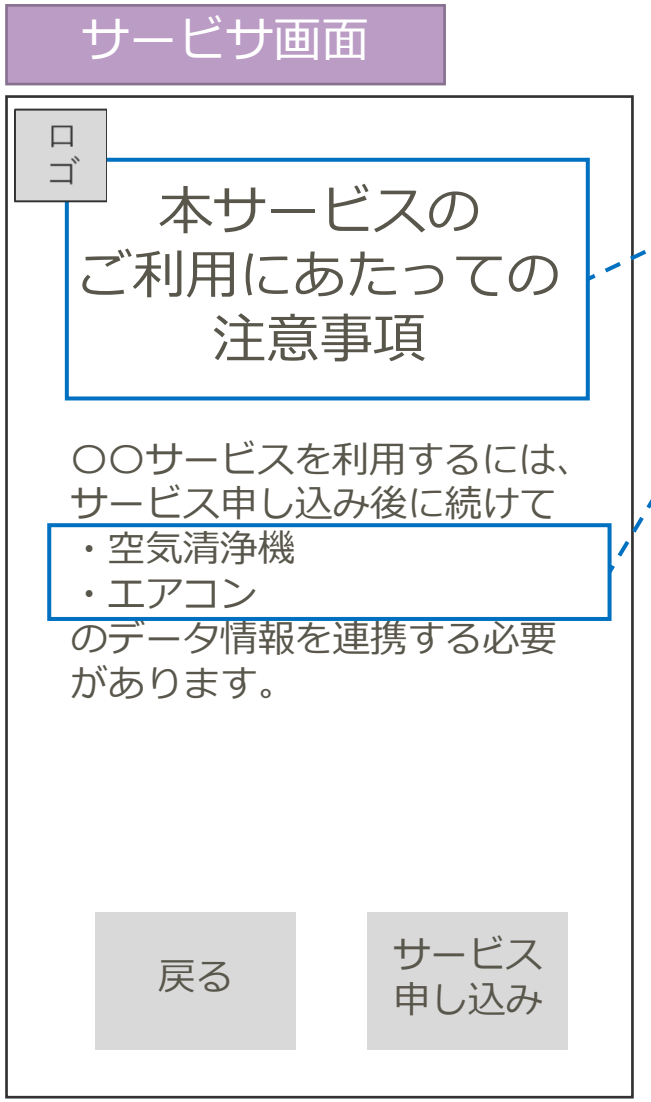
サービス内容の説明を簡単に記載

導線を確保する。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

3.2. サービス概要・要件画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



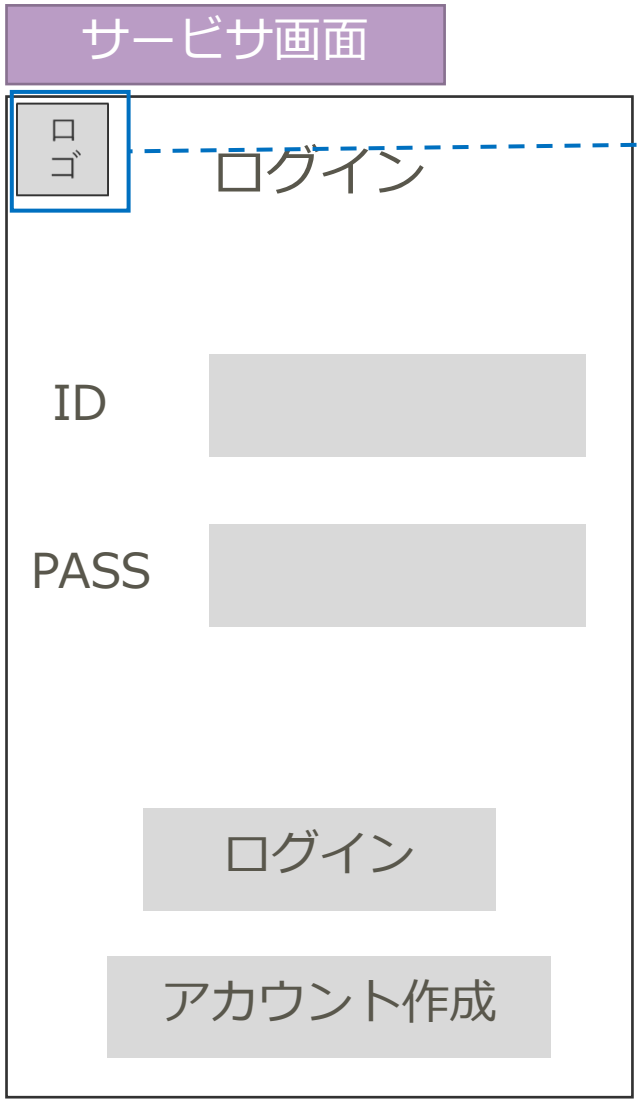
何の画面かを最上部に記載し、ユーザに明示する。

データ連携が必要な機器を列挙すること。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

3.3. サービス契約標準モデル (ログイン画面)

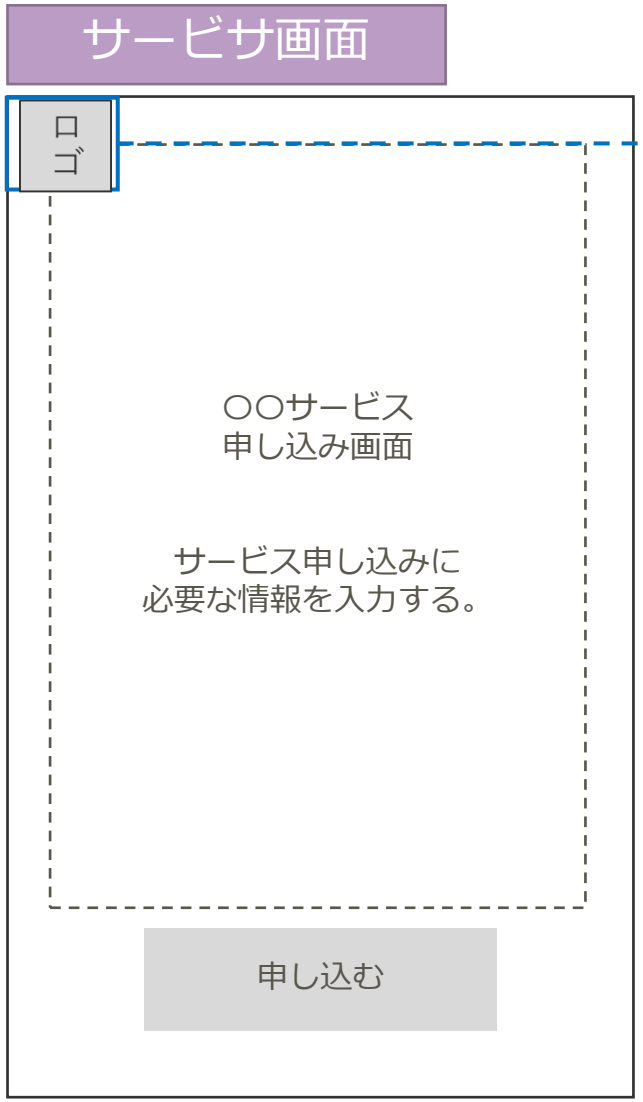
青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



何社のログイン画面なのか、ロゴ、登録商標、社名等を入れて明確にする

3.3.　サービス契約標準モデル　(申し込み画面)

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項

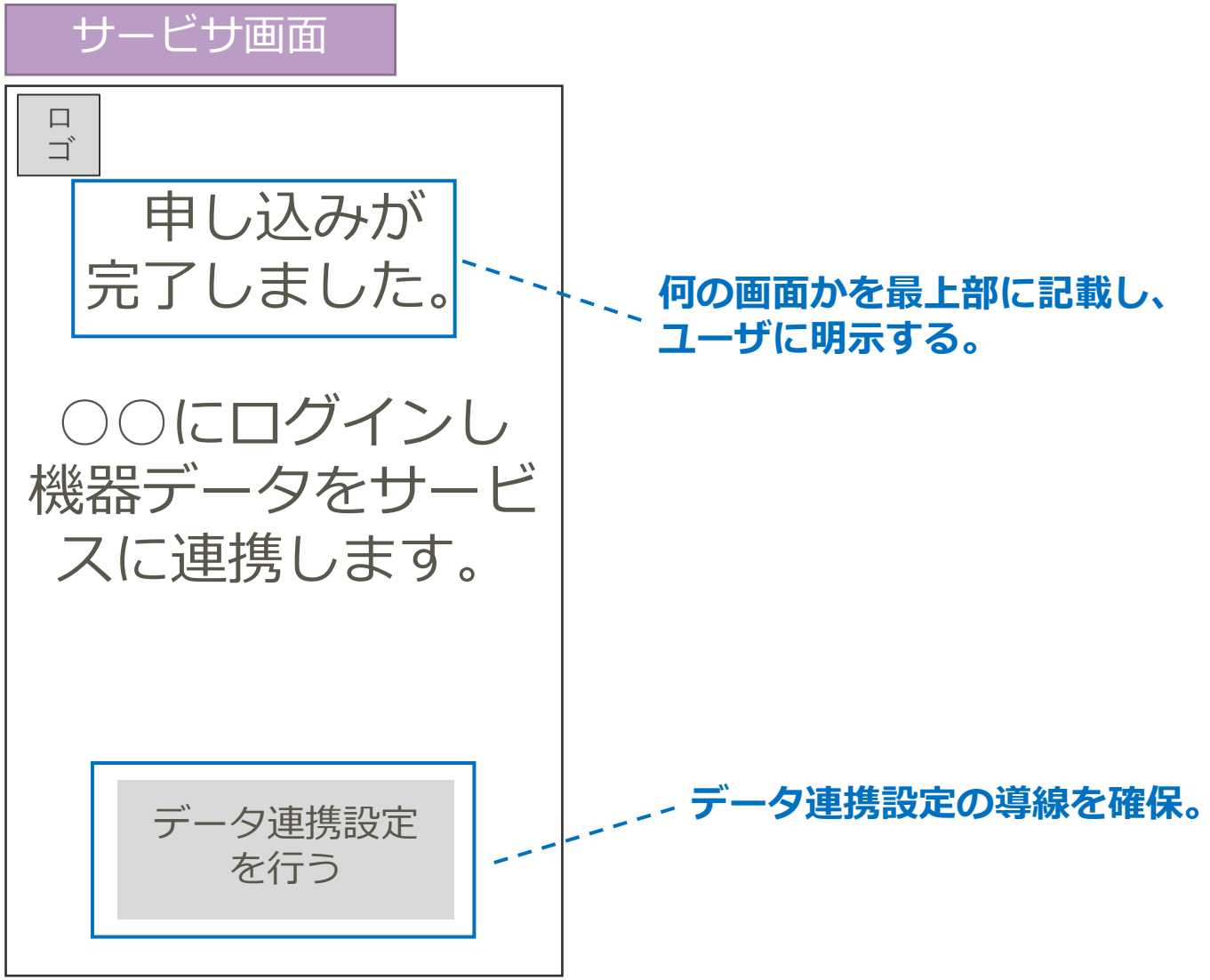


何社のログイン画面なのか、ロゴ、登録商標、社名等を入れて明確にする

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

4.4. サービス契約完了後のID接合導線画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項

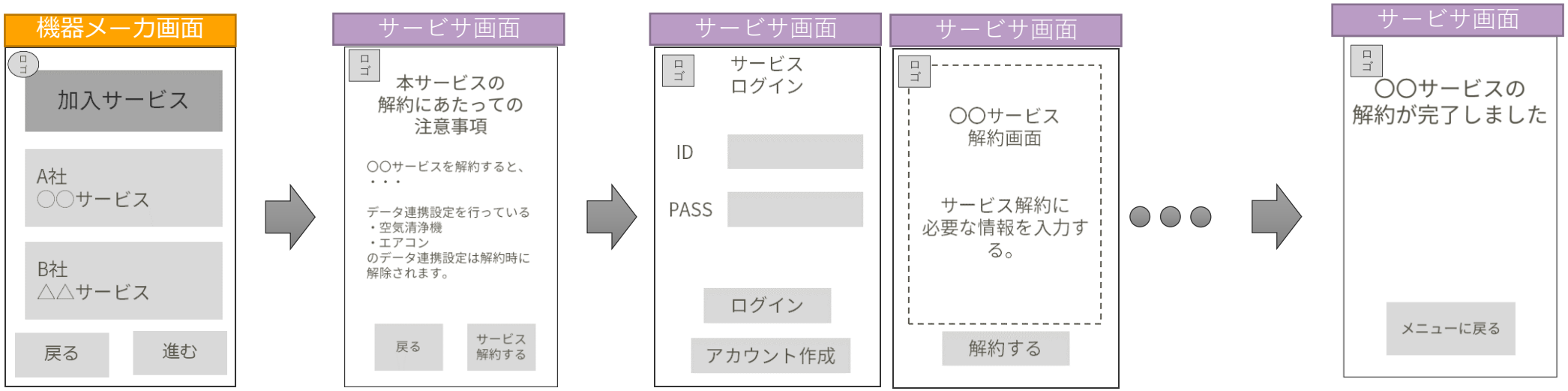


JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

4.サービス解約パート

4. サービス解約のフロー

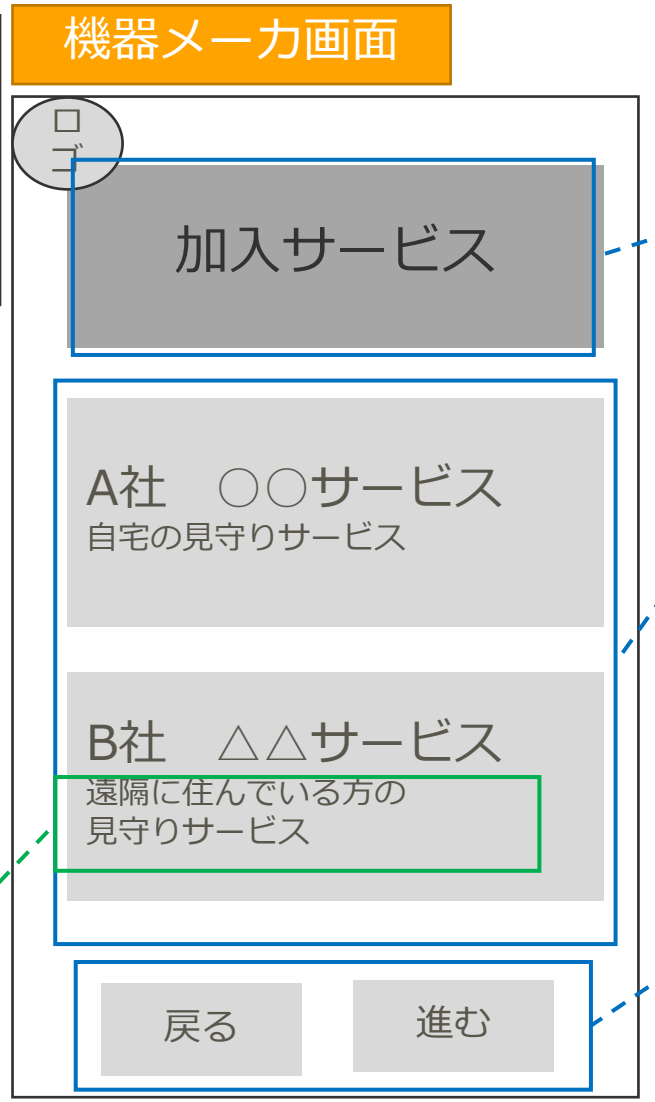
(4.1)サービス解約の導線 → (4.2)サービス解約時の注意 → (4.3)サービス解約 → (4.4)サービス解約完了



JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

4.1. サービス解約の導線画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



何の画面かを最上部に記載し、
ユーザに明示する。

加入済みサービスリストを表示
必要に応じてサービサ画面に遷移すると明記

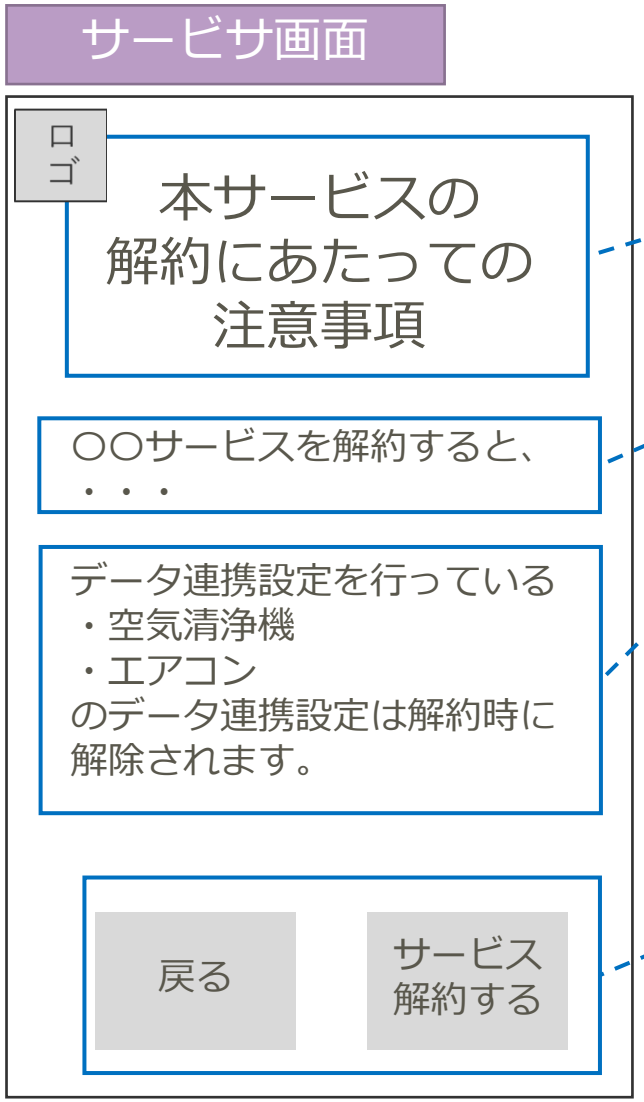
サービス内容の説明を簡単に記載

導線を確保する。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

4.2.サービス解約時の注意画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



何の画面かを最上部に記載し、
ユーザに明示する。

解約時の影響を記載。

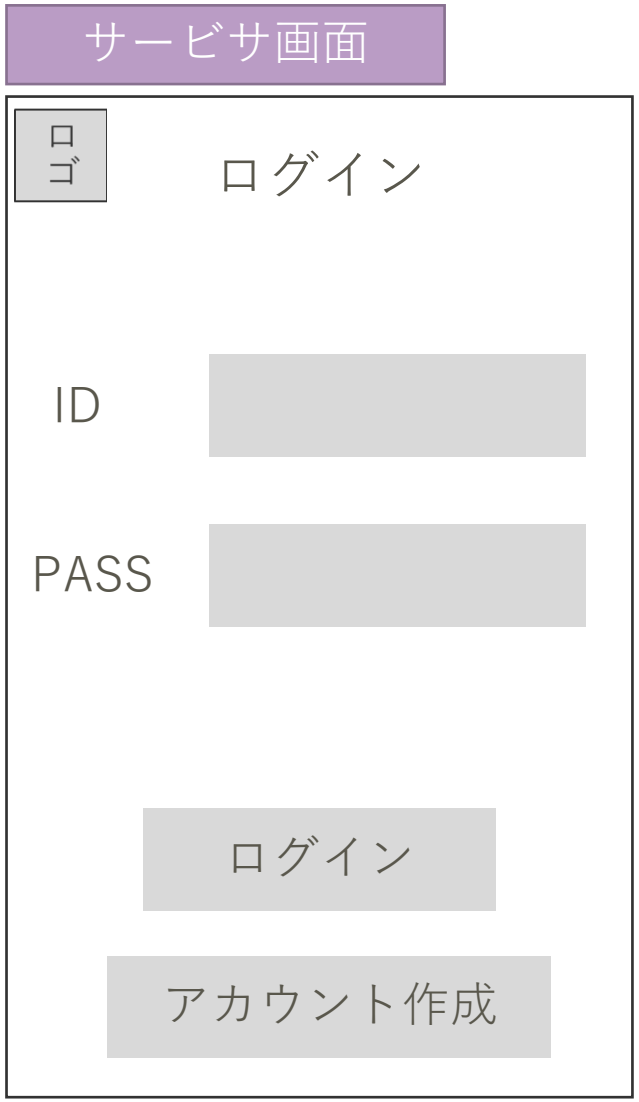
データ連携設定が解除されることを明記

導線を確保する。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

4.3.サービス解約 標準モデル (ログイン画面)

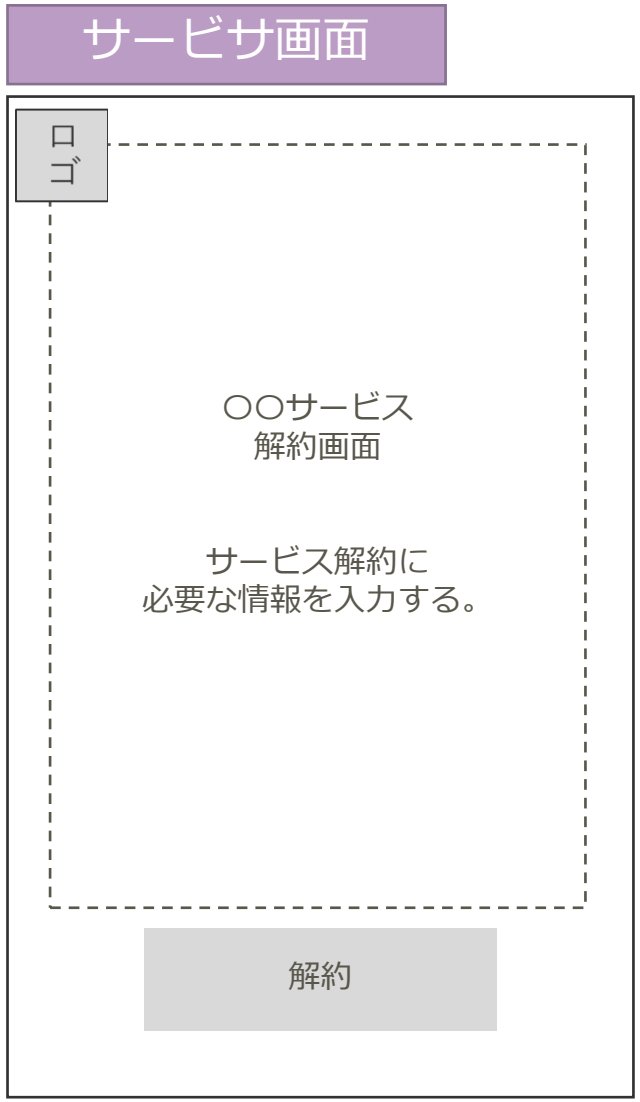
青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

4.3. サービス解約 標準モデル(解約確認画面)

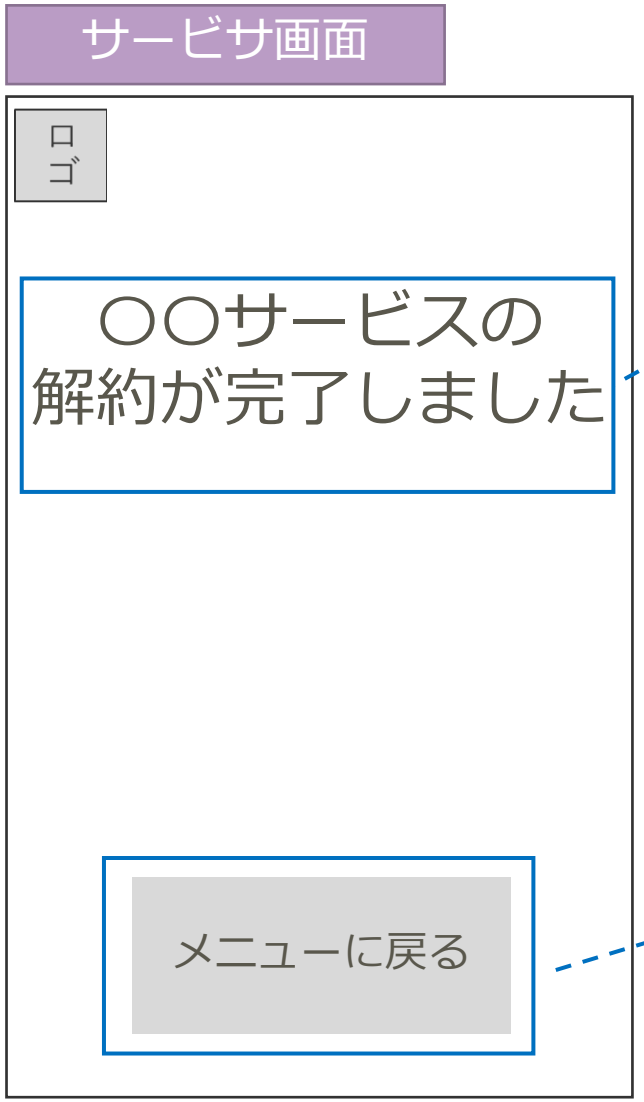
青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

4.4. サービス解約完了画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



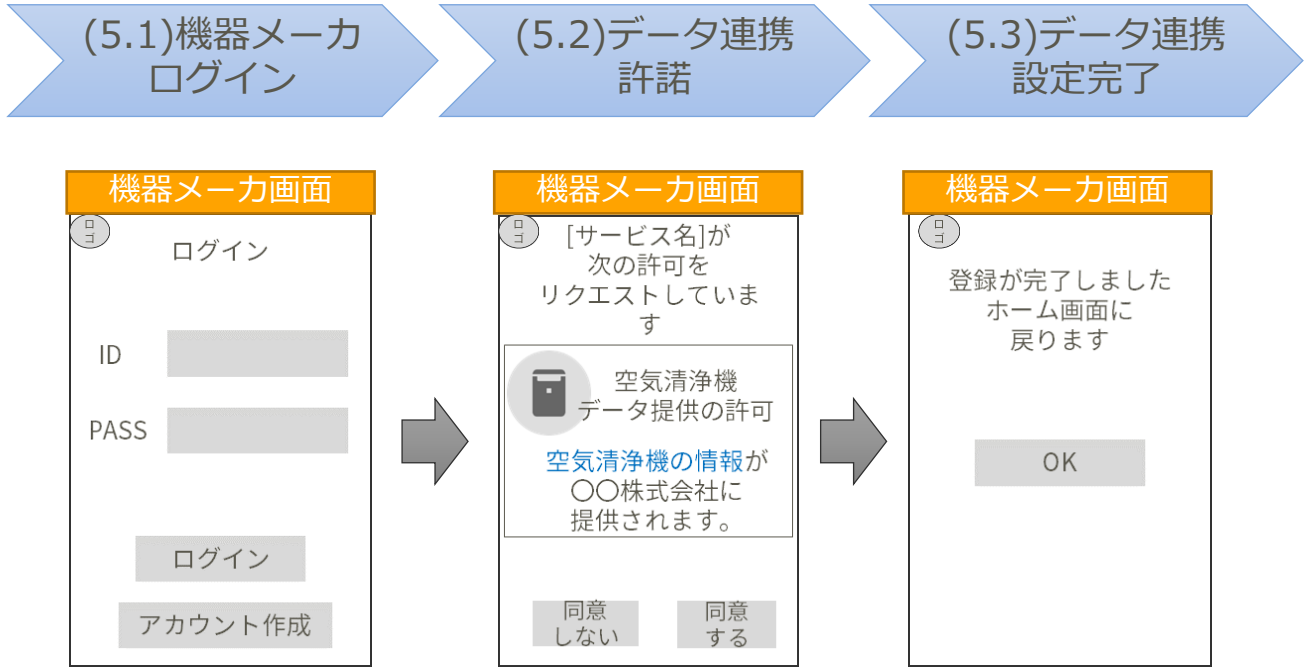
何の画面かを最上部に記載し、ユーザに明示する。

導線を確保する。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

5.ID接合パート

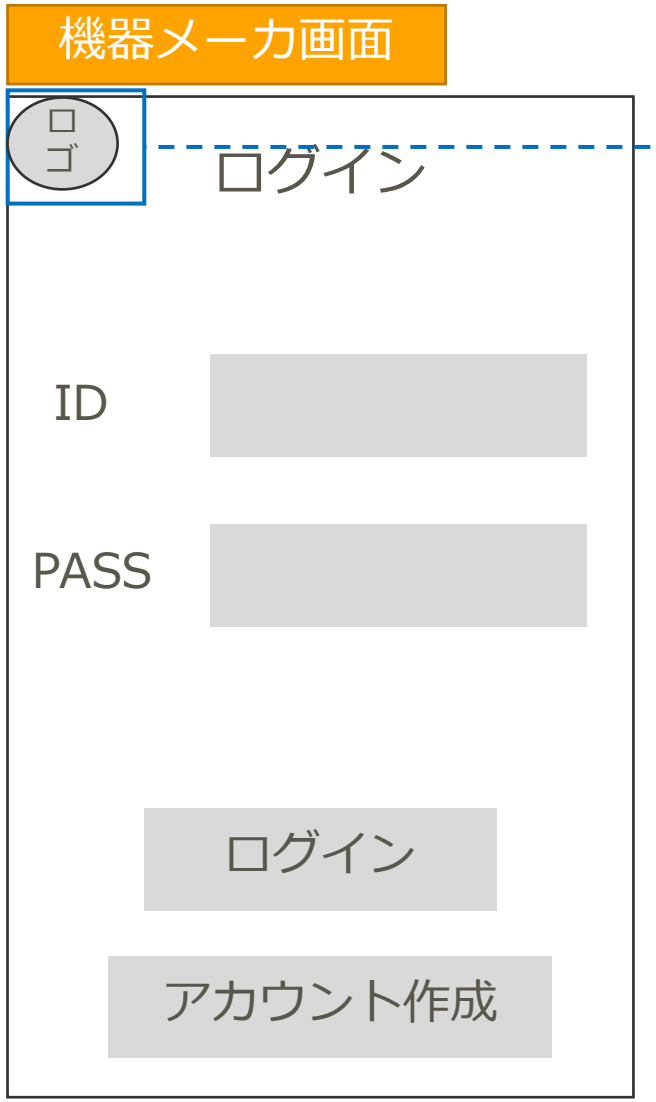
5. ID接合のフロー



JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

5.1. 機器メーカログイン画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項

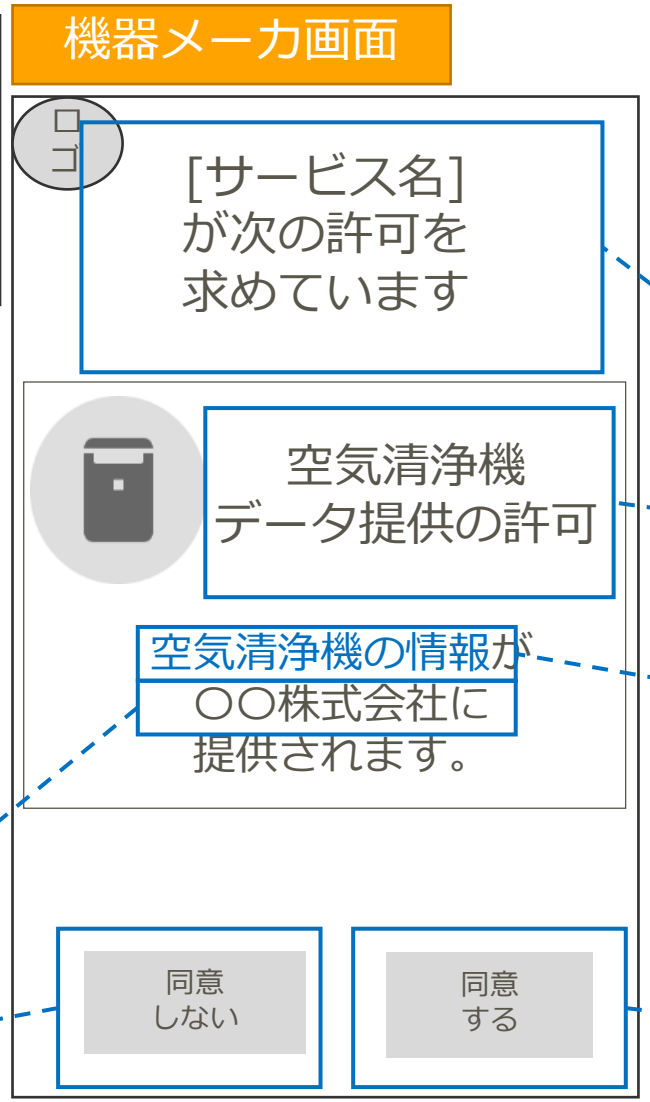


何社のログイン画面なのか、
ロゴ、登録商標、社名等を入れて
明確にする

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

5.2. データ連携許諾画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



連携するサービス(利用目的)を明確にする

連携するデータを明確にする。

連携するデータを、ユーザが理解できる粒度にし、細かいデータを見たい人は、リンク先で閲覧できるようにする。

データ連携先の企業を明示する

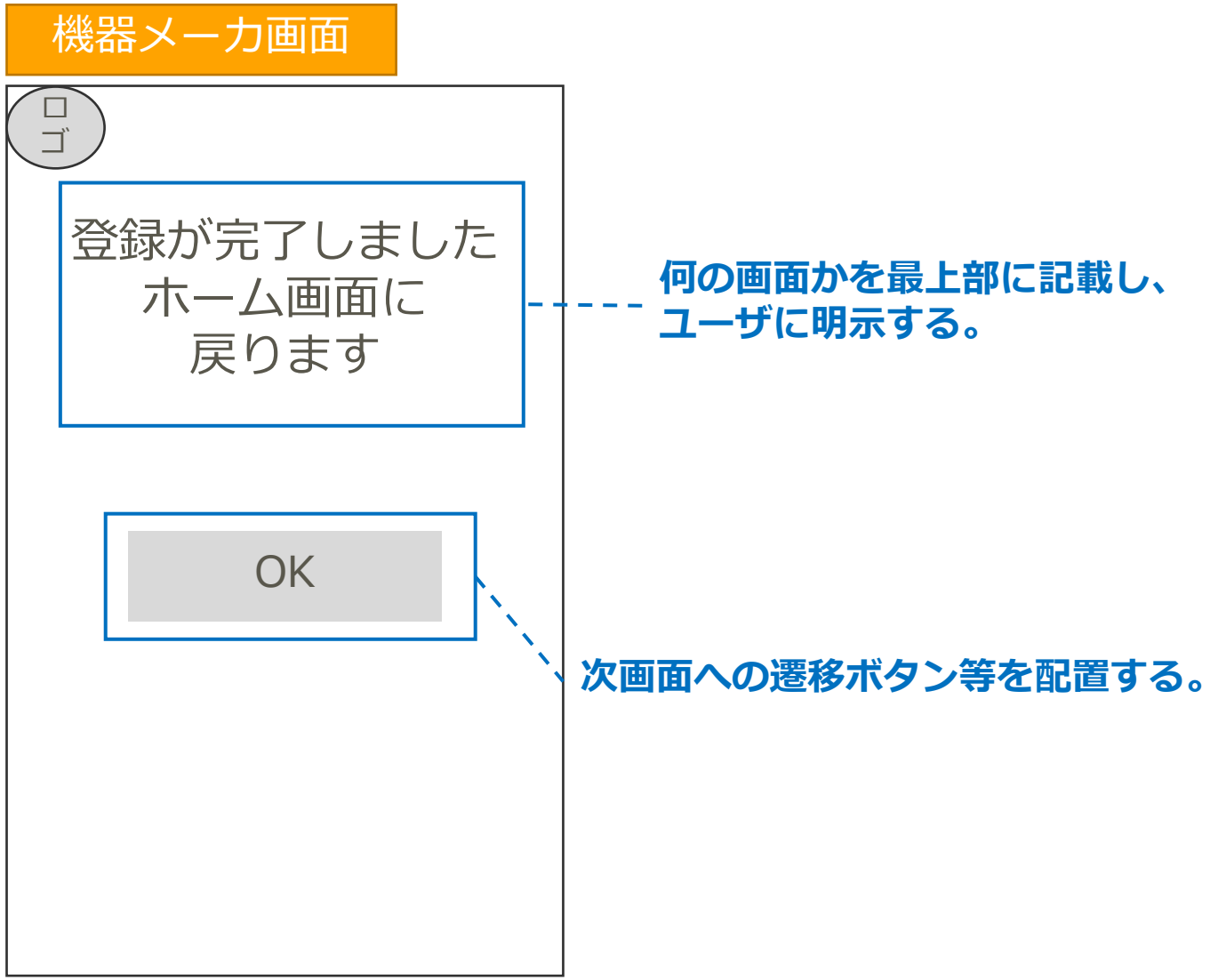
同意ボタンは最下部に表示する。

データ連携に同意しない場合の遷移も確保しておく

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

5.3. データ連携設定完了画面の標準モデル

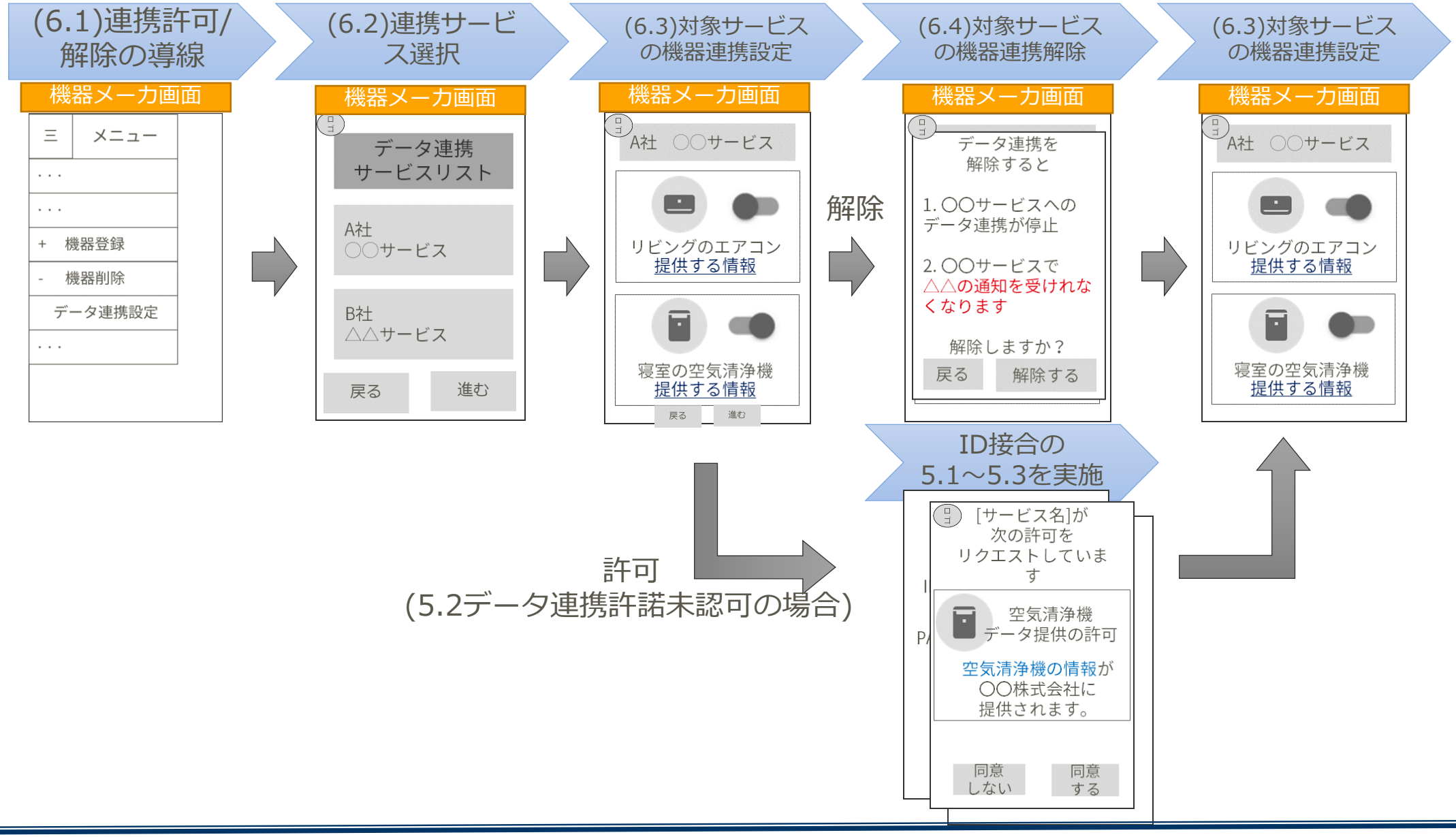
青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

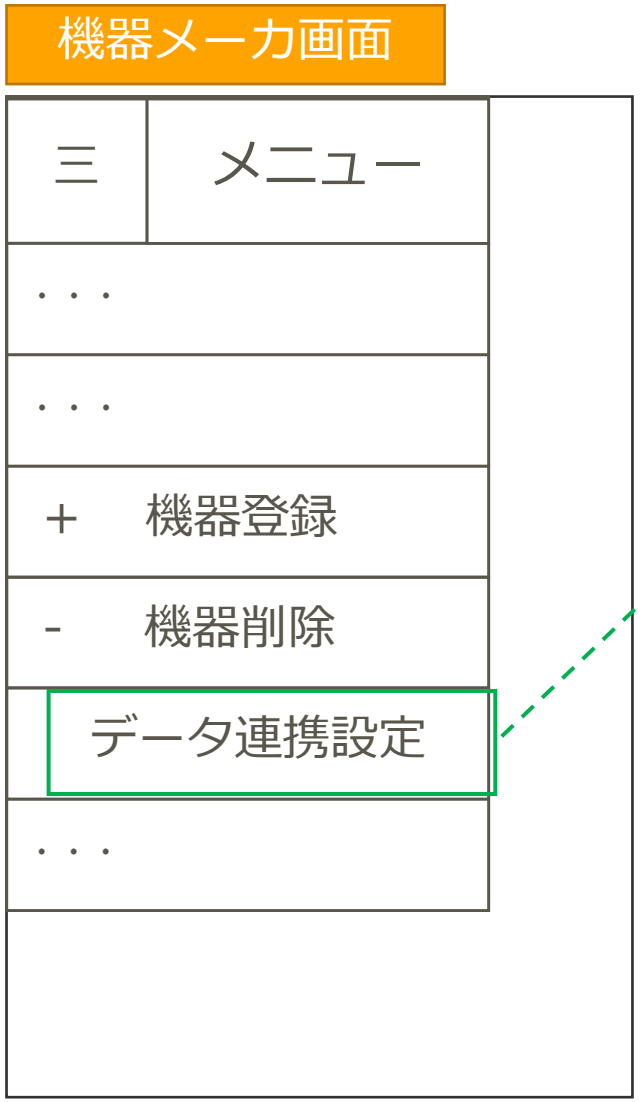
6.データ連携許可・解除のフロー

6. データ連携許可/解除のフロー



6.1. 連携許可/解除の導線画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　ユーザの再現性向上に繋がるもの等
黒字：補足事項

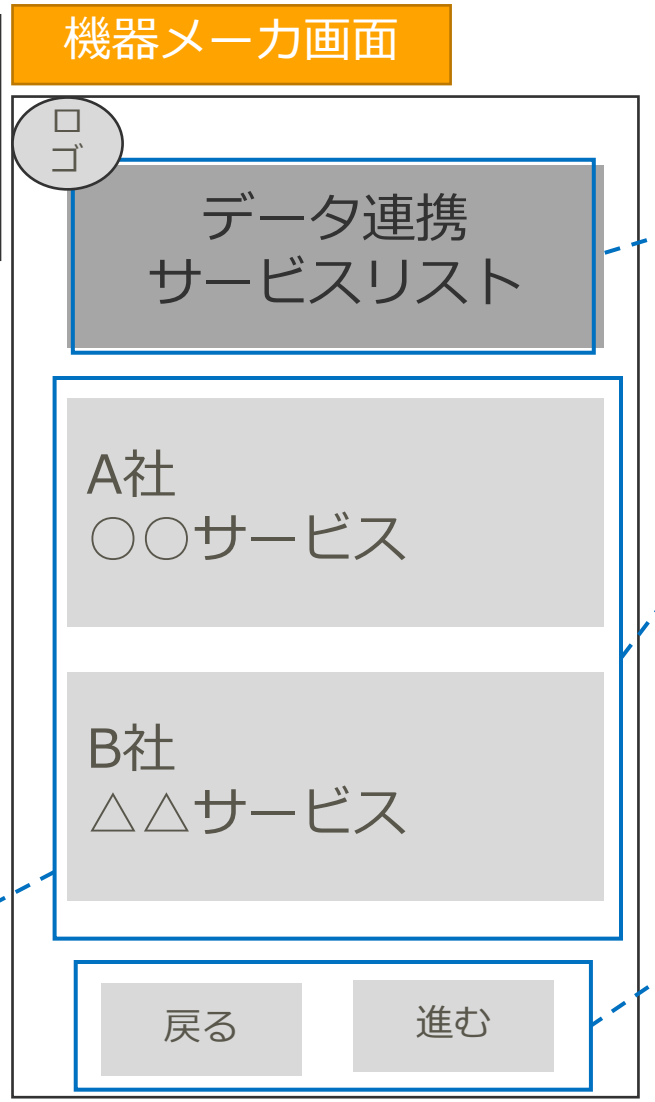


「データ連携設定」の文言で統一する。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

6.2. 連携サービス選択画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　ユーザの再現性向上に繋がるもの等
黒字：補足事項



何の画面かを最上部に記載し、
ユーザに明示する。

データ連携している
サービスリストを持つこと
必要に応じてサービサ画面に遷移すると明記

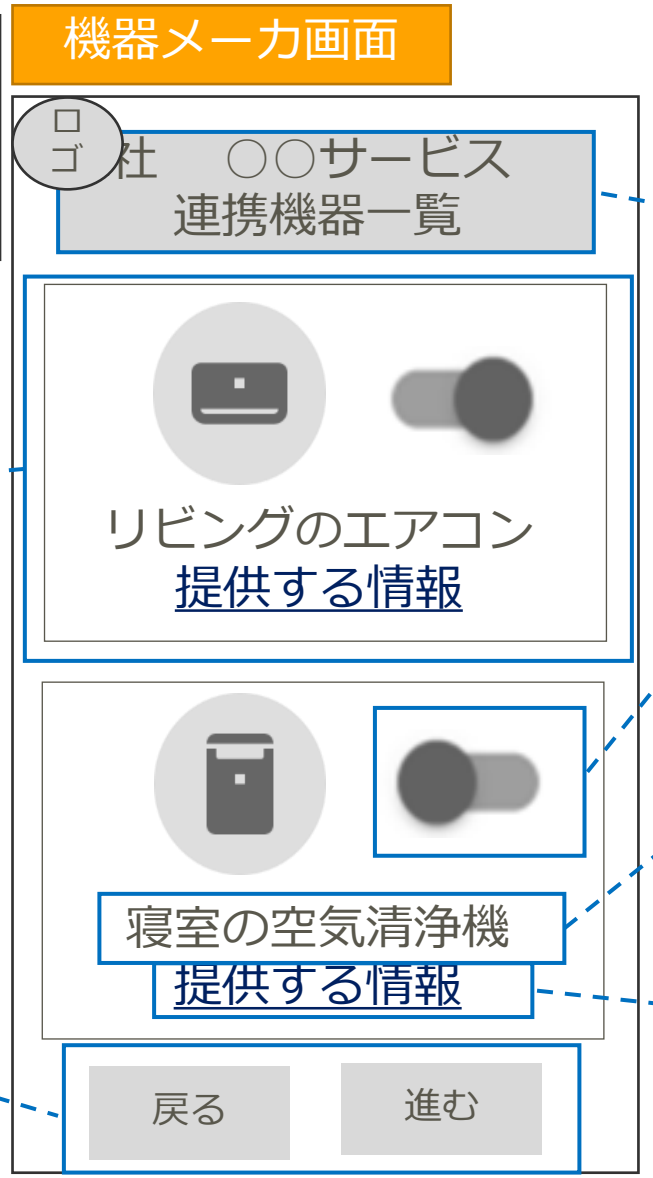
導線を確保する。

サービスの解約通知を受け取った、かつ、
データ連携している機器がないサービスは表示しない。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

6.3. 対象サービスの機器連携設定画面の標準モデル その１

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　ユーザの再現性向上に繋がるもの等
黒字：補足事項



何の画面かを最上部に記載し、ユーザに明示する。

サービス加入後、データ連携できる機器については連携機器一覧に追加する。

現在対象機器がデータ連携中かどうかが分かる表示を持つ。
また、それを変更できる導線を持つ。

機器を簡単に特定できる表示とする。
MACアドレス等、ユーザが
調べなければわからない表示はしない。

細かい連携データ項目を見たい人へ、リンク先で詳細を閲覧できるようにする。

導線を確保する。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

6.3. 対象サービスの機器連携設定画面の標準モデル　その２(全ての機器がOFF時)

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　ユーザの再現性向上に繋がるもの等
黒字：補足事項

機器メーカ画面

連携サービスで全ての機器連携が解除になった場合、その状態の表示を残す
サービスの解約を行っていないことと、サービス連携設定をしてサービスを再開しやすくするため。

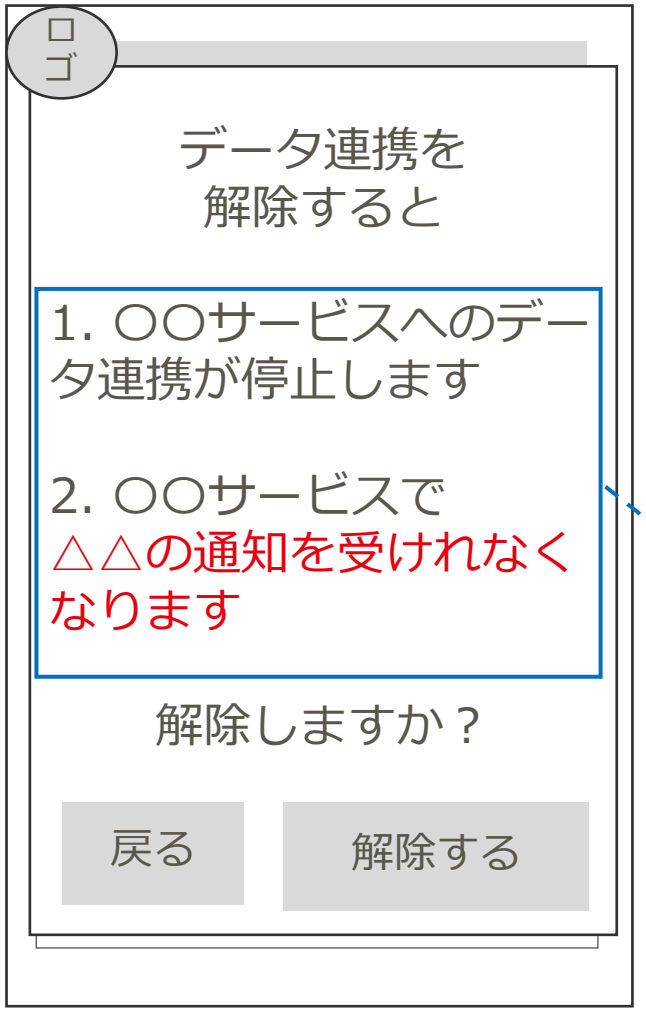
導線を確保する。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会 Japan Electronics and Information Technology Industries Association

6.4. 対象サービスの機器連携解除画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　ユーザの再現性向上に繋がるもの等
黒字：補足事項

機器メーカ画面



機器削除時の影響を明示する
データ連携解除でサービスが成り立たなくなる場合は、その旨をわかりやすく表示すること。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

ユーザに提示するＵＩ構成モデル
サービサ編

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

はじめに　機器・サービスの申込みや登録で、ユーザに提示するUIパートについて

消費者に提示するUIとしては、下記7つのパートに分解できる。
本モデルでは、各パートで留意するべき注意点等を示していく。

0.全体パート

- 機器購入⇒登録⇒サービス加入等、消費者にUIとして提示する全体像を示す。

1.機器登録パート

- 機器を購入して登録する。（サービスは未加入で、まだ加入予定は無い）
- 機器を購入して登録する。（サービスには加入しているが、まだ連携を行わない）

2.機器解除パート

・サービス加入済みで連携済みの機器を登録抹消するとき
・サービス加入済みで連携済みの機器を連携解除するとき

3.サービス加入パート

- サービスに申し込む。（とりあえず機器連携は、おこなわない）
- サービスに申し込む。（機器をもっていない）

4.サービス解除パート

- サービスをやめる

5.ID接合パート

- サービス加入済み、機器登録済みで、後からデータ連携を開始する

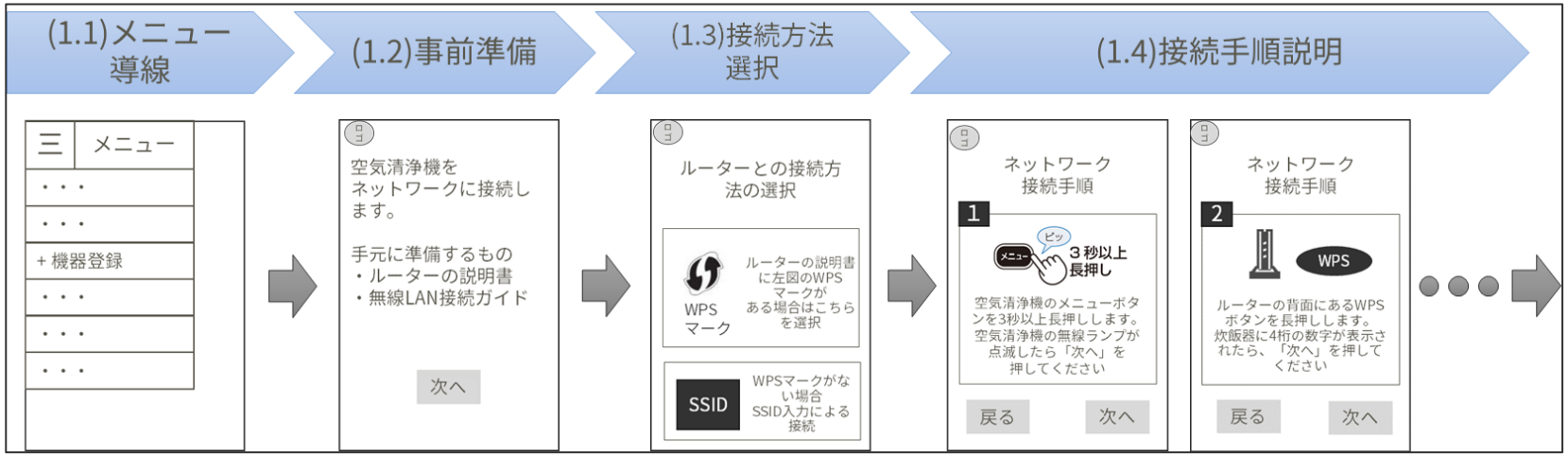
6.データ連携許可/解除パート

・サービス加入済みで連携済みの機器を連携解除するとき
・サービス加入済みで連携解除済みの機器を連携許可するとき

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会 Japan Electronics and Information Technology Industries Association

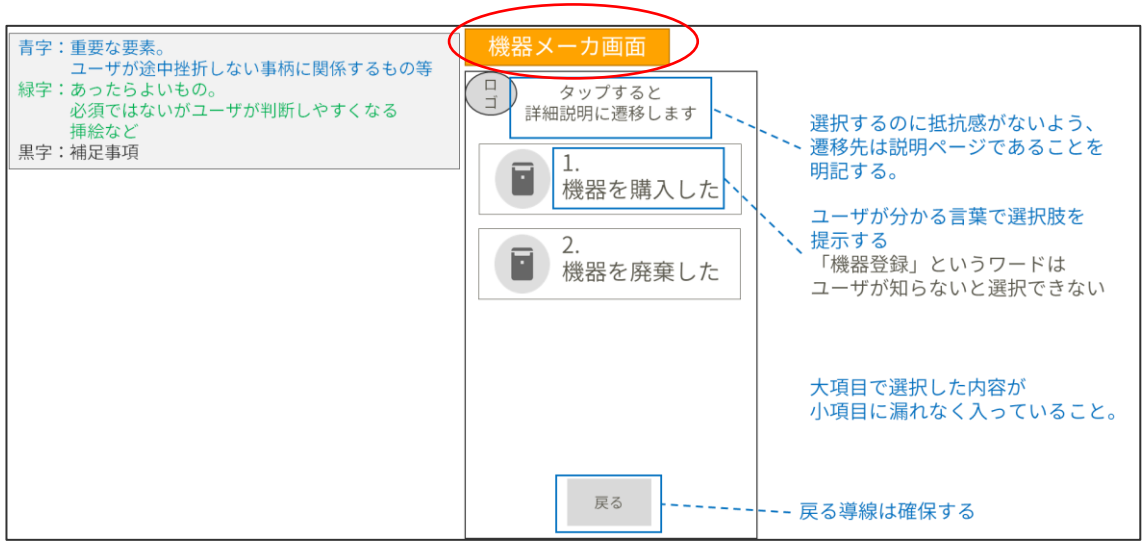
各パートの記載内容について

①標準的な画面フローを記載



②各画面の目標仕様を記載

- 各画面を誰が表示しているのかを表記
- 青字で記載されている事項は
  UIの精度を高めるために有用と思われる
  内容を記載。
- 緑字で記載されている事項は、
  必須ではないがユーザが判断しやすくなると
  思われる内容を記載。

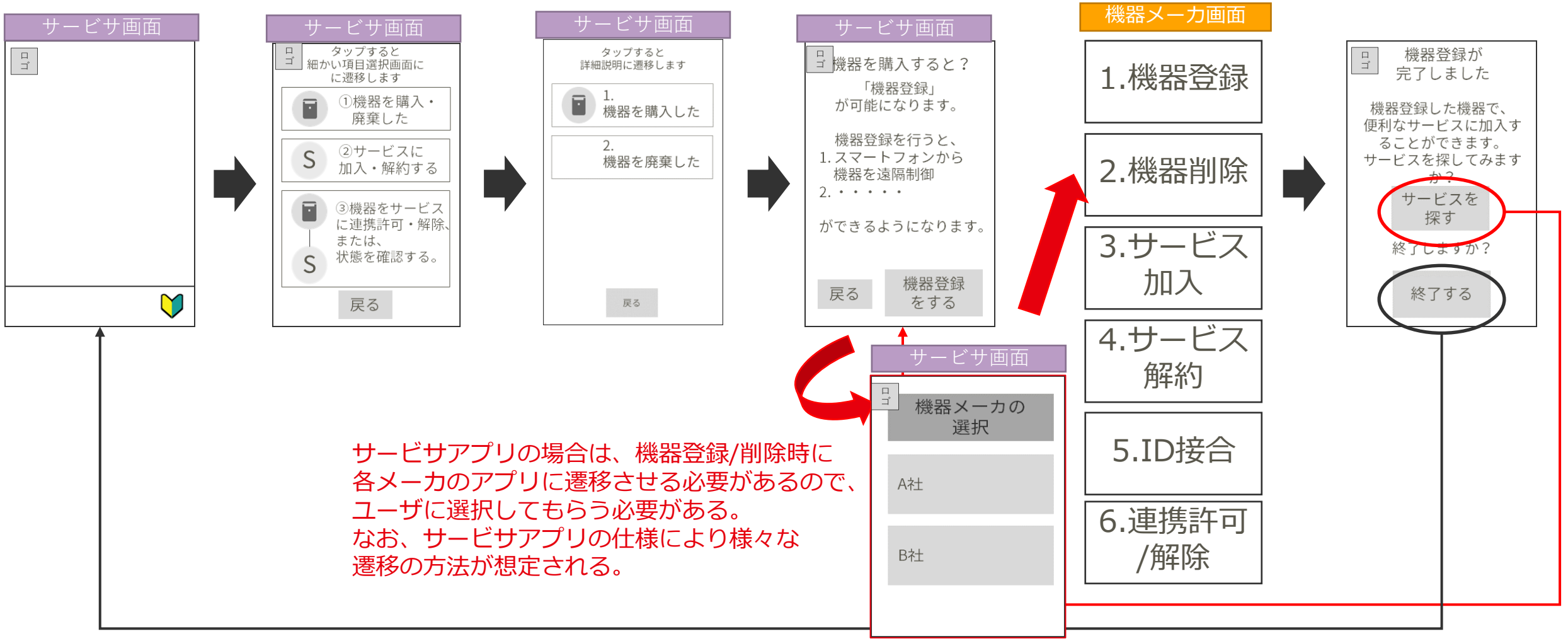


JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

0. 全体パート

0. 全体パートのフロー

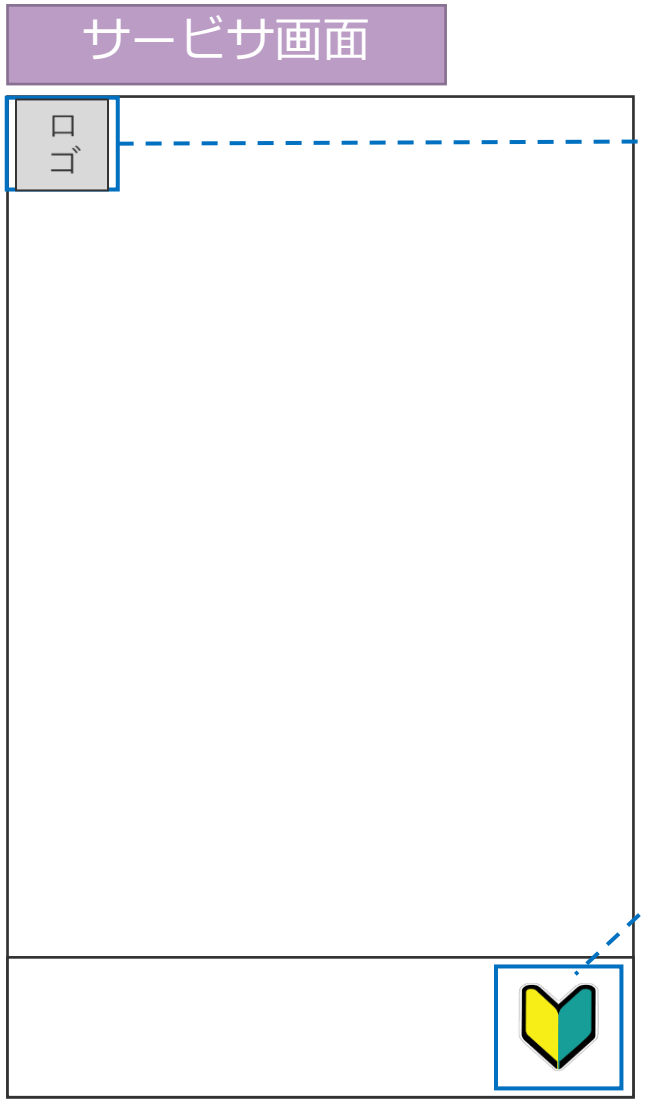
(0.1)導線 → (0.2)誘導 パート(大項目) → (0.3)誘導 パート(小項目) → (0.4)詳細説明 → 各パート実施 → (0.5)実施可能 パートの提示



JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

0.1. 導線画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



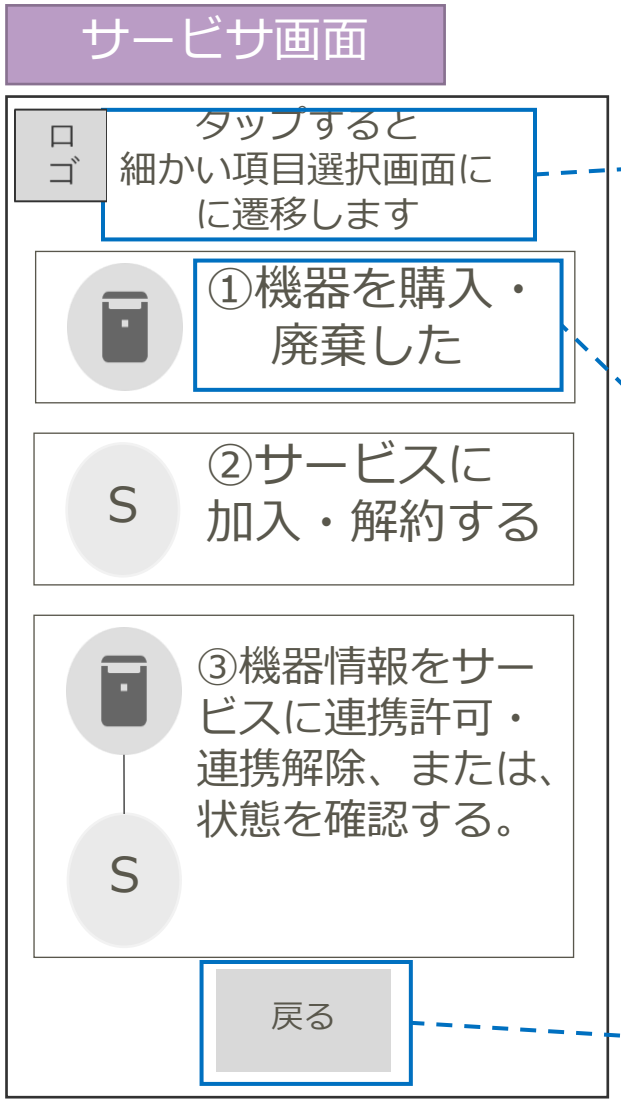
ロゴや登録商標や社名等を入れて
誰が画面を表示しているのか明確にする

ホーム画面や、常時表示のタブに、
アイコン等で、機器登録・サービス登録等の
導線にすぐに誘導できるルートを確保する。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

0.2. 誘導パート(大項目)画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



選択するのに抵抗感がないよう、
遷移先は説明ページであることを明記する。

ユーザが分かる言葉で選択肢を
提示する
「機器登録」というワードは
ユーザが知らないと選択できない

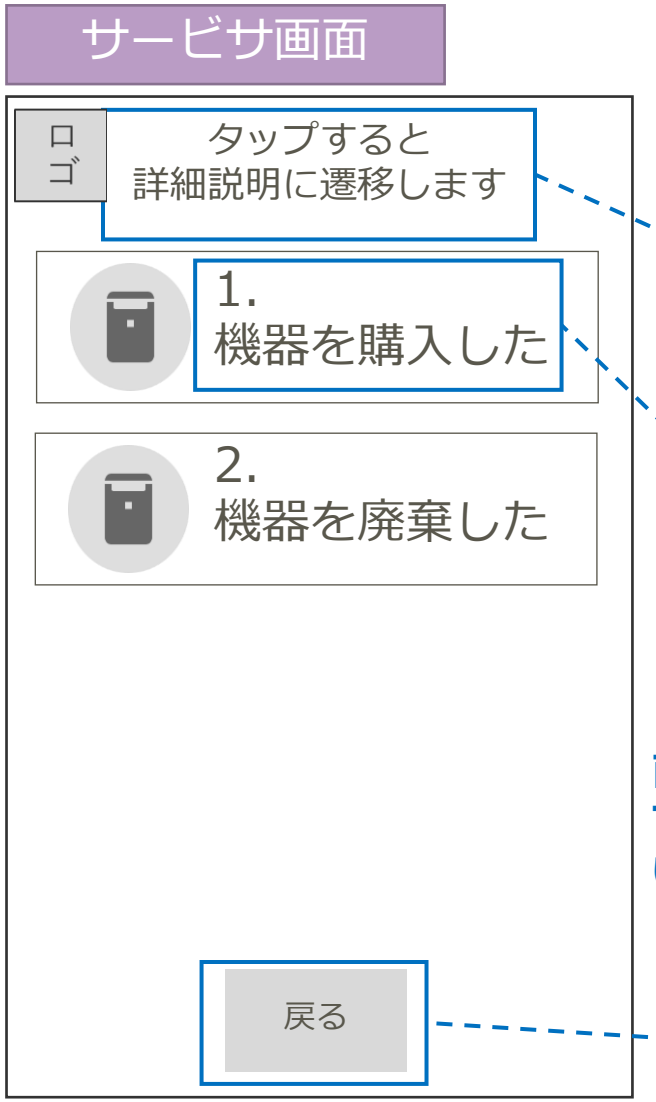
戻る導線は確保する

ボタン(戻る、進む、同意、メニュー、等)
に関しても「色」「形状」の統一を行う。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

0.3. 誘導パート(小項目)画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



選択するのに抵抗感がないよう、遷移先は説明ページであることを明記する。

ユーザが分かる言葉で選択肢を提示する
「機器登録」というワードは
ユーザが知らないと選択できない

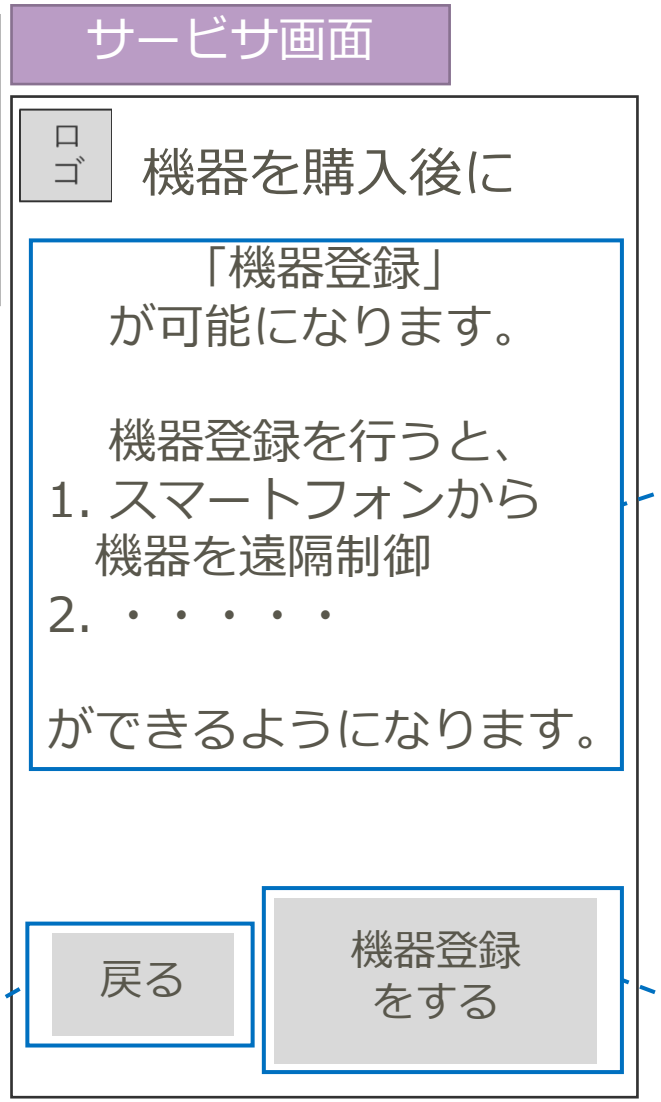
前頁「誘導パート(大項目)画面の標準モデル」で選択した内容が本小項目にも漏れなく入っていること。

戻る導線は確保する

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

0.4. 詳細説明画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



そのシーンで、
「①何をすれば」「②何ができるか」を
明示する。
「①何をすれば」に関しては、初心者ユーザ以外が通常メニューから選択して実行するようなこと。
「機器登録」「機器削除」「データ連携設定」等。

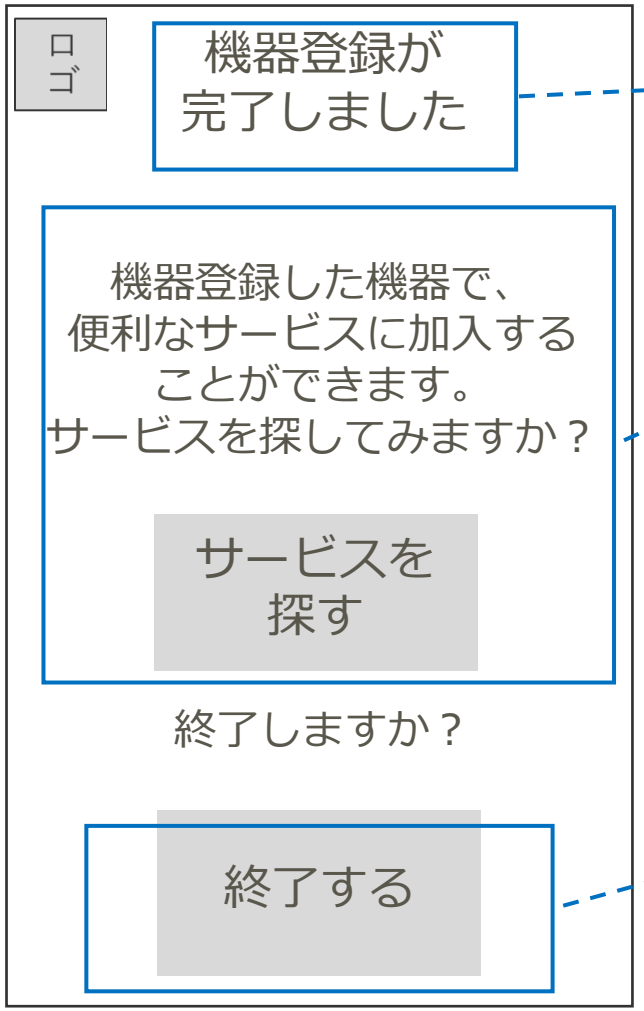
戻る導線は確保する

通常メニューで表示される
文言で実行導線をつなぐ

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

0.5. 実施可能パートの提示画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



何の画面かを最上部に記載し、ユーザに明示する。

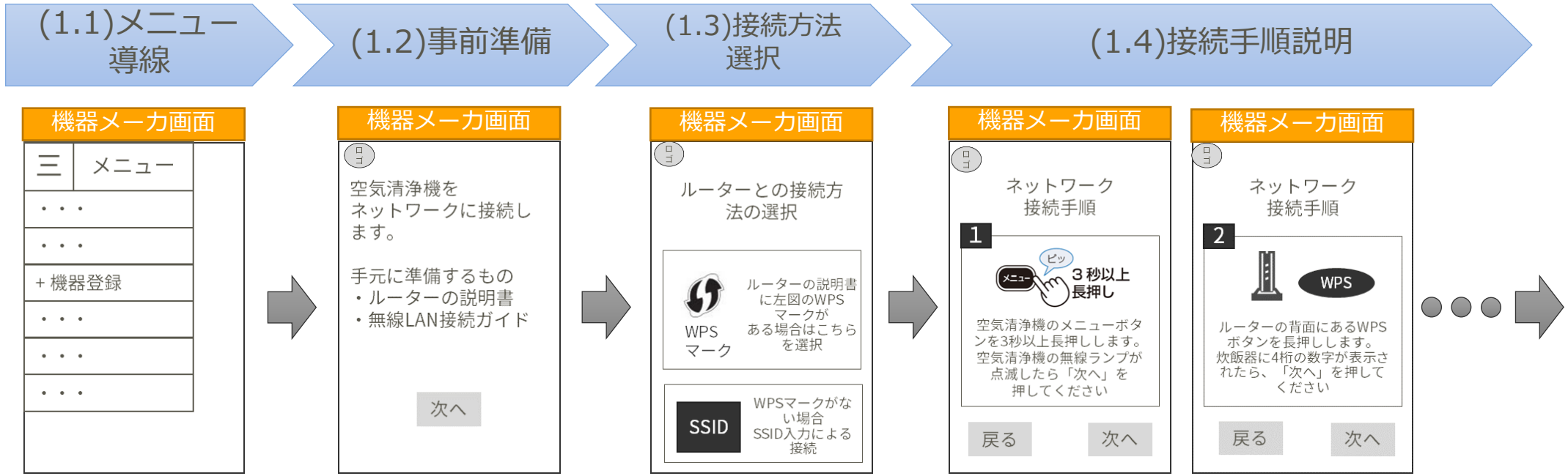
ユーザが次に何をできるかを提示する。(P64の選択肢)
この例ではサービスに未加入なので、サービス加入へ誘導。

次への導線を提示する。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

1.機器登録パート
(機器接続及び機器登録)

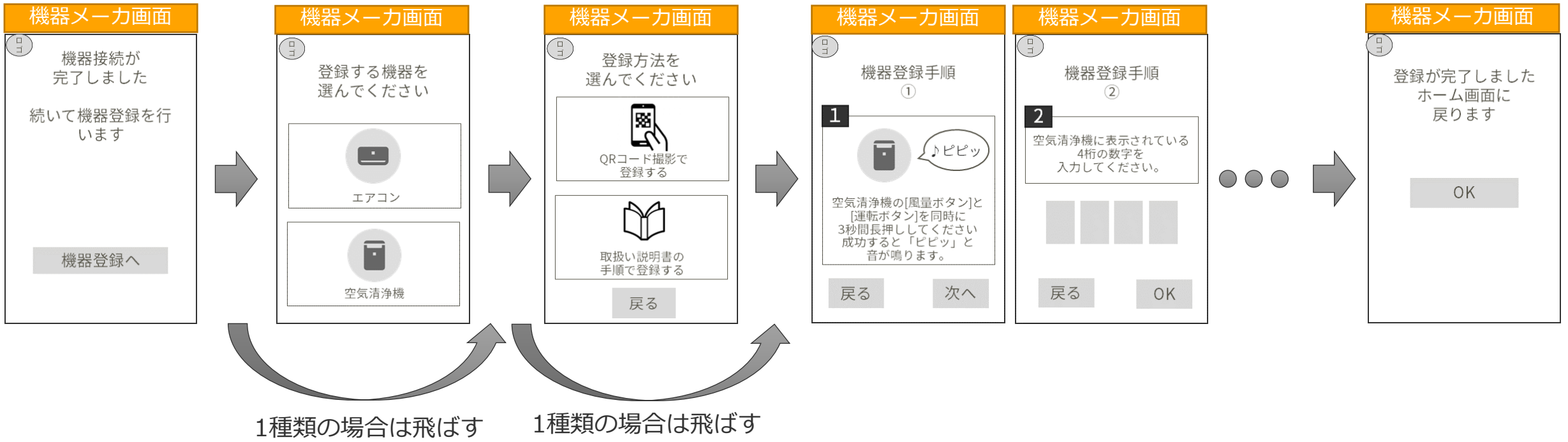
1. 機器登録フロー Part ①



JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

1. 機器登録フロー Part ②

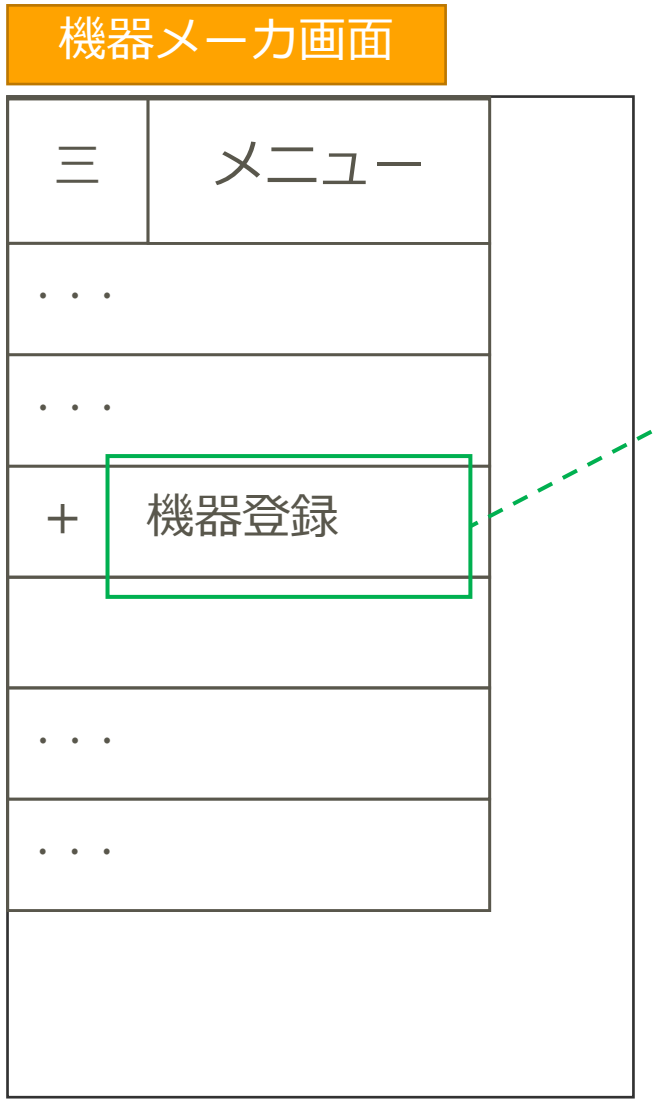
(1.5)機器接続完了 → (1.6)登録機種選択 → (1.7)登録方法選択 → (1.8)登録手順説明 → (1.9)登録完了



JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

1.1. 機器接続への導線画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項

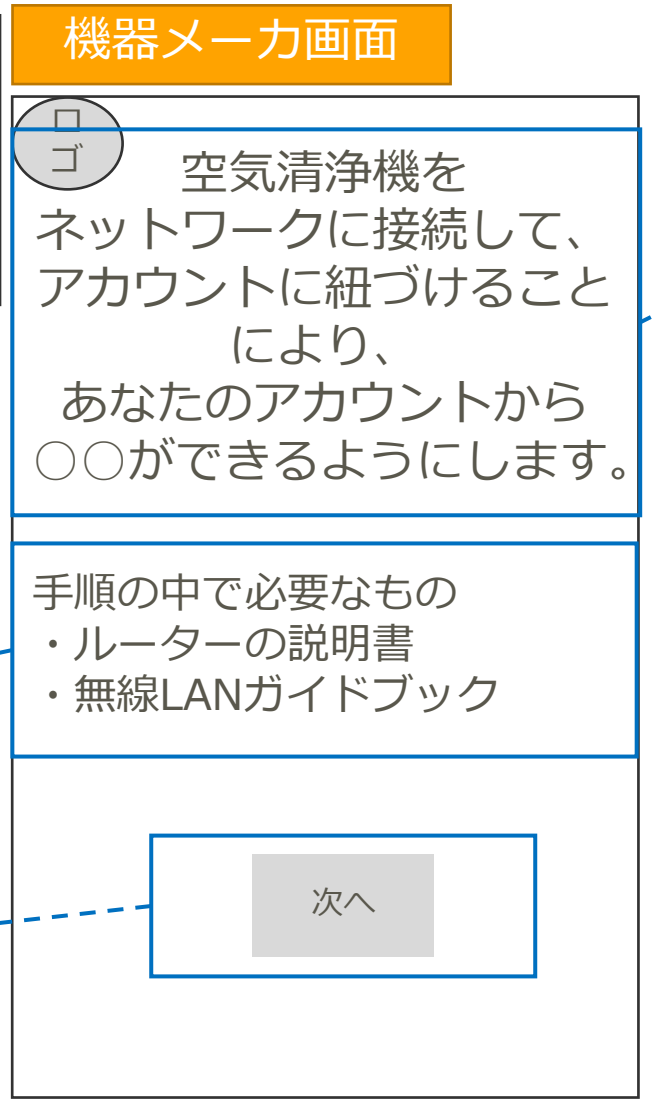


機器接続の入り口は「機器登録」というワードに統一。
ユーザに共通意識を持ってもらう。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

1.2. 事前準備画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



何の画面かを最上部に記載し、ユーザに明示する。
本例では、
ネットワーク接続のための導入誘導を想定。

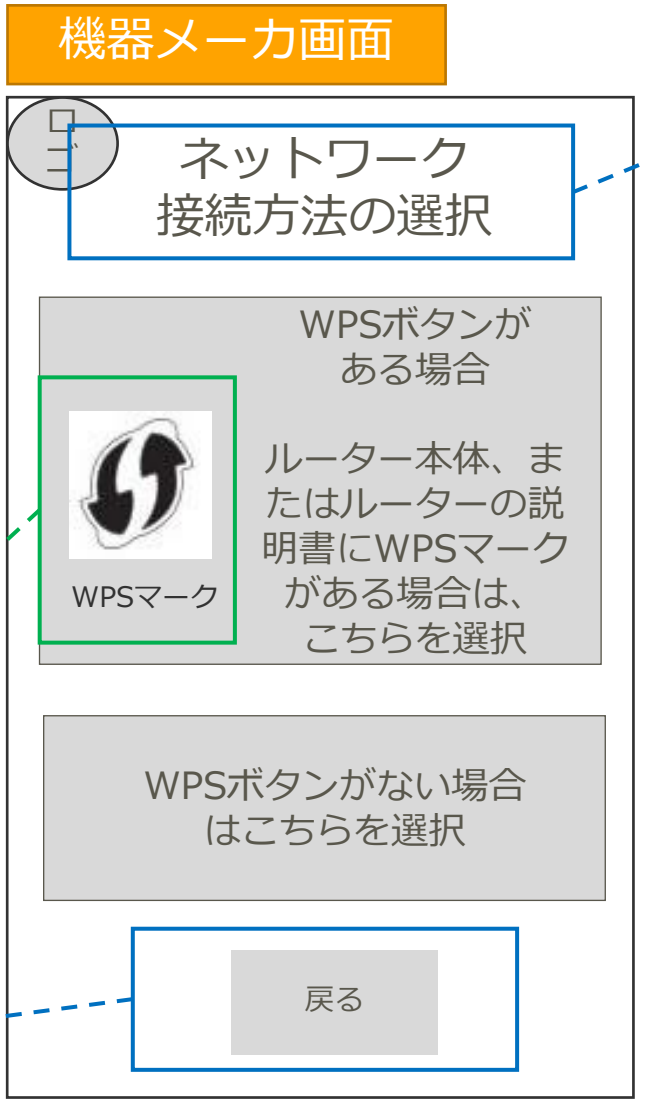
あらかじめ必要物を明示しておく。
機器接続作業中にユーザが脱落しないため。

次画面への遷移ボタンを配置。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

1.3. 接続方法選択画面の標準モデル

青字：重要な要素。
ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
必須ではないがユーザが判断しやすくなる挿絵など
黒字：補足事項



何の画面かを最上部に記載し、ユーザに明示する。

機器に表示されているマークなどを表現するときは、挿絵を挿入して、わかりやすく表現する。
ユーザが短時間で選択肢を判断できるようにし、脱落を防ぐ。

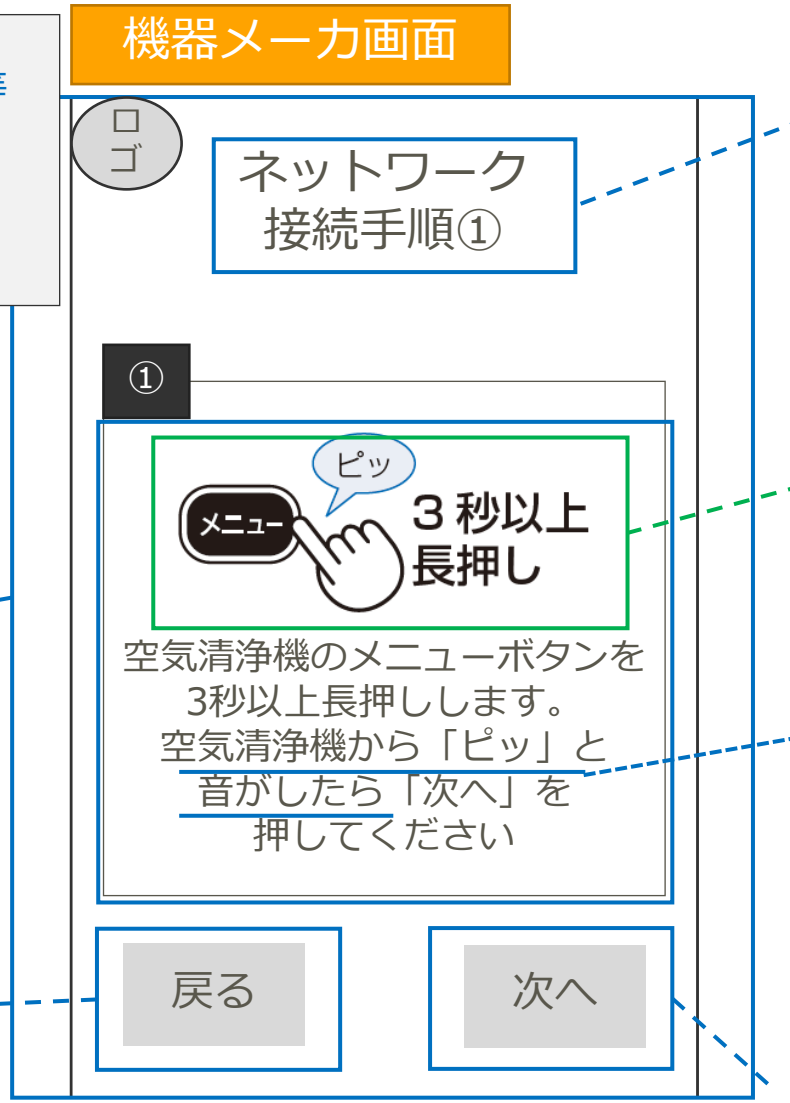
選択肢がある場合は、必ずどれかに当てはまるように選択肢を用意する。
ユーザが混乱するのを防ぐ為。

前画面に戻る導線を確保する。
最初のページからしかやり直しができないことを防いで、ユーザの脱落を防ぐ

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会 Japan Electronics and Information Technology Industries Association

1.4. 接続手順説明画面の標準モデル　その１

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



何の画面かを最上部に記載し、ユーザに明示する。

必要に応じて、説明図を用いて手順を説明する

次の手順へ進める状態を明示する。

1画面内に1手順を表示する。
ユーザに易しい作業という印象を与え、脱落させにくくする。

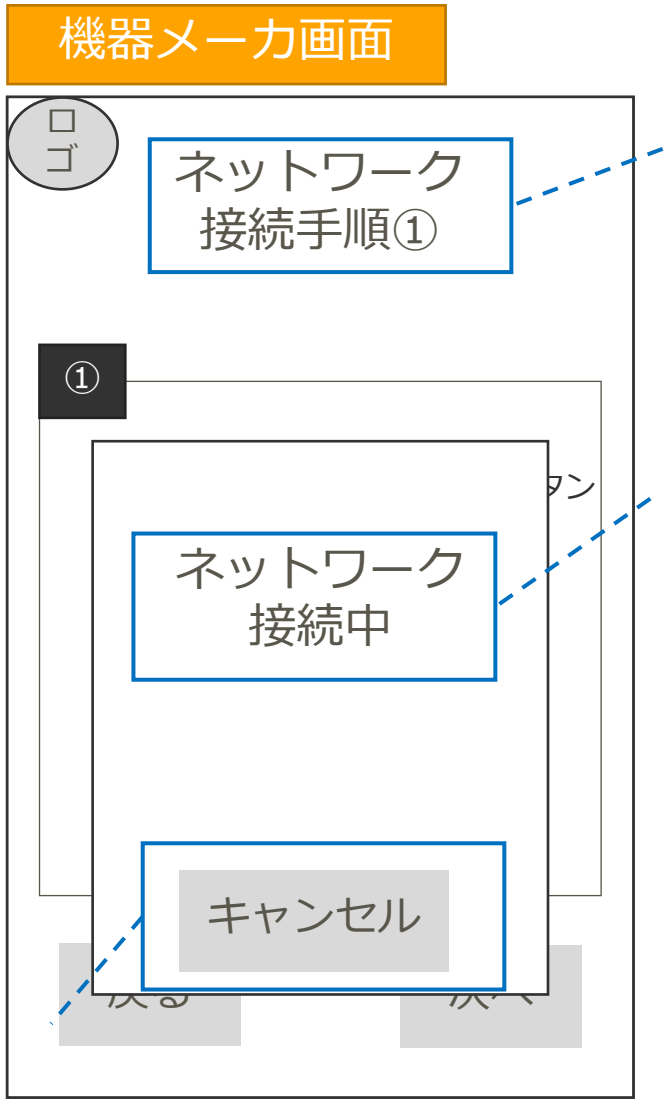
前画面に戻る導線を確保する。
最初のページからしかやり直しができないことを防いで、ユーザの脱落を防ぐ

次画面への遷移ボタンを最下部に配置。
画面は上部から下部を見てもらう流れを統一し、ユーザが次の手順に迷わないようにするため。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

1.4.接続手順説明画面の標準モデル　その２(ポップアップ仕様)

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



何の画面かを最上部に記載し、
ユーザに明示する。

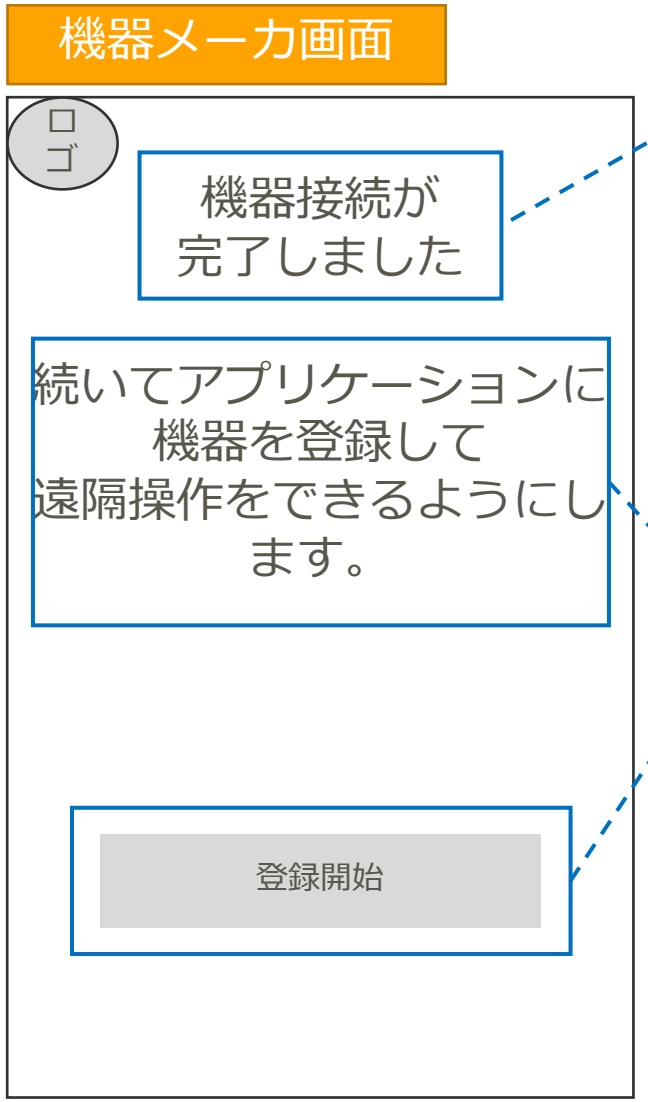
自動で消えるポップアップの文言は、
次の画面でその事象の結果を伝えること
例)「ネットワーク接続中」が
接続完了時に消えるポップアップの場合、
「ネットワーク接続完了」が
次の画面に表示されること。

自動で消えるポップアップについては、
キャンセルボタンを配置すること。
ユーザの確認を意図するポップアップについては、
OKボタンを配置すること。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

1.5. 機器接続完了画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



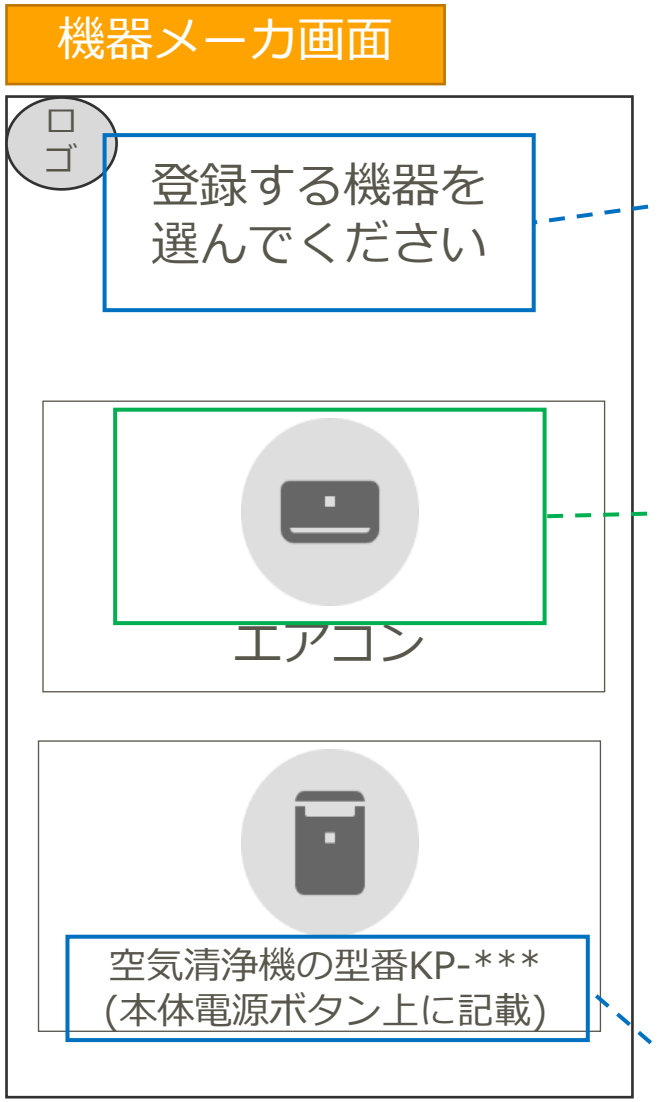
何の画面かを最上部に記載し、ユーザに明示する。

機器登録(次のパート)へ誘導することを明示する。
導線を確保することで、
ユーザが迷わないようにする。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

1.6. 登録機種選択画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



何の画面かを最上部に記載し、ユーザに明示する。

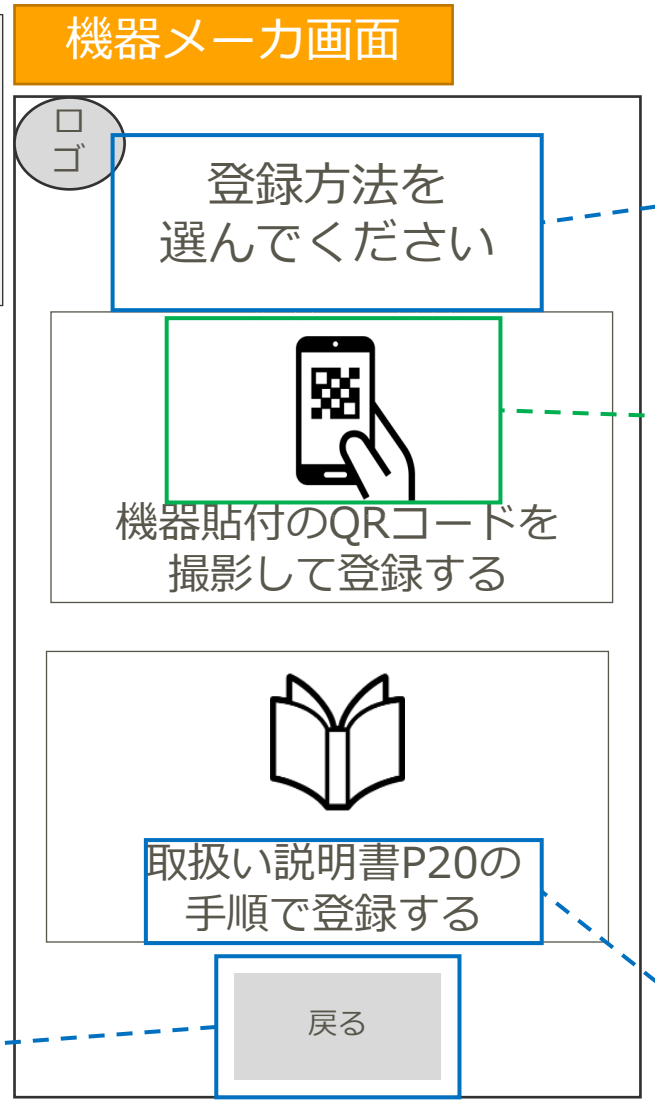
必要に応じて、説明図を用いる

型番等で選択させる場合には、機器の型番表示箇所をする
迷子になってしまう可能性がある。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会 Japan Electronics and Information Technology Industries Association

1.7. 登録方法選択画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



何の画面かを最上部に記載し、ユーザに明示する。

必要に応じて、説明図を用いる

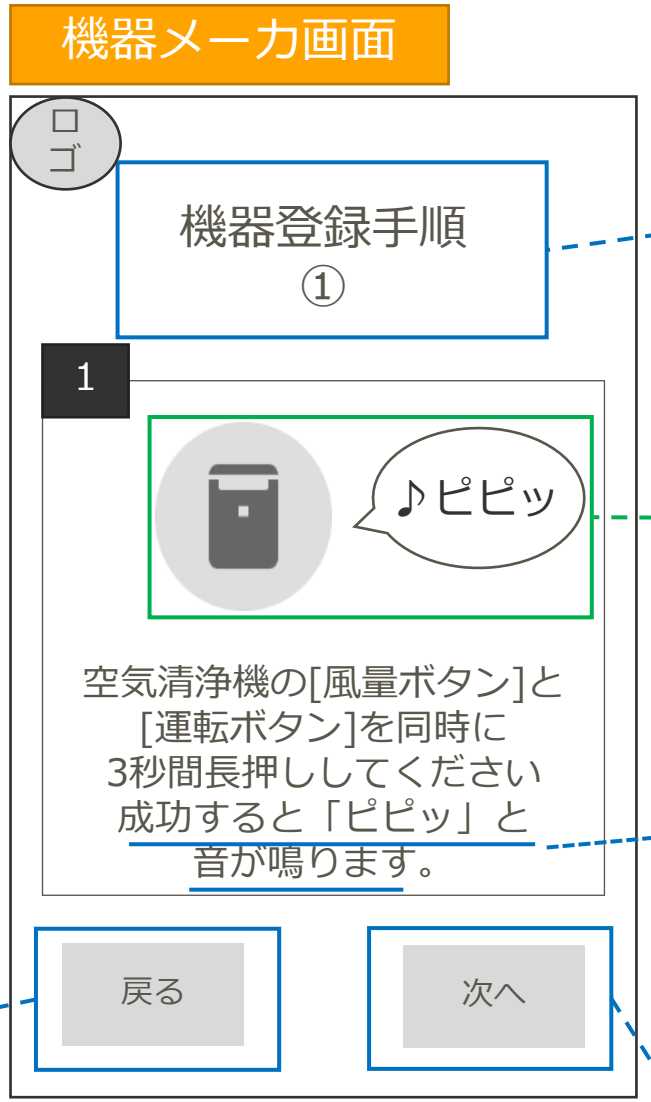
ユーザが迷わない文言を提示する
「機器PINコードで登録する」と登録手順を読めば理解できるかもしれないが、最初の選択画面では理解が及ばない場合がある

前画面に戻る導線を確保する。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

1.8. 登録手順説明画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



何の画面かを最上部に記載し、ユーザに明示する。

必要に応じて、説明図を用いる

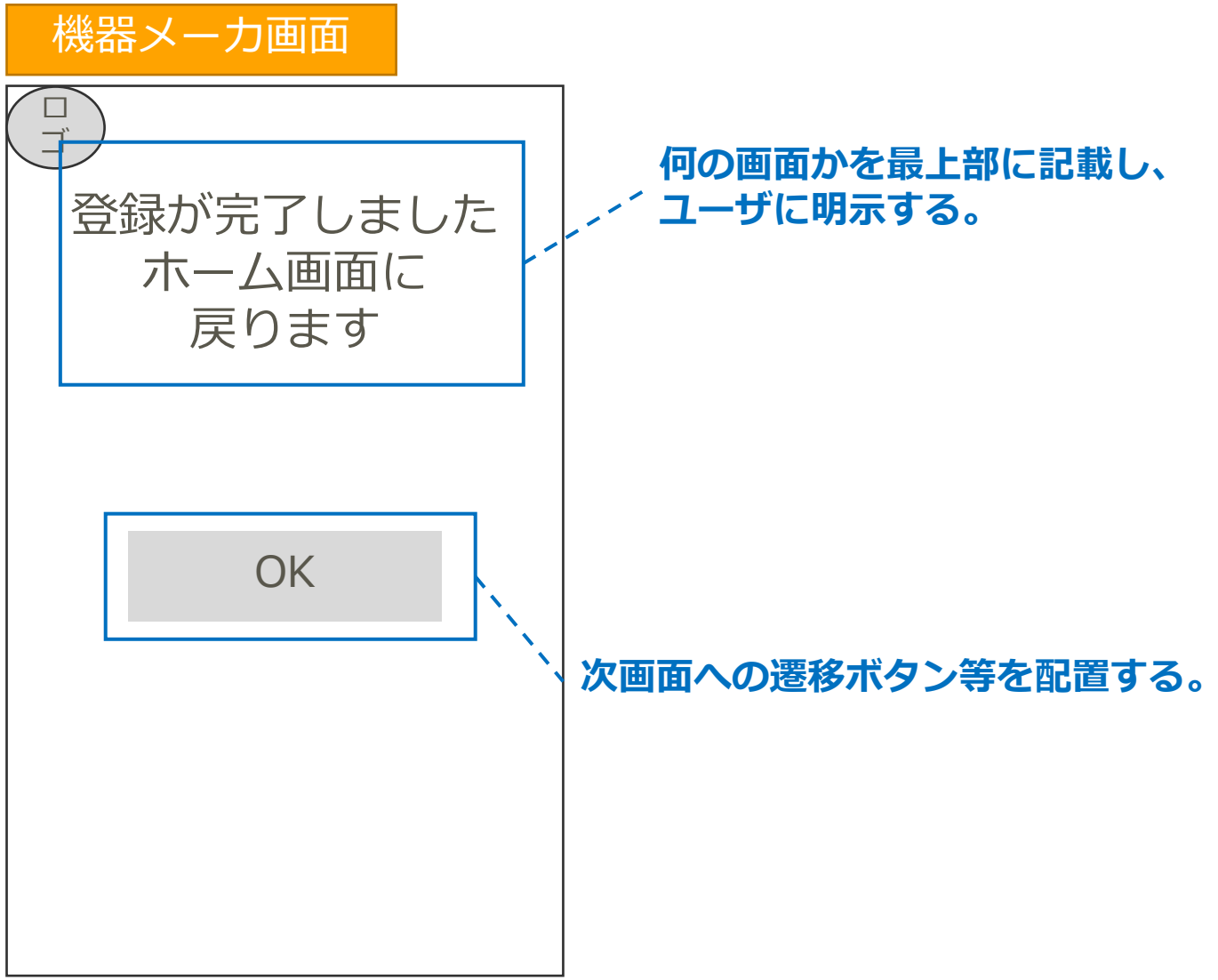
次の手順へ進める状態を明示する。

前画面に戻る導線を確保する。

次画面への遷移ボタンを最下部に配置。

1.9. 登録手順説明画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



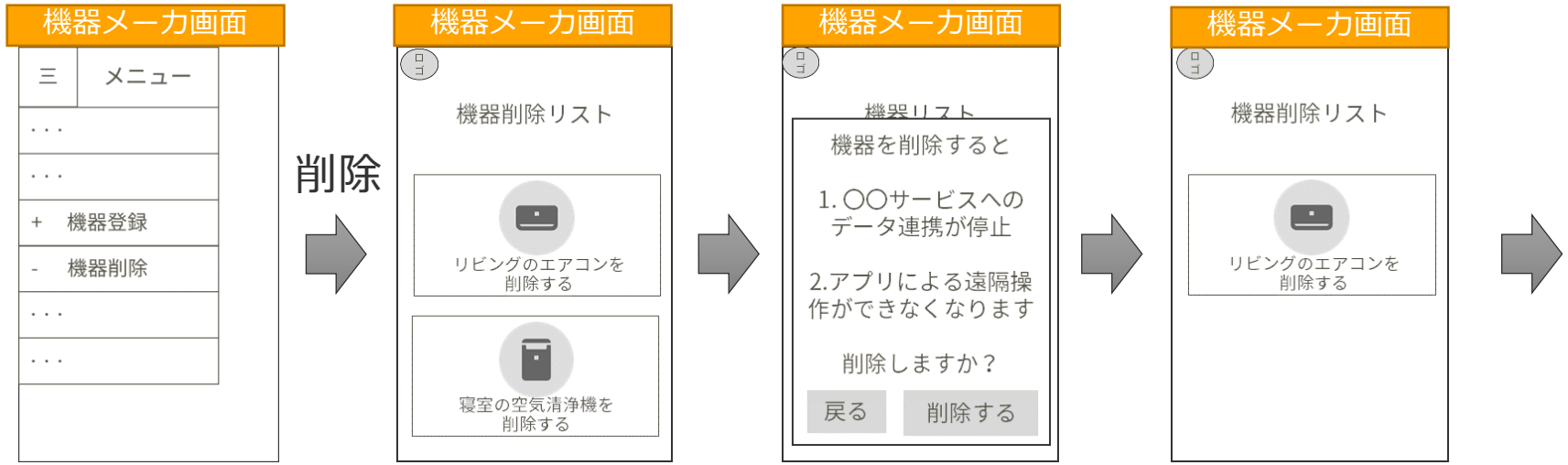
JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

2.機器削除パート

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

2. 機器削除の流れ

(2.1)メニュー導線 → (2.2)削除機器の選択 → (2.3)機器削除の実行 → (2.2)機器管理

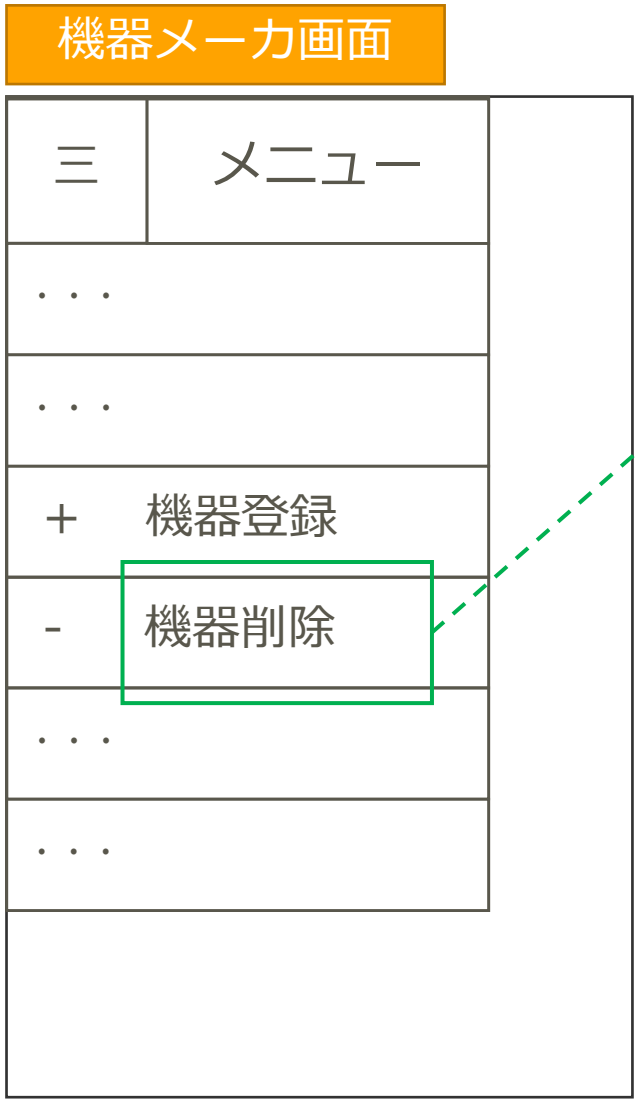


データ連携許可がされている場合は、解除される

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会 Japan Electronics and Information Technology Industries Association

2.1. 機器削除の導線画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



機器削除の入り口は「機器削除」というワードに統一。
ユーザに共通意識を持ってもらう。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

2.2.削除機器選択画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項

何の画面かを最上部に記載し、
ユーザに明示する。

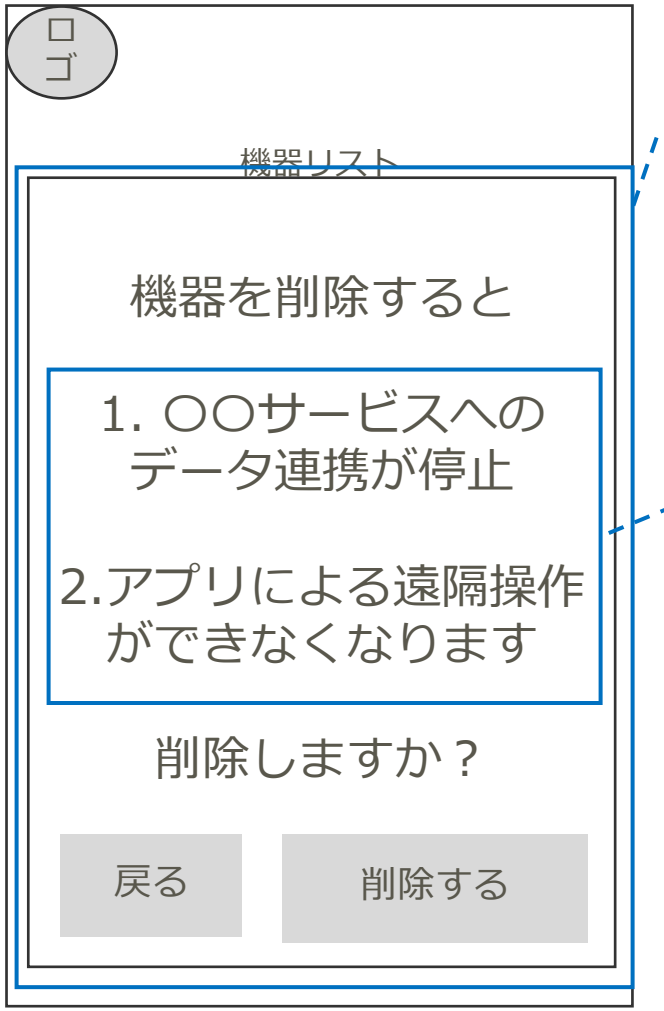
機器を簡単に特定できる表示とする
MACアドレス等、ユーザが
調べなければわからない表示はしない。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

2.3. 削除機器実行画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項

機器メーカ画面



機器削除時は確認をとる
再登録の手間が大きく、
誤って削除した場合は再登録を実行しない可能性がある為。

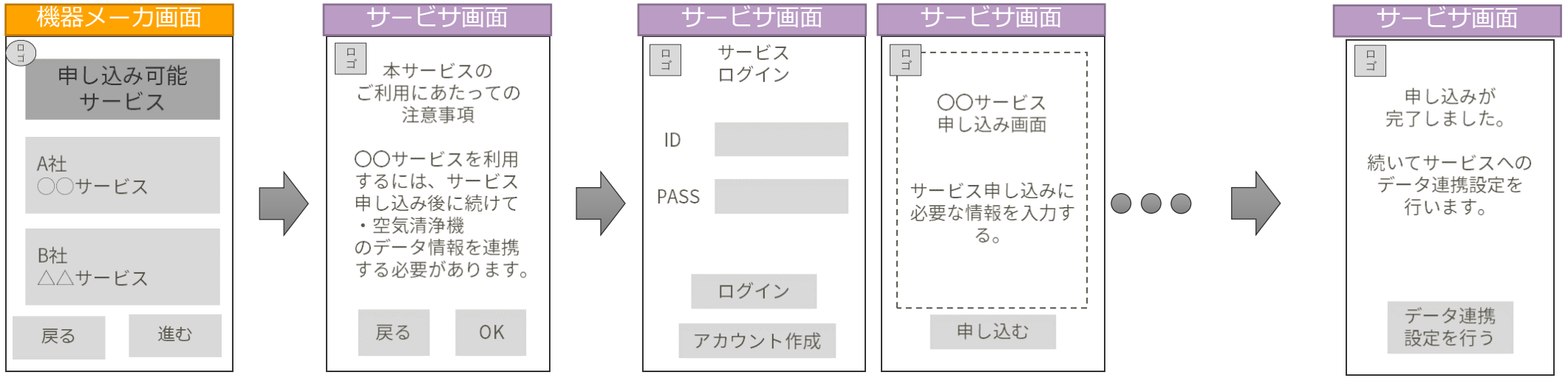
機器削除時の影響を明示する
ユーザが影響を知らなくて削除した場合、再登録を行わない可能性が高い

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

3.サービス加入パート

3. サービス加入のフロー

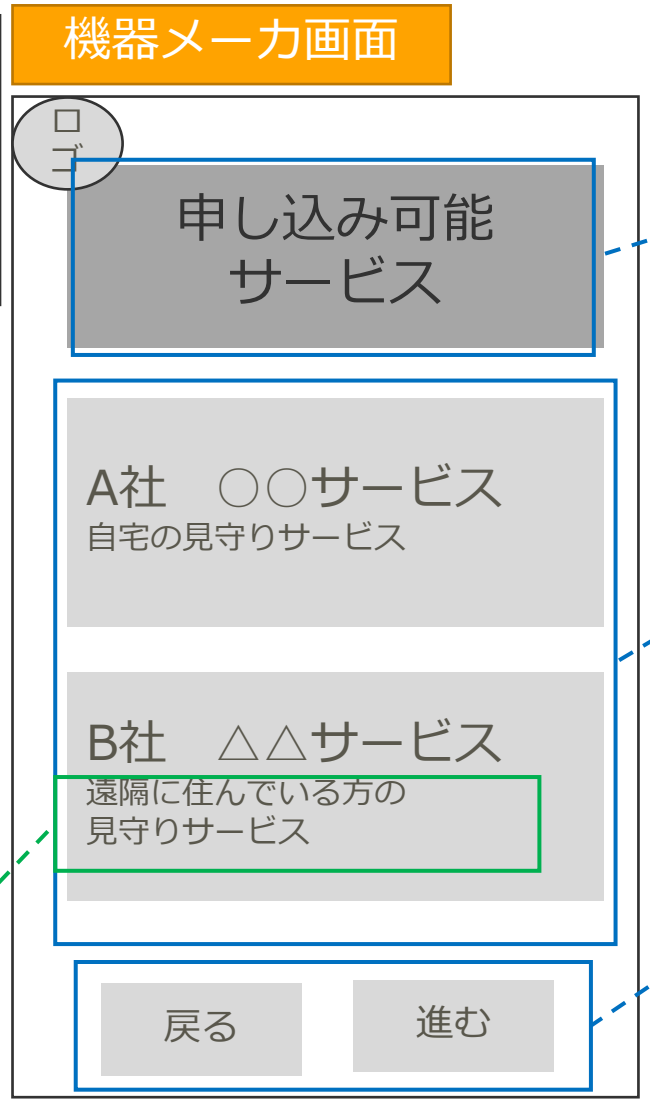
(3.1)サービス加入の導線 → (3.2)サービス概要・要件 → (3.3)サービス契約 → (3.4)サービス契約完了後のID接合導線



JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会 Japan Electronics and Information Technology Industries Association

3.1. サービス加入の導線画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



何の画面かを最上部に記載し、
ユーザに明示する。

登録している機器より、申し込み可能な
サービスリストを持つ。
同リストは、サービス申し込みの導線を
確保しているもの。
必要に応じてサービサ画面に遷移すると明記

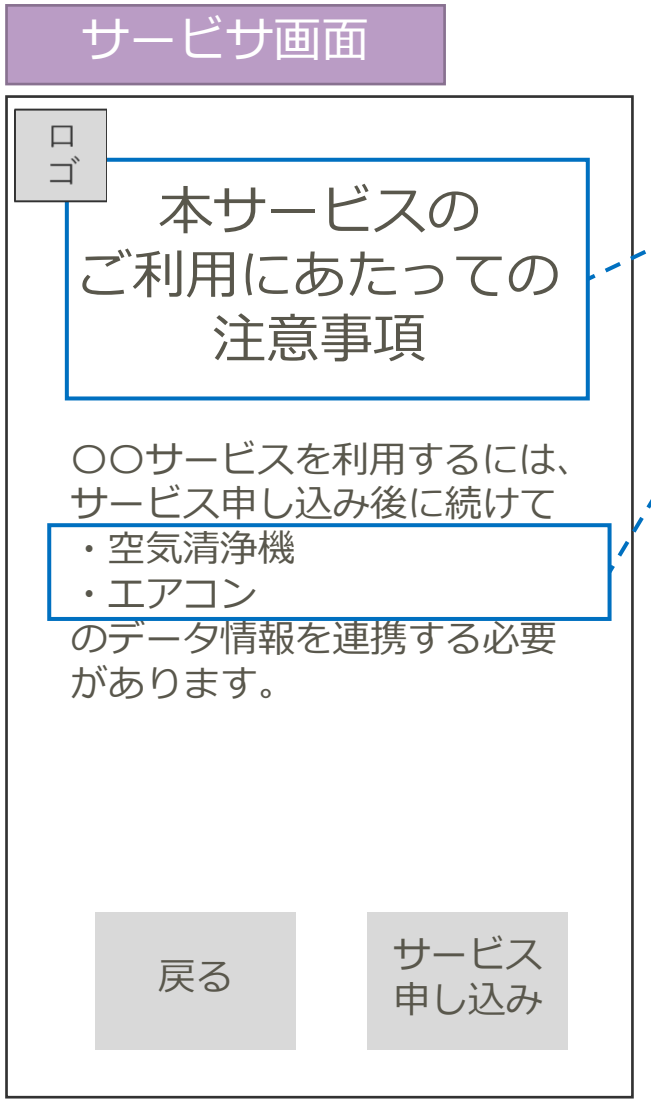
サービス内容の説明を簡単に記載

導線を確保する。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

3.2. サービス概要・要件画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



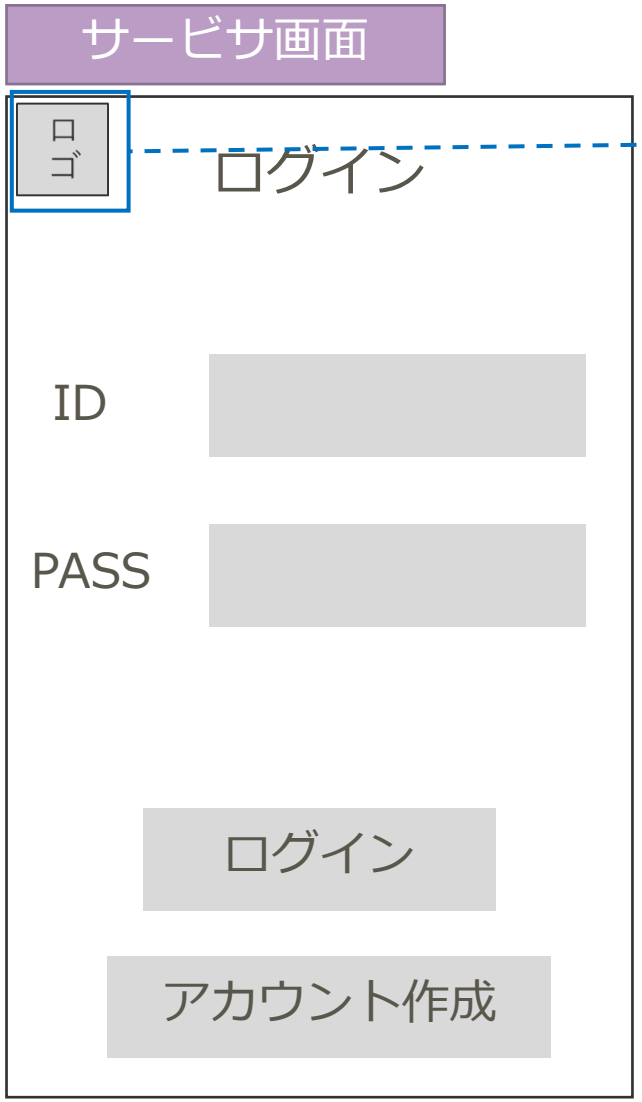
何の画面かを最上部に記載し、ユーザに明示する。

データ連携が必要な機器を列挙すること。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

3.3. サービス契約標準モデル (ログイン画面)

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項

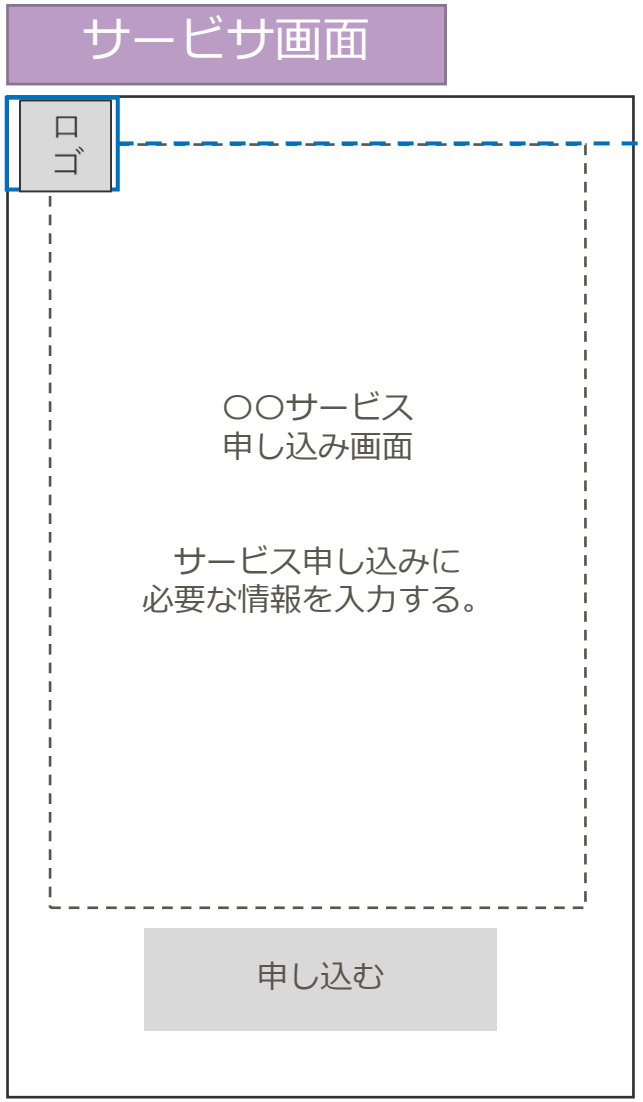


何社のログイン画面なのか、ロゴ、登録商標、社名等を入れて明確にする

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

3.3.　サービス契約標準モデル　(申し込み画面)

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項

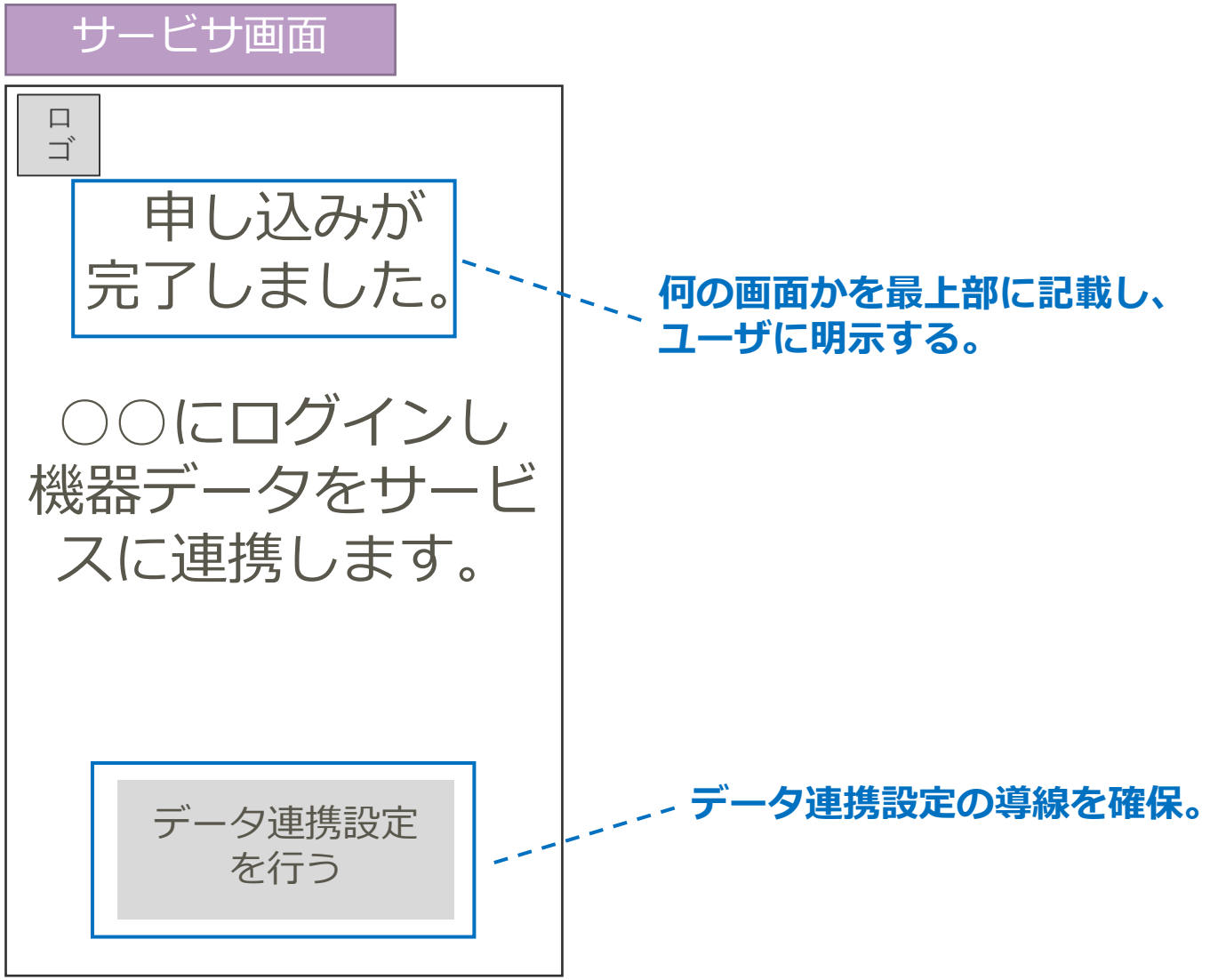


何社のログイン画面なのか、ロゴ、登録商標、社名等を入れて明確にする

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

4.4. サービス契約完了後のID接合導線画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項

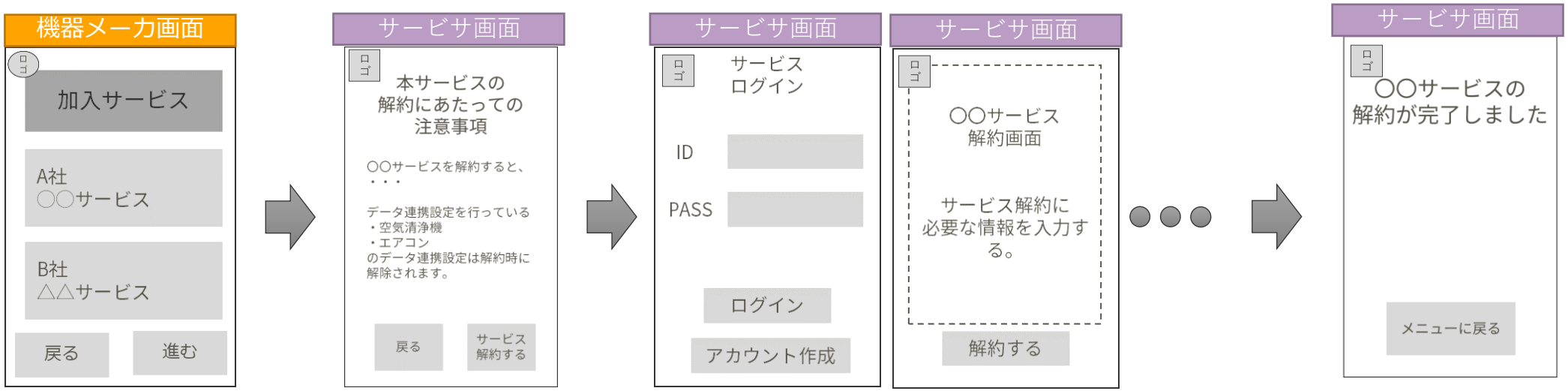


JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

4.サービス解約パート

4. サービス解約のフロー

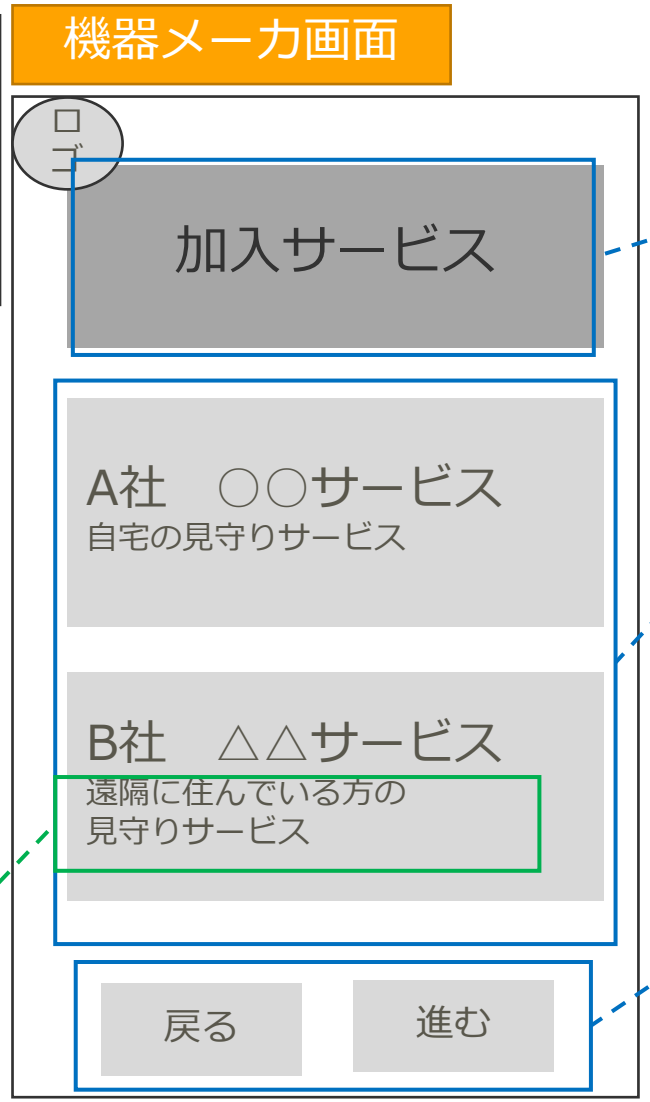
(4.1)サービス解約の導線 → (4.2)サービス解約時の注意 → (4.3)サービス解約 → (4.4)サービス解約完了



JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

4.1. サービス解約の導線画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



何の画面かを最上部に記載し、
ユーザに明示する。

加入済みサービスリストを表示
必要に応じてサービサ画面に遷移すると明記

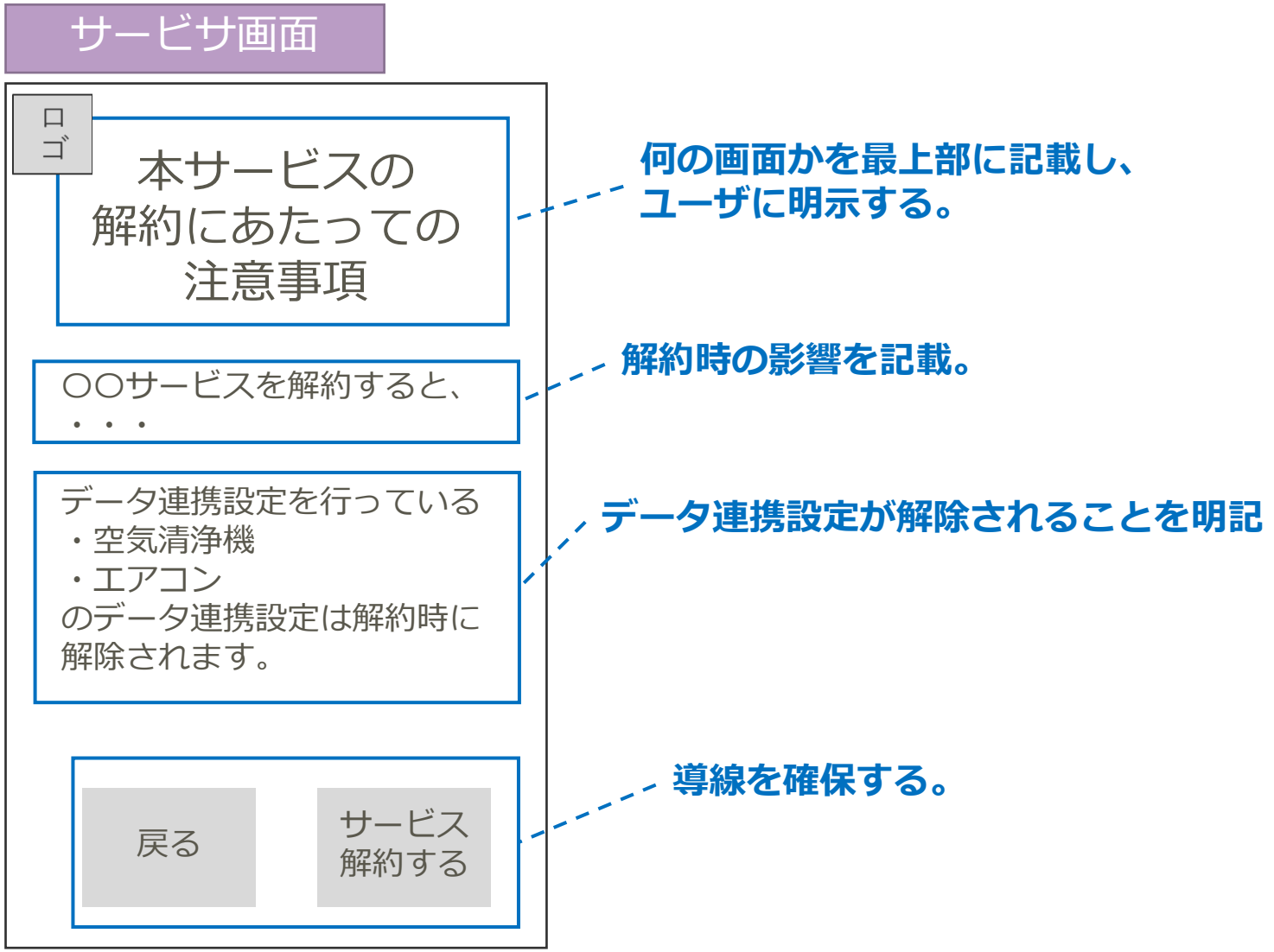
サービス内容の説明を簡単に記載

導線を確保する。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

4.2.サービス解約時の注意画面の標準モデル

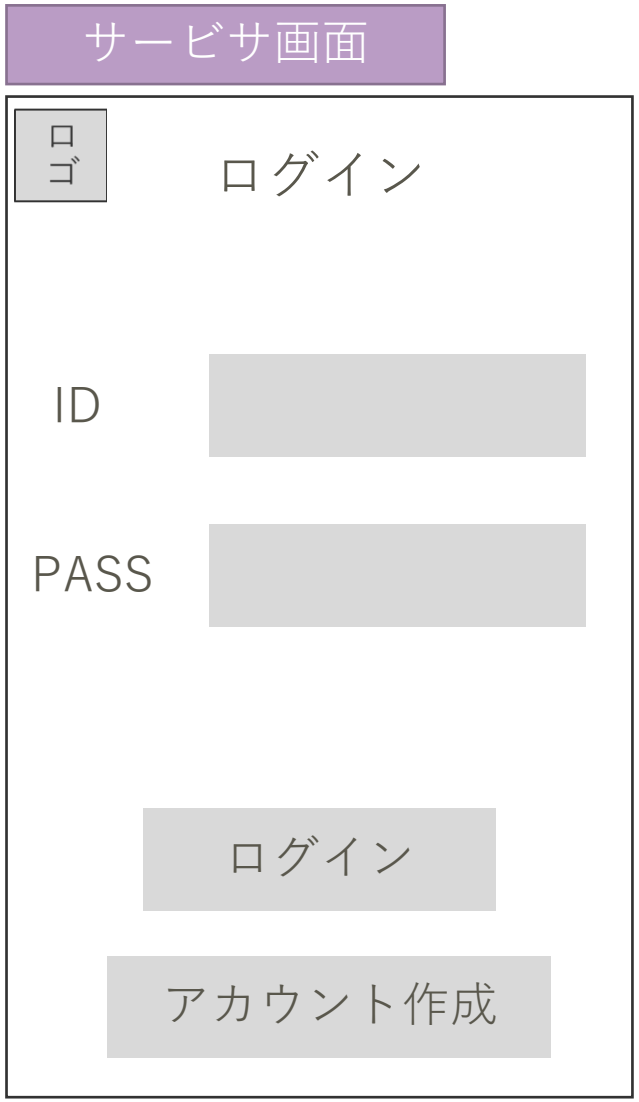
青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

4.3.サービス解約 標準モデル (ログイン画面)

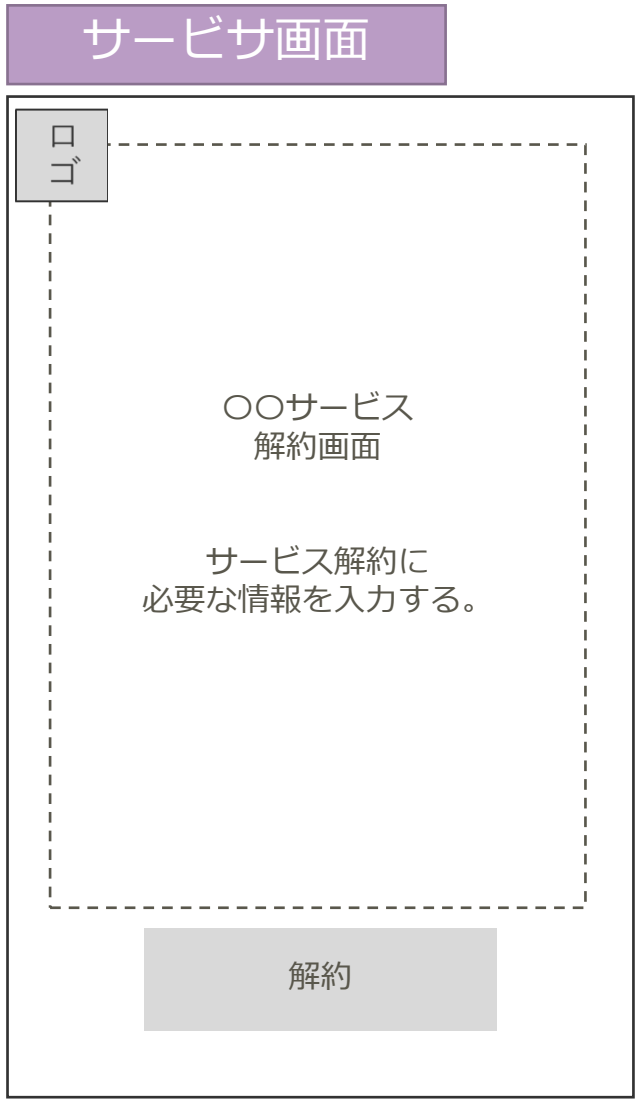
青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

4.3. サービス解約 標準モデル(解約確認画面)

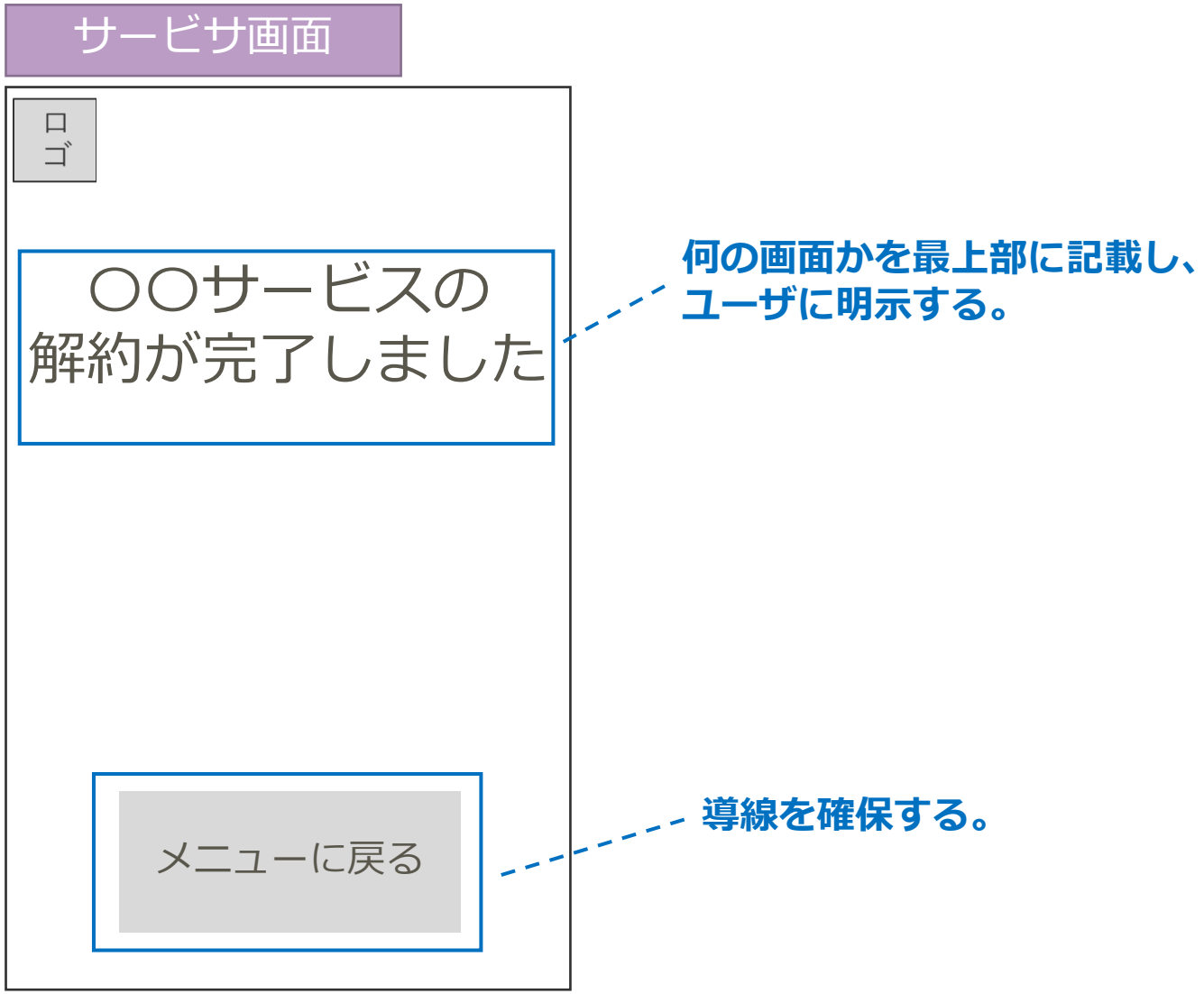
青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

4.4. サービス解約完了画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項

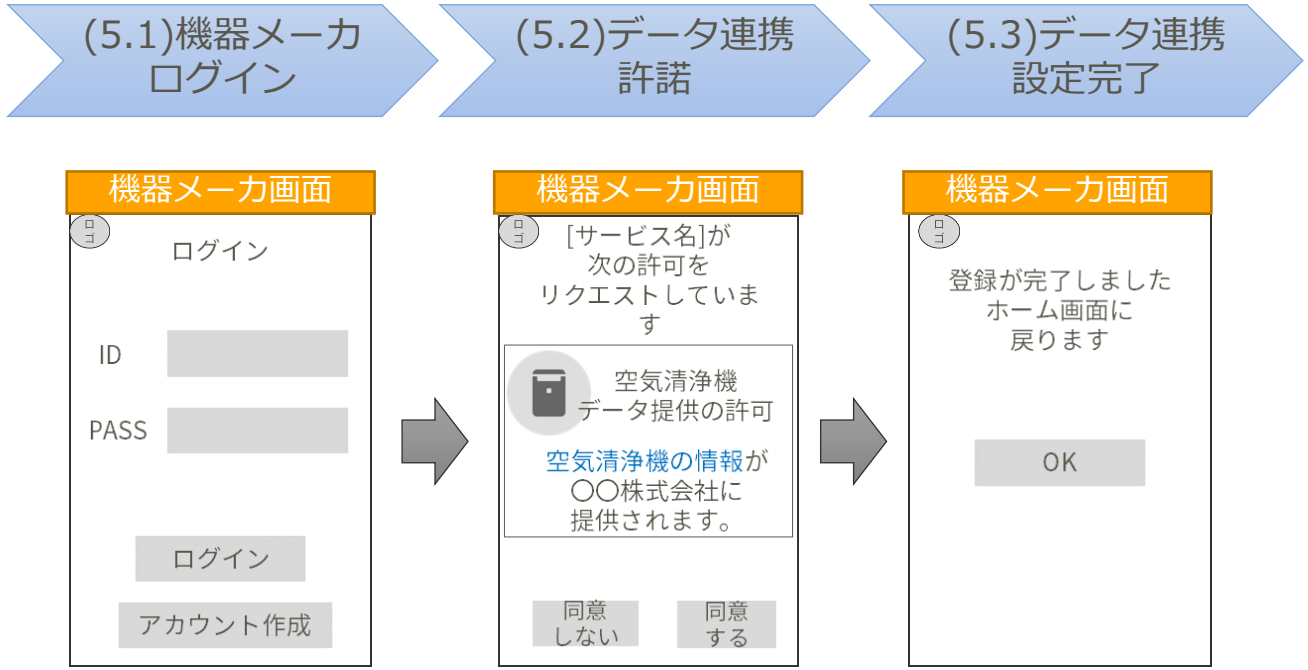


JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

5.ID接合パート

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

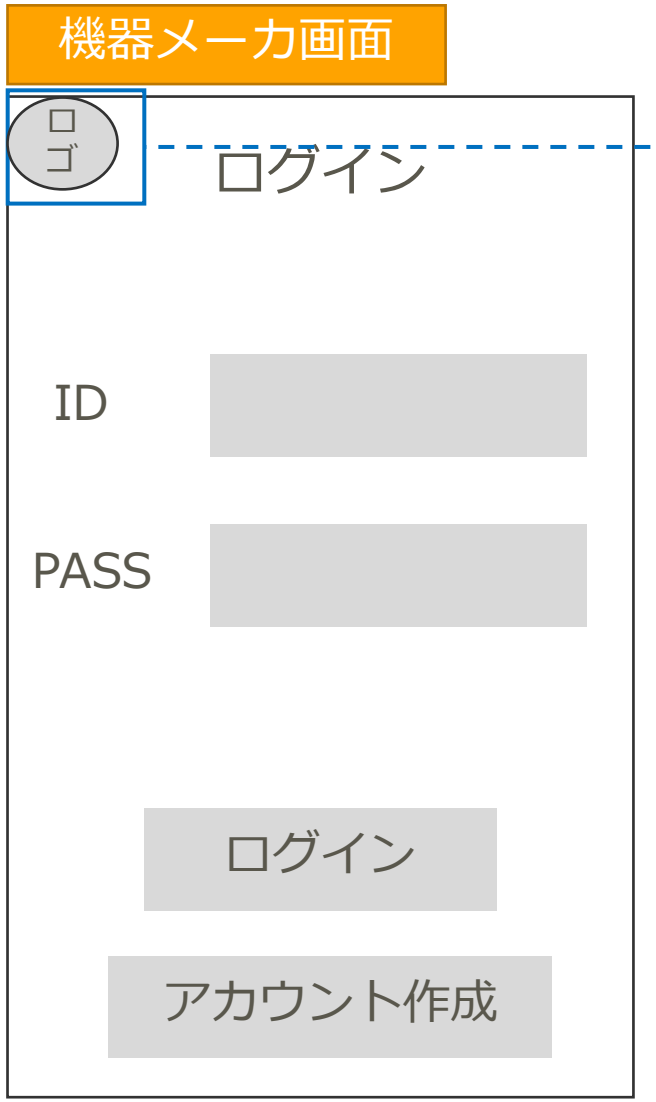
5. ID接合のフロー



JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

5.1. 機器メーカログイン画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項

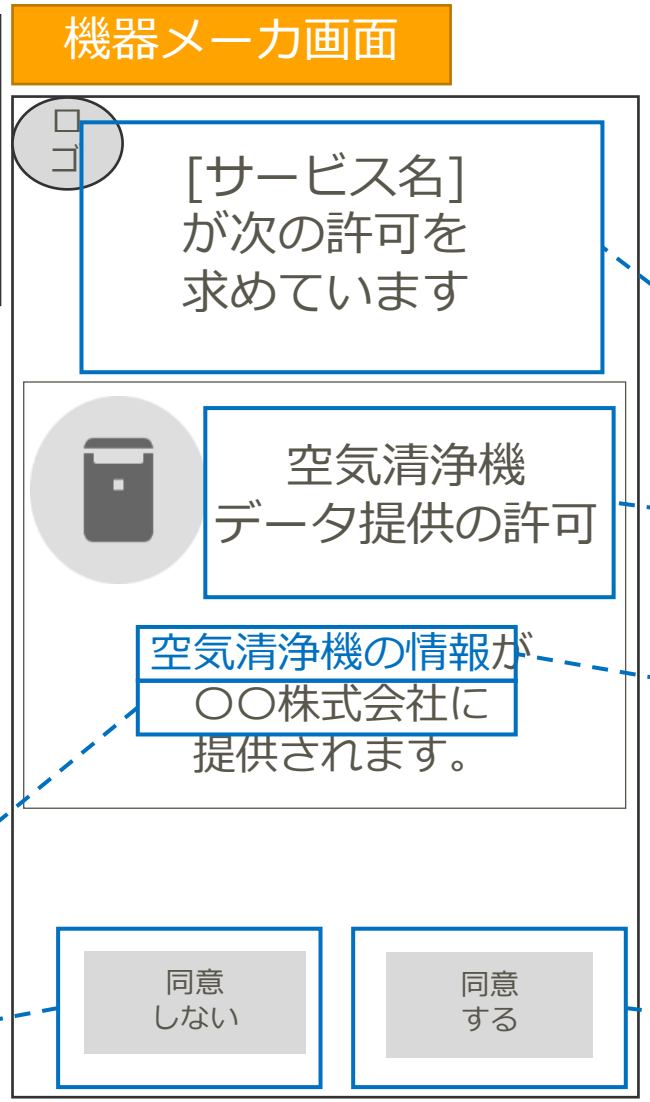


何社のログイン画面なのか、
ロゴ、登録商標、社名等を入れて
明確にする

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

5.2. データ連携許諾画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項



連携するサービス(利用目的)を明確にする

連携するデータを明確にする。

連携するデータを、ユーザが理解できる粒度にし、細かいデータを見たい人は、リンク先で閲覧できるようにする。

データ連携先の企業を明示する

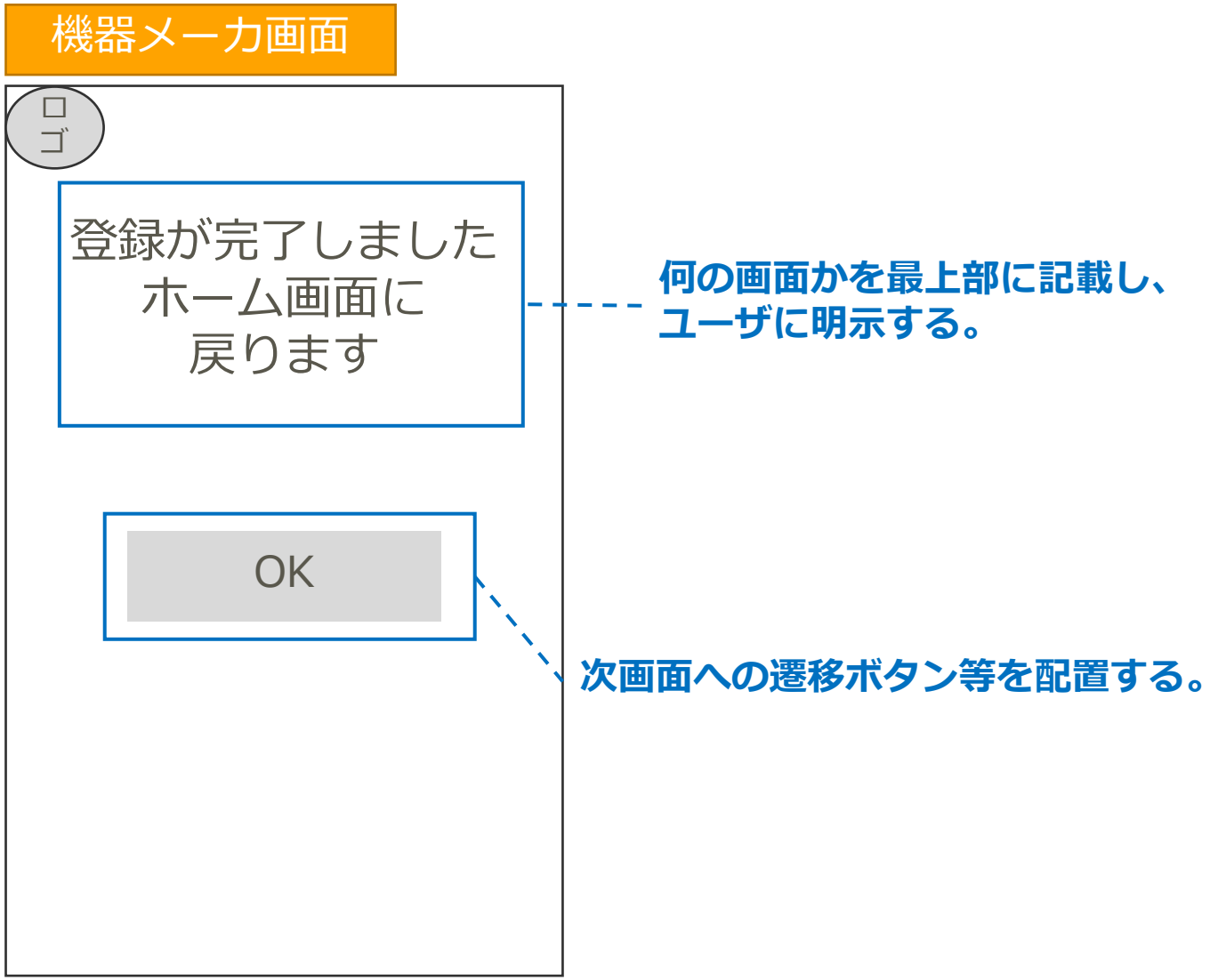
同意ボタンは最下部に表示する。

データ連携に同意しない場合の遷移も確保しておく

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

5.3. データ連携設定完了画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　必須ではないがユーザが判断しやすくなる
　　挿絵など
黒字：補足事項

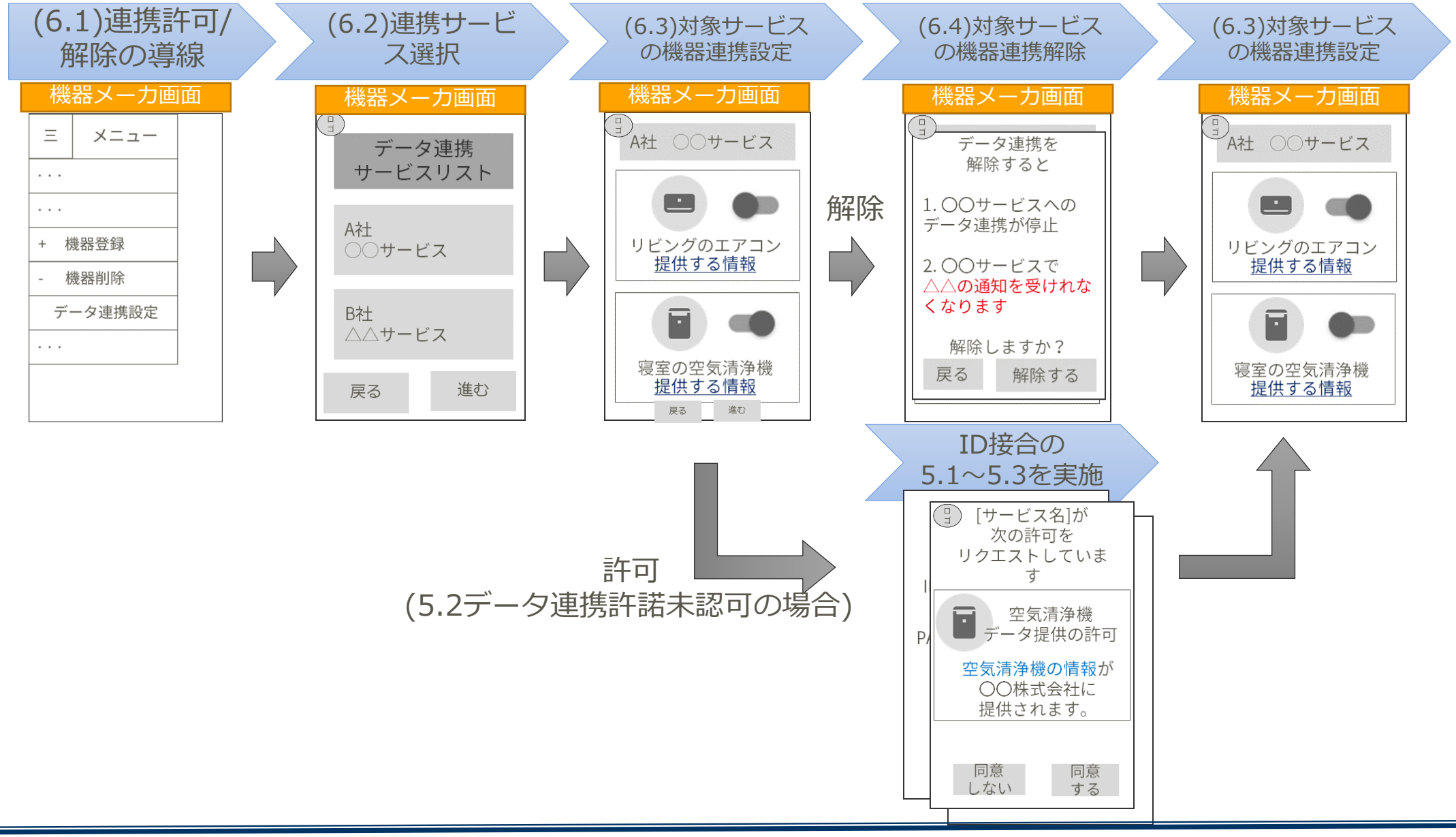


JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

6.データ連携許可・解除のフロー

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

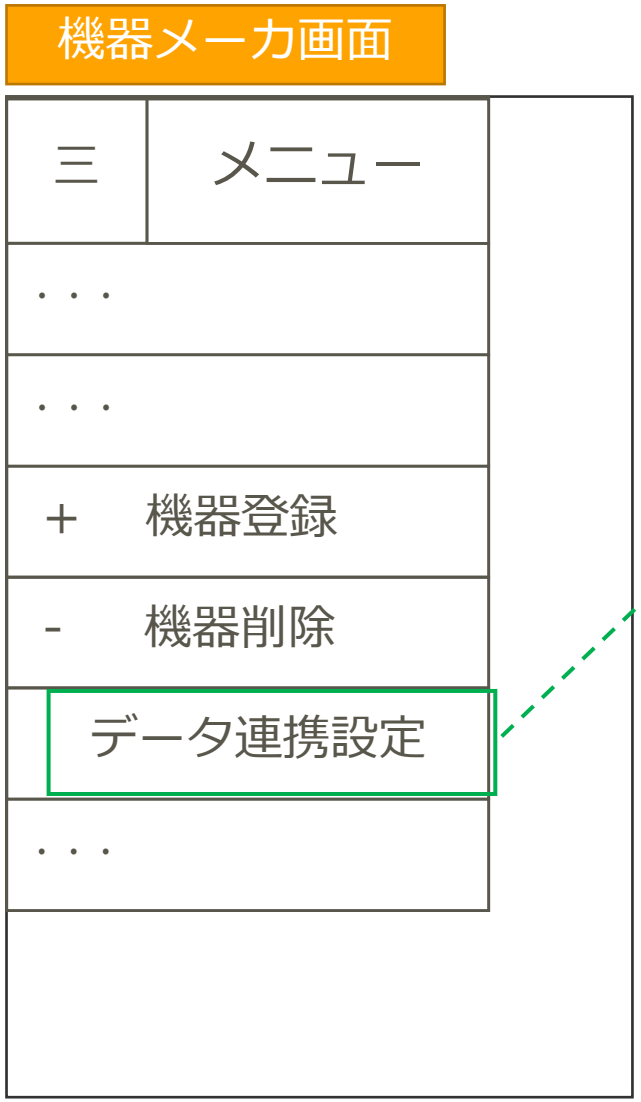
6. データ連携許可/解除のフロー



JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

6.1. 連携許可/解除の導線画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　ユーザの再現性向上に繋がるもの等
黒字：補足事項

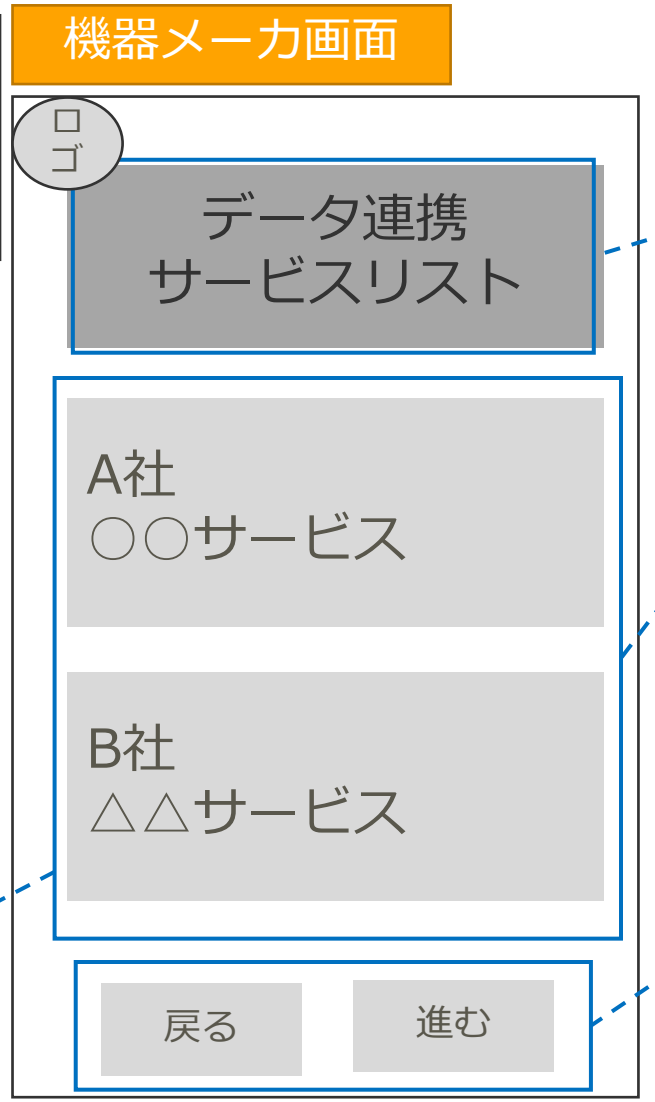


「データ連携設定」の文言で統一する。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

6.2. 連携サービス選択画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　ユーザの再現性向上に繋がるもの等
黒字：補足事項



何の画面かを最上部に記載し、
ユーザに明示する。

データ連携している
サービスリストを持つこと
必要に応じてサービサ画面に遷移すると明記

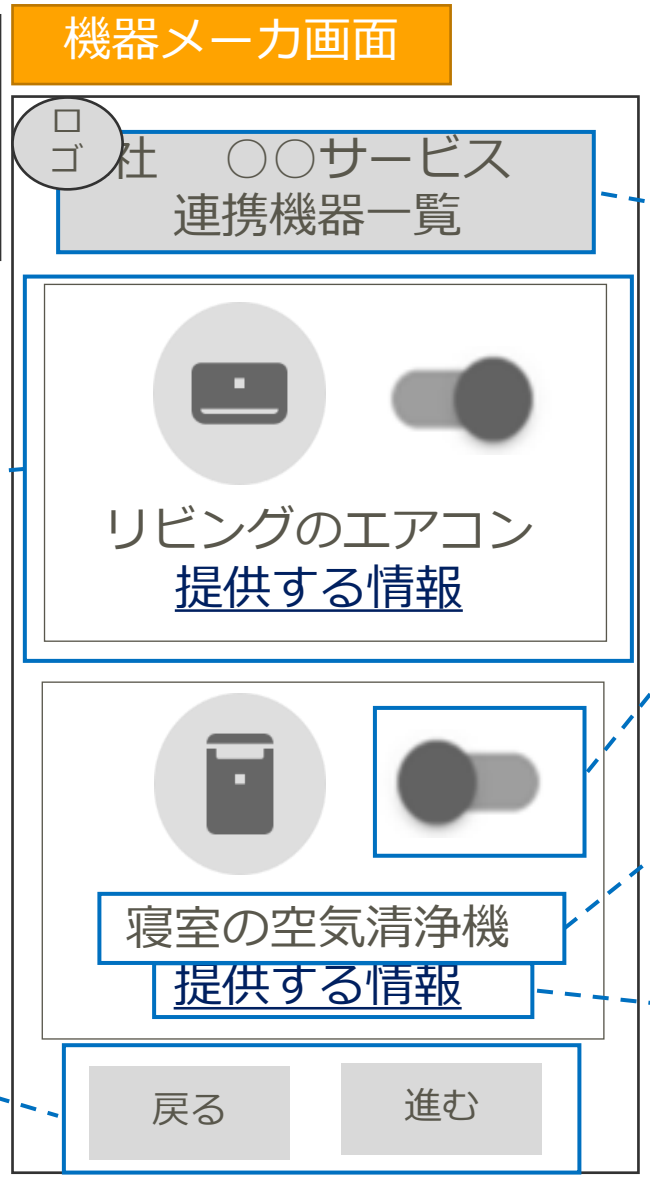
導線を確保する。

サービスの解約通知を受け取った、かつ、
データ連携している機器がないサービスは表示しない。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

6.3. 対象サービスの機器連携設定画面の標準モデル その１

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　ユーザの再現性向上に繋がるもの等
黒字：補足事項



何の画面かを最上部に記載し、ユーザに明示する。

サービス加入後、データ連携できる機器については連携機器一覧に追加する。

現在対象機器がデータ連携中かどうかが分かる表示を持つ。
また、それを変更できる導線を持つ。

機器を簡単に特定できる表示とする。
MACアドレス等、ユーザが
調べなければわからない表示はしない。

細かい連携データ項目を見たい人へ、リンク先で詳細を閲覧できるようにする。

導線を確保する。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

6.3. 対象サービスの機器連携設定画面の標準モデル　その２(全ての機器がOFF時)

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　ユーザの再現性向上に繋がるもの等
黒字：補足事項

機器メーカ画面

連携サービスで全ての機器連携が解除になった場合、その状態の表示を残す
サービスの解約を行っていないことと、サービス連携設定をしてサービスを再開しやすくするため。

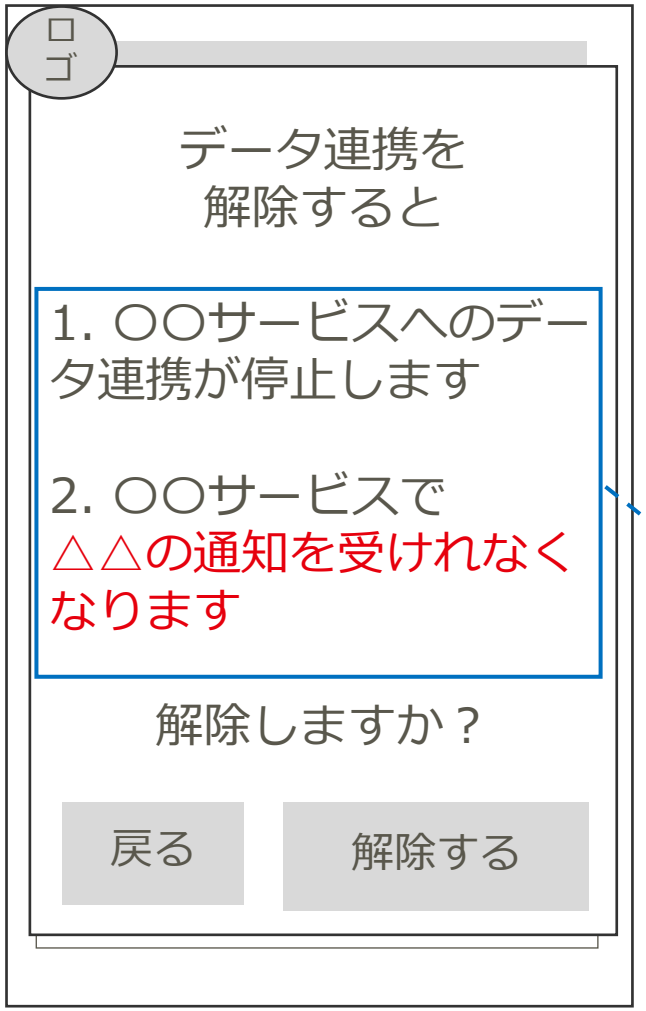
導線を確保する。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会 Japan Electronics and Information Technology Industries Association

6.4. 対象サービスの機器連携解除画面の標準モデル

青字：重要な要素。
　　ユーザが途中挫折しない事柄に関係するもの等
緑字：あったらよいもの。
　　ユーザの再現性向上に繋がるもの等
黒字：補足事項

機器メーカ画面



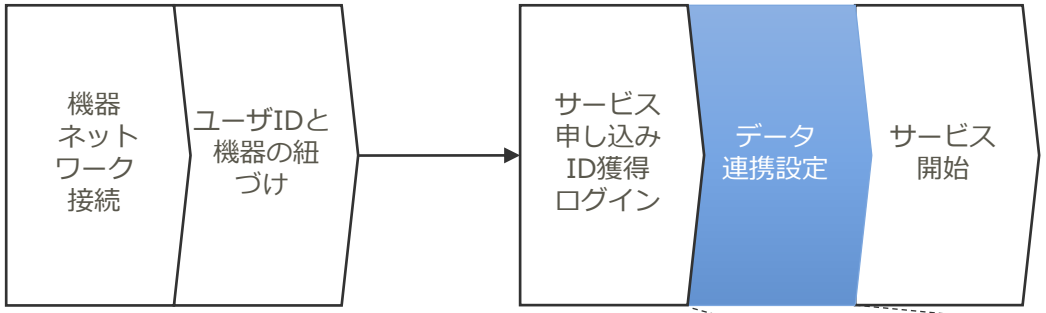
**機器削除時の影響を明示する
データ連携解除でサービスが成り立たなくなる場合は、その旨をわかりやすく表示すること。**

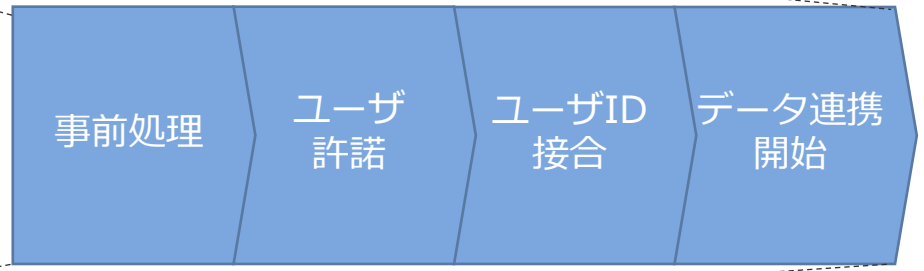
JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

プラットフォーム間の接合方法に関する標準モデル

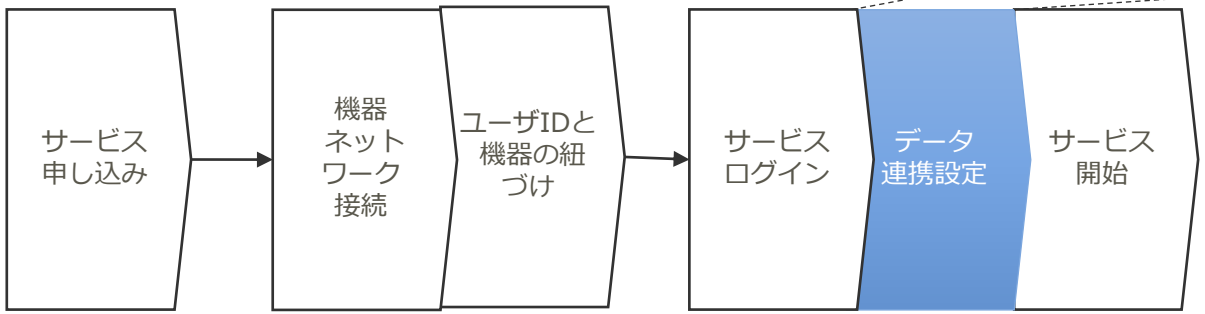
本標準モデルのカバー範囲

① 機器はネット接続＆ID登録済みの状況で、サービス連携を開始する場合





②先にサービスに申し込んでいて、
機器を後からネット接続＆ID登録する場合



事前処理～データ連携開始までの
順番は変わらない

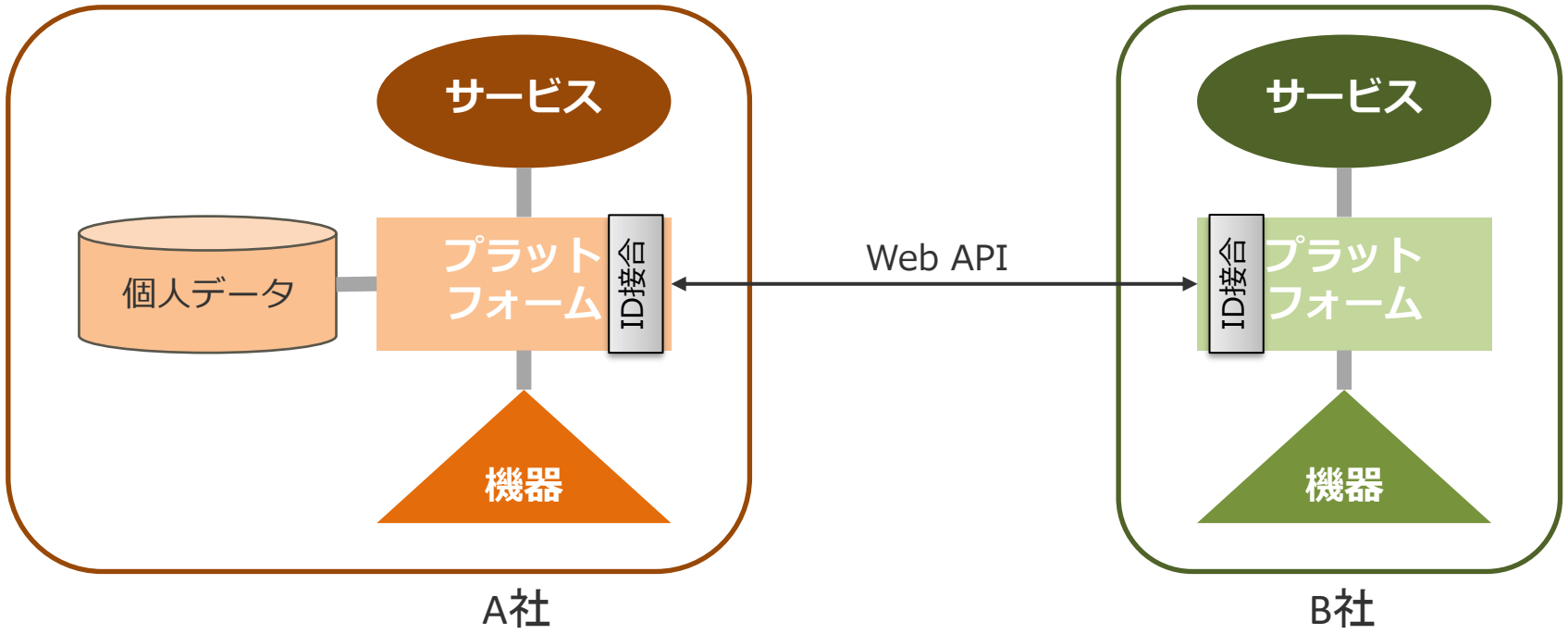
標準モデルがカバーする範囲
・UI実装
・クラウド実装

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

プラットフォーム接合方法の前提条件

- データ連携をクラウド間のWeb APIで行う仕組みであること
- データ連携におけるユーザ許諾を書面ではなくUI操作によって取得する仕組みであること

上記前提条件のもと、OpenID Connect方式を用いて、個人情報保護を遵守し、セキュアにデータ連携を行う方法について標準的なモデルを示す。



JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会 Japan Electronics and Information Technology Industries Association

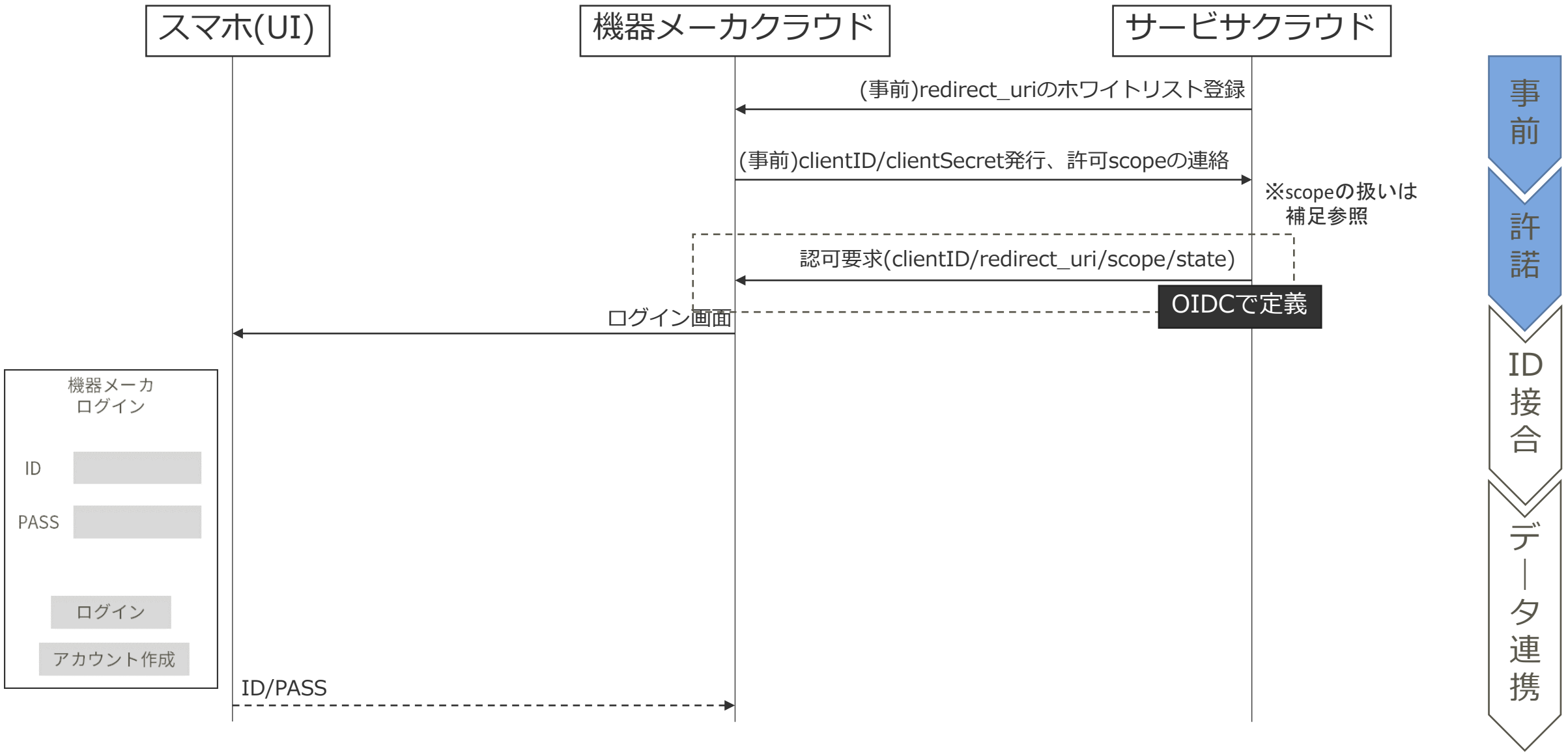
OpenID Connectの利用

- OpenID Connectの定義
  - 原文
    - https://openid.net/connect/
      （Specification Organization の Core を参照）
  - 日本語訳
    - http://openid-foundation-japan.github.io/openid-connect-core-1_0.ja.html
- 概要
  - OAuth2.0認可+認証を定義したもの
    - 広く使われてきたOAuth2.0認可の仕組みを使っている
  - 認可画面のUIを規定しているものではない

次項より、OpenID Connectを使ったときのUIとクラウドのシーケンス図を示す
この時、個人情報保護法で気を付けるべきことも記載。

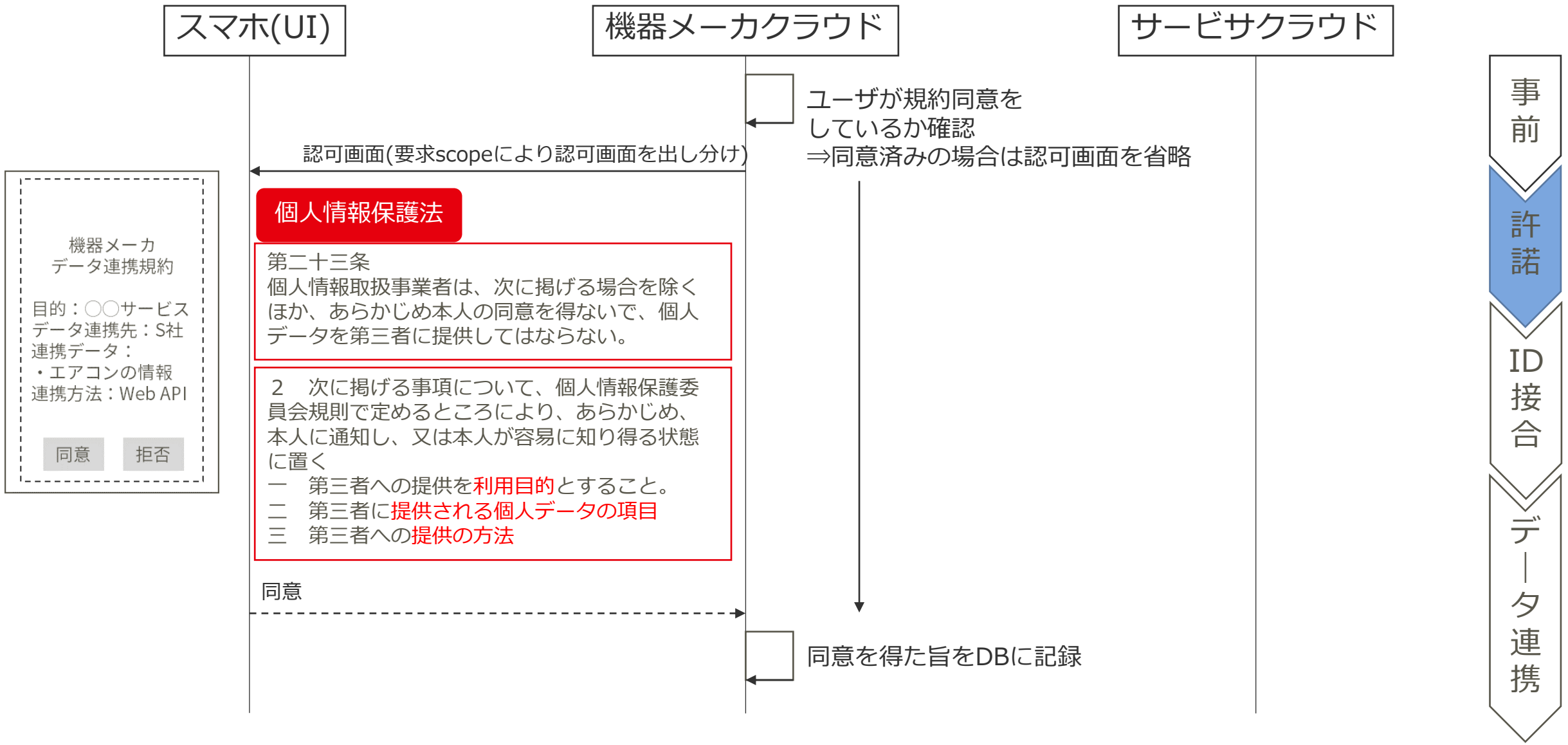
JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会 Japan Electronics and Information Technology Industries Association

事前～ユーザ許諾のシーケンス図　1



JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

ユーザ許諾のシーケンス図　2

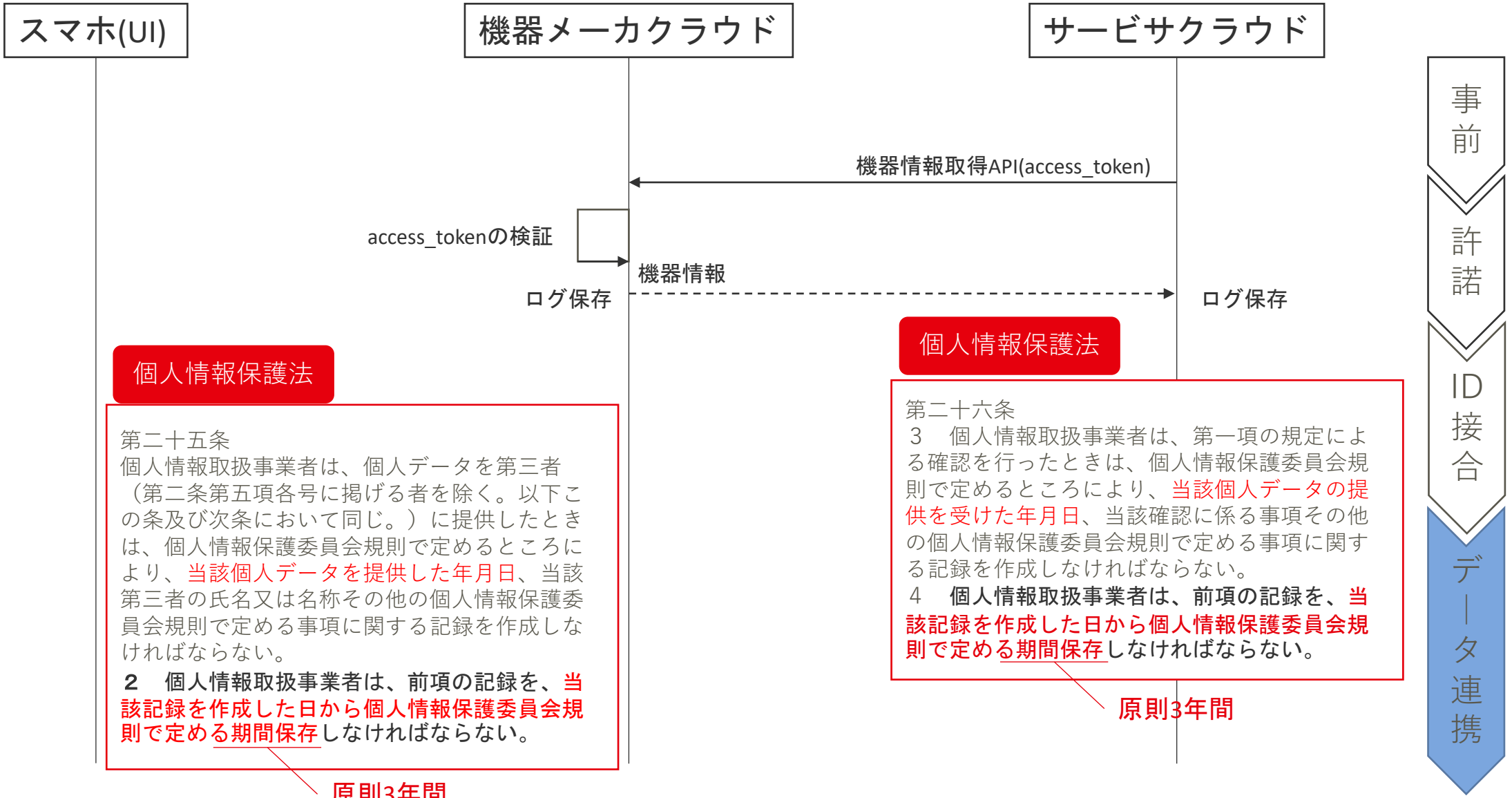


JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会 Japan Electronics and Information Technology Industries Association

ID連携のシーケンス図

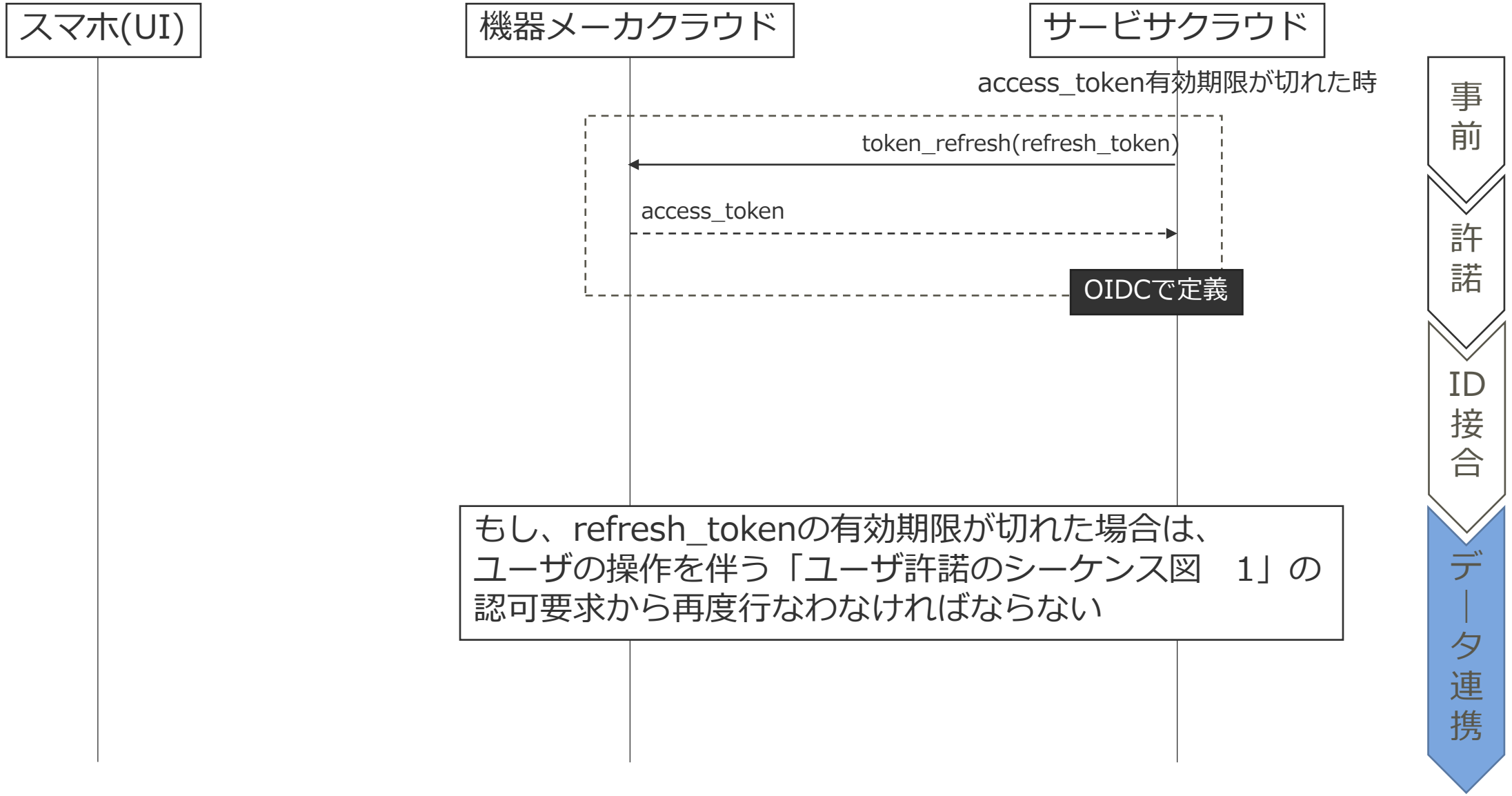
JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

データ連携のシーケンス図　1



JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会 Japan Electronics and Information Technology Industries Association

データ連携のシーケンス図　2



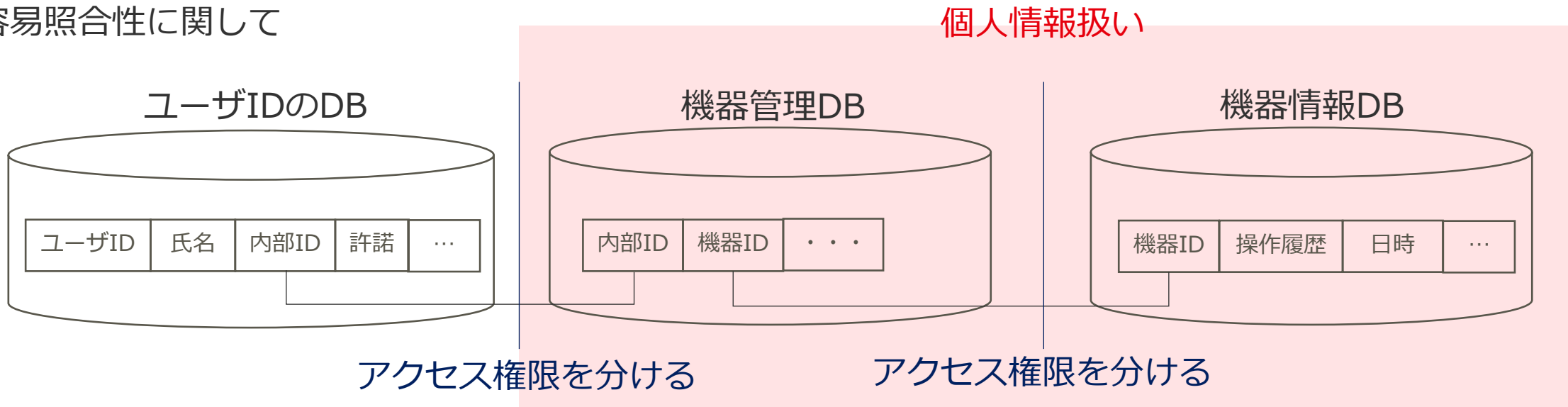
JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会 Japan Electronics and Information Technology Industries Association

補足：機器メーカクラウドのDBの持ち方

個人情報保護法

第二条　この法律において「個人情報」とは、生存する個人に関する情報であって、次の各号のいずれかに該当するものをいう。
一　当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等（文書、図画若しくは電磁的記録（電磁的方式（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式をいう。次項第二号において同じ。）で作られる記録をいう。第十八条第二項において同じ。）に記載され、若しくは記録され、又は音声、動作その他の方法を用いて表された一切の事項（個人識別符号を除く。）をいう。以下同じ。）により特定の個人を識別することができるもの（他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができることとなるものを含む。）

容易照合性に関して



各DBにおいて、閲覧権限者を整理し、セキュリティを高めるのは重要。
ただし、それを「容易に照合できない」とみなすものではない
⇒機器管理DB、機器情報DBも個人情報扱いに。

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会 Japan Electronics and Information Technology Industries Association

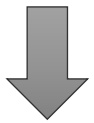
補足：scopeの実装

scopeを「許諾画面で表示するデータ単位」で切ると実装上都合が良い

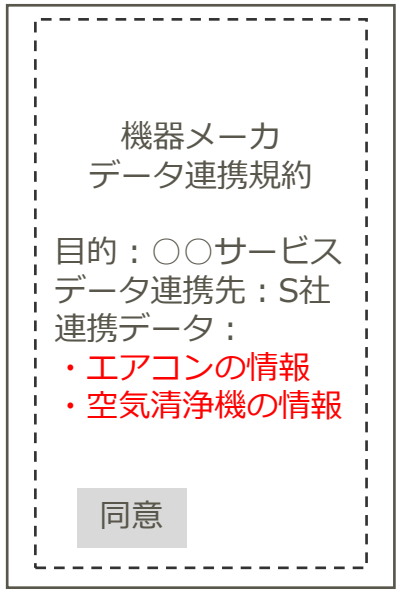
例)

scope
・エアコンデータ読み取り
・空気清浄機データの読み取り

機器情報取得API(access_token)
で実際にデータを取得されるとき



認可要求(clientID/redirect_uri/scope/state)を受けて
表示の出し分けが可能



access_tokenがJSON Web Tokenになっており
紐解くとscopeを抽出できる。
エアコンの情報取得APIの場合は許可し、
冷蔵庫の情報取得APIの場合は棄却できる

JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

お問合せ

標準モデルのパワーポイント形式での配布、また、標準モデルの不明点、
開発／連携時のご不明点等がございましたら、以下の事務局まで
お問合せ下さい

事務局・問い合わせ：

一般社団法人 電子情報技術産業協会　IoT事業推進部
〒100-0004　東京都千代田区大手町1-1-3

電話：03-6268-0003